

**医療国際展開カントリーレポート**  
新興国等のヘルスケア市場環境に関する基本情報  
**サウジアラビア編**

2021年3月

**経済産業省**

# 目次(1/2)

## G20での定量データ比較

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成	...	4
GDP、GDP成長率、一人当たりGDP	...	5
健康水準・医療水準を示す主な指標	...	6
死亡要因	...	7
医療費支出額(医療サービスの市場規模)、医療機器の市場規模、医薬品の市場規模	...	8
医療機関数、病床数	...	9
医師数、看護師数、歯科医数、薬剤師数	...	10

## 一般概況

基本情報	...	12
------	-----	----

## 経済

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成	...	13
都市化率、上位5都市の人口	...	14
GDP、GDP成長率、一人当たりGDP	...	15
世帯所得分布	...	16
インフレ率・為替レート	...	17
耐久消費財普及率	...	18

## 規制

外国投資法	...	19
会社法	...	20
外貨持出規制	...	23
外国人就労規制(サウダイゼーション)	...	24

## 生活

インフラ事情	...	25
--------	-----	----

## 医療関連

医療・公衆衛生	...	27
健康水準および医療水準	...	28
医療費支出額	...	29
疾病構造・死亡要因	...	32
医療費支払いプロセス	...	33
診療価格	...	34
医療機関 - 医療機関区分と施設数・病床数の推移	...	36
医療機関 - 公的医療機関	...	37
医療機関 - 民間医療機関	...	38
医療従事者	...	40

## 制度

保険制度	...	42
民間保険会社	...	44
保健に関する制度・行政体制	...	45
医療機関に関する規制	...	46
医療施設開設に関する規制	...	47
医薬品の認可に関する規制、手続き	...	49
薬価に関する規制	...	50
臨床試験に関する規制	...	51
ライセンス取得プロセス・教育水準	...	52
医師の育成政策	...	53
外国人医師のライセンス	...	53

# 目次(2/2)

## 医療関連(つづき)

医療サービス	...	
市場規模	...	54
参考) 総保健医療支出額(THE)とは	...	55
業界構造 - 主要企業(日本企業以外)	...	56
医療機器	...	
市場規模	...	57
輸出入額	...	58
今後、高い需要が見込まれる医療機器	...	59
業界構造 - 主要メーカー(日本企業以外)	...	60
業界構造 - 日本企業の進出状況(現地法人)	...	61
業界構造 - 流通	...	62
医薬品	...	
市場規模	...	63
輸出入額	...	64
今後、高い需要が見込まれる医薬品	...	65
業界構造 - 主要海外メーカー(日本企業以外)	...	66
業界構造 - 日本企業の進出状況(現地法人)	...	67
業界構造 - 流通	...	68
介護	...	
市場規模	...	69
業界構造 - 日本企業の進出状況	...	70

## 歯科

消費者用品の市場規模	...	71
歯科機器の市場規模	...	72

## その他

医薬品・医療機器関連イベント	...	73
学会および業界団体	...	74
外国人患者受入／医療渡航	...	75
日本の医療に対する印象、ニーズ	...	76
他国(韓国)の参入状況	...	77

## 政策動向

医療関連政策の将来動向	...	79
医療産業振興政策の将来動向	...	81

## 日本との関わり

外交関係	...	85
経済産業省の医療国際化関連事業	...	87
外務省の医療国際化関連事業	...	90
厚生労働省とサウジアラビア保健省のMOU締結状況	...	91
厚生労働省が関係するその他の協力覚書(MOC)締結状況	...	92
厚生労働省の主な医療国際化関連事業	...	93
文部科学省の主な医療国際化関連事業	...	94
JICAの主な医療国際化関連事業	...	95
AMEDの主な関連事業	...	96
JETROの主な医療国際化関連事業	...	97

## 出所一覧

...	98
-----	----

## G20※での定量データ比較

---

※ G20のうち、欧州連合(EU)は比較対象から除外した19カ国のデータを比較した。

## サウジアラビア／G20での定量データ比較

# 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

国名	人口 (百万人)	人口成長率(%)	年齢別人口割合(%)		
			15歳未満	15～64歳	65歳以上
中国	1,379	0.5	18	72	10
インド	1,324	1.4	28	66	6
アメリカ合衆国	323	0.8	19	66	15
インドネシア	261	1.3	28	67	5
ブラジル	208	1.1	22	70	8
ロシア	144	-0.1	17	69	14
メキシコ	128	1.4	27	66	7
日本	127	0	13	60	27
ドイツ	83	0	13	66	21
トルコ	80	1.4	25	67	8
フランス	67	0.6	18	62	19
イギリス	66	0.7	18	64	18
イタリア	61	0.4	14	64	23
南アフリカ共和国	56	1.4	29	66	5
韓国	51	0.5	14	73	13
アルゼンチン	44	1.1	25	64	11
カナダ	36	1	16	67	17
サウジアラビア	32	2.8	26	71	3
オーストラリア	24	1.4	19	66	15

※ 「人口」、「人口成長率」、「年齢別人口割合」は、いずれも2016年時点のデータ。

## サウジアラビア／G20での定量データ比較

# GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

国名	名目GDP(億US\$)	実質GDP成長率(%)	一人当たり名目GDP(US\$)
アメリカ合衆国	185,691	1.6	57,436
中国	112,183	6.7	8,113
日本	49,386	1.0	38,917
ドイツ	34,666	1.8	41,902
イギリス	26,292	1.8	40,096
フランス	24,632	1.2	38,128
インド	22,564	6.8	1,723
イタリア	18,507	0.9	30,507
ブラジル	17,986	-3.6	8,727
カナダ	15,292	1.4	42,210
韓国	14,112	2.8	27,539
ロシア	12,807	-0.2	8,929
オーストラリア	12,590	2.5	51,850
メキシコ	10,460	2.3	8,555
インドネシア	9,324	5.0	3,604
トルコ	8,574	2.9	10,743
サウジアラビア	6,396	1.4	20,150
アルゼンチン	5,451	-2.3	12,503
南アフリカ共和国	2,941	0.3	5,261

※ 「名目GDP」、「実質GDP」、「一人当たり名目GDP」は、いずれも2016年時点のデータ。

## サウジアラビア／G20での定量データ比較

### 健康水準・医療水準を示す主な指標

国名	平均寿命(歳)			健康寿命(歳)			5歳以下の乳幼児死亡率(千人当たり、人)	妊産婦死亡率(10万人当たり、人)	18歳以上の人団に占める高血圧患者の割合(%)		18歳以上の人団に占める肥満の人の割合(%)			15歳以上の人団に占める喫煙者の割合(%)		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性			男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
日本	83.7	80.5	86.8	74.9	72.5	77.2	2.7	5	22.5	12.6	24.2	29.0	19.7	22.8	35.4	11.0
オーストラリア	82.8	80.9	84.8	71.9	70.8	72.9	3.8	6	18.0	12.3	64.0	69.9	58.1	16.0	17.8	14.3
イタリア	82.7	80.5	84.8	72.8	71.8	73.7	3.5	4	25.2	17.1	58.8	64.3	53.7	24.2	28.8	19.9
フランス	82.4	79.4	85.4	72.6	70.7	74.4	4.3	8	27.7	16.4	60.7	67.1	54.7	28.1	30.6	25.8
韓国	82.3	78.8	85.5	73.2	70.8	75.3	3.4	11	13.8	8.2	33.5	37.0	30.1	27.4	51.1	4.3
カナダ	82.2	80.2	84.1	72.3	71.3	73.3	4.9	7	15.6	10.8	64.4	69.0	59.8	16.2	18.9	13.6
イギリス	81.2	79.4	83.0	71.4	70.3	72.5	4.2	9	17.9	12.4	63.4	68.1	58.8	20.3	21.1	19.5
ドイツ	81.0	78.7	83.4	71.3	69.7	72.8	3.7	6	24.3	15.5	54.8	62.7	47.2	30.7	33.1	28.5
アメリカ合衆国	79.3	76.9	81.6	69.1	67.7	70.4	6.5	14	15.3	10.5	67.3	72.1	62.6	18.1	20.3	15.9
メキシコ	76.7	73.9	79.5	67.4	65.7	69.1	13.2	38	22.3	17.3	64.4	63.1	65.6	14.5	22.5	7.3
アルゼンチン	76.3	72.7	79.9	67.6	65.0	70.2	12.5	52	27.6	17.6	61.7	63.9	59.7	25.3	31.0	19.9
中国	76.1	74.6	77.6	68.5	67.7	69.5	10.7	27	21.5	16.8	34.4	36.2	32.3	25.9	48.7	1.9
トルコ	75.8	72.6	78.9	66.2	64.5	67.8	13.5	16	20.3	20.1	66.3	64.1	68.5	27.0	41.6	13.2
ブラジル	75.0	71.4	78.7	65.5	63.1	67.8	16.4	44	26.7	19.9	54.1	55.6	52.8	16.1	20.3	12.1
サウジアラビア	74.5	73.2	76.0	64.4	64.0	64.7	14.5	12	25	21	69.6	68.0	71.9	17.1	26.8	3.0
ロシア	70.5	64.7	76.3	63.4	59.0	67.8	9.6	25	32.6	22.3	58.7	60.9	56.8	39.5	59.8	22.7
インドネシア	69.1	67.1	71.2	62.1	60.7	63.7	27.2	126	24.3	23.1	24.5	20.6	28.4	38.5	73.3	3.8
インド	68.3	66.9	69.9	59.6	58.8	60.4	47.7	174	26.6	24.7	22.0	19.5	24.7	12.4	21.9	2.3
南アフリカ共和国	62.9	59.3	66.2	54.4	51.9	56.8	40.5	138	27.4	26.1	53.9	43.2	64.0	18.9	31.9	7.0

※ 「平均寿命」、「健康寿命」、「5歳以下の乳幼児死亡率」、「妊産婦死亡率」、「18歳以上の人団に占める高血圧患者の割合」は、2015年時点、「18歳以上の人団に占める肥満の人の割合」は、2014年時点、「15歳以上の人団に占める喫煙者の割合」は、2013年時点のデータ。

## サウジアラビア／G20での定量データ比較

### 死亡要因

国名	死亡要因(%)		
	非感染症	感染症	事故等
イタリア	93.0%	2.9%	4.1%
ドイツ	91.8%	4.2%	4.0%
オーストラリア	90.9%	3.6%	5.5%
カナダ	89.9%	4.4%	5.7%
イギリス	89.2%	7.5%	3.3%
アメリカ合衆国	88.8%	4.8%	6.4%
中国	87.2%	4.5%	8.2%
ロシア	87.1%	4.0%	8.9%
トルコ	86.7%	6.7%	6.6%
フランス	86.5%	5.7%	7.8%
韓国	82.6%	6.0%	11.4%
日本	82.0%	12.2%	5.8%
アルゼンチン	81.1%	12.2%	6.7%
メキシコ	79.7%	9.8%	10.5%
ブラジル	75.8%	11.8%	12.4%
インドネシア	71.5%	22.0%	6.5%
サウジアラビア	<b>69.4%</b>	<b>12.8%</b>	<b>17.8%</b>
インド	61.9%	28.8%	9.3%
南アフリカ共和国	46.6%	43.3%	10.1%

※ 2015年時点のデータ。

## サウジアラビア／G20での定量データ比較

# 医療費支出額(医療サービスの市場規模)、医療機器の市場規模、医薬品の市場規模

国名	医療費支出額 (医療サービスの市場規模)				国名	医療機器の 市場規模 (億US\$)	国名	医薬品の 市場規模 (億US\$)
	総保健医療 支出額 (THE、億 US\$)	THEに占める政 府の医療費支 出額の割合 (%)	政府の医 療費支出 額(億 US\$)	1人当たり医 療費支出額 (US\$)				
アメリカ合衆国	29,857	48.3	14,420	9,403	アメリカ合衆国	1,254	アメリカ合衆国	3,472
中国	5,748	55.8	3,207	420	日本	302	日本	1,126
日本	4,707	83.6	3,934	3,703	ドイツ	256	中国	866
ドイツ	4,370	77.0	3,364	5,411	中国	161	ドイツ	528
フランス	3,265	78.2	2,553	4,959	フランス	144	フランス	448
イギリス	2,530	83.1	2,104	3,935	イギリス	102	イギリス	380
イタリア	1,980	75.6	1,497	3,258	イタリア	92	イタリア	276
ブラジル	1,952	46.0	899	947	カナダ	68	ブラジル	264
カナダ	1,866	70.9	1,323	5,292	ロシア	67	カナダ	249
オーストラリア	1,400	67.0	939	6,031	ブラジル	56	ロシア	247
ロシア	1,281	52.2	669	893	韓国	51	インド	154
韓国	1,040	54.1	562	2,060	オーストラリア	49	韓国	147
インド	971	30.0	292	75	メキシコ	37	メキシコ	135
メキシコ	806	51.8	417	677	インド	32	オーストラリア	125
トルコ	433	77.4	335	568	トルコ	24	トルコ	90
サウジアラビア	354	74.5	264	1,147	サウジアラビア	18	アルゼンチン	72
南アフリカ共和国	308	48.2	148	570	南アフリカ共和国	12	サウジアラビア	66
アルゼンチン	260	55.4	144	605	アルゼンチン	7	インドネシア	61
インドネシア	253	37.8	96	99	インドネシア	7	南アフリカ共和国	35

※ 「医療費支出額」は、2014年時点、「医療機器の市場規模」、「医薬品の市場規模」は、2013年時点のデータ。

## サウジアラビア／G20での定量データ比較

### 医療機関数、病床数

国名	医療機関数		
	合計	公的病院	民間病院
インド	36,263	13,477	22,786
中国	20,946	11,520	9,425
日本	8,442	1,605	6,837
ブラジル	6,827	2,336	4,491
アメリカ合衆国	5,709	1,222	4,488
ロシア	5,499	5,140	360
メキシコ	4,759	1,413	3,346
韓国	3,539	460	3,079
アルゼンチン	3,356	1,860	1,496
フランス	2,593	927	1,666
インドネシア	2,212	862	1,350
ドイツ	1,984	576	1,408
イギリス	1,595	1,413	182
トルコ	1,497	941	556
オーストラリア	1,372	754	618
イタリア	1,124	610	514
カナダ	890	863	27
南アフリカ共和国	617	427	190
サウジアラビア	456	313	143

国名	病床数(床)	
	人口千人当たり	合計
日本	12.3	1,565,362
韓国	9.2	455,205
ロシア	8.9	1,270,072
フランス	6.3	407,527
ドイツ	6.0	500,535
アルゼンチン	4.5	188,114
オーストラリア	3.8	89,132
イタリア	3.8	234,042
カナダ	3.0	106,425
イギリス	2.9	183,713
中国	2.8	3,886,596
アメリカ合衆国	2.8	913,424
トルコ	2.8	209,024
ブラジル	2.2	453,009
サウジアラビア	2.2	64,331
南アフリカ共和国	2.1	111,832
メキシコ	1.0	122,731
インドネシア	0.9	235,983
インド	0.7	948,175

※ 「医療機関数」、「病床数」いずれも、2014年時点のデータ。

# サウジアラビア／G20での定量データ比較

## 医師数、看護師数、歯科医数、薬剤師数

国名	医師数(人)		国名	看護師数(人)		国名	歯科医数(人)		国名	薬剤師数(人)	
	人口千人 当たり	合計		人口千人 当たり	合計		人口千人 当たり	合計		人口千人 当たり	合計
イタリア	6.4	390,902	ドイツ	13.7	1,147,667	アメリカ合衆国	2.2	707,482	日本	2.3	295,994
ロシア	5.3	750,448	オーストラリア	12.6	297,703	ブラジル	1.4	273,802	韓国	1.3	65,854
ドイツ	4.3	358,283	日本	11.3	1,439,165	イタリア	1.0	63,682	フランス	1.1	72,354
オーストラリア	3.4	81,114	フランス	9.2	594,590	アルゼンチン	0.9	38,806	イタリア	1.1	67,177
フランス	3.3	213,836	アメリカ合衆国	8.5	2,744,607	ドイツ	0.8	70,225	カナダ	1.0	35,560
アルゼンチン	3.2	133,228	カナダ	7.8	278,450	日本	0.8	104,862	アメリカ合衆国	0.9	292,874
サウジアラビア	<b>2.8</b>	<b>82,575</b>	ロシア	7.5	1,062,047	カナダ	0.6	22,107	ブラジル	0.9	190,455
イギリス	2.6	163,298	イギリス	6.7	423,076	フランス	0.6	39,878	ドイツ	0.8	63,312
アメリカ合衆国	2.6	849,246	韓国	6.7	329,945	イギリス	0.6	39,894	オーストラリア	0.7	17,512
日本	2.5	312,228	南アフリカ共和国	5.1	273,158	韓国	0.6	28,864	イギリス	0.6	38,094
メキシコ	2.4	291,655	サウジアラビア	<b>4.8</b>	<b>142,129</b>	オーストラリア	0.5	12,639	サウジアラビア	<b>0.5</b>	<b>15,423</b>
韓国	2.3	115,311	イタリア	4.6	278,173	サウジアラビア	<b>0.4</b>	<b>11,002</b>	メキシコ	0.5	61,900
カナダ	2.2	78,431	ブラジル	4.4	882,689	ロシア	0.4	62,797	インド	0.5	649,337
ブラジル	2.0	395,531	メキシコ	2.7	332,805	トルコ	0.3	22,506	アルゼンチン	0.5	21,272
トルコ	1.8	139,779	中国	2.2	3,043,941	メキシコ	0.1	9,722	ロシア	0.4	56,987
中国	1.6	2,292,833	トルコ	1.9	144,568	南アフリカ共和国	0.1	5,794	トルコ	0.4	27,810
南アフリカ共和国	0.8	40,326	インド	1.9	2,365,461	中国	0.1	139,378	南アフリカ共和国	0.3	13,755
インド	0.8	954,918	インドネシア	1.8	455,755	インドネシア	0.1	17,428	中国	0.3	404,368
インドネシア	0.4	90,627	アルゼンチン	0.5	22,801	インド	0.1	145,410	インドネシア	0.1	33,507

※ 「医師数」、「看護師数」、「歯科医数」、「薬剤師数」いずれも、2014年時点のデータ。

## **一般概況**

---

# サウジアラビア／一般概況

## 基本情報

首 都	リヤド
言 語	アラビア語(公用語)
通 貨・レート	1サウジアラビア・リヤル(SRA) = 29.39円 (2020年03月24日時点)
会 計 年 度	(前年)12月31日～12月30日。「2017年度予算」は、2016年12月31日～2017年12月30日となる。
主 な 宗 教	イスラム教(公認されているイスラム教はスンニ派 <sup>※1</sup> の一派であるワッハーブ派で、コーランや預言者の言行に基づいた厳格な解釈が特徴である。)
政 治 体 制	君主制
政治的安定性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2015年1月、アブドゥラー第6代国王の崩御に伴い、皇太子であったサルマン・ビン・アブドルアジーズ・アール・サウード国王が即位(Custodian of the Two Holy Mosques King Salman bin Abdulaziz Al Saud)</li> <li>● 王制の維持、イスラム法の堅持及び国内開発の推進を基本方針とし、国王が首相を兼任し閣僚会議を主宰する。重要ポストは王族が占める。伝統的に国内有力者の間のコンセンサスを重んじる慎重な政策運営が基本となっている。</li> <li>● 2013年1月、国王に意見具申を行う諮問評議会(定員150名)に30名の女性議員が初めて任命され、2016年12月の第三回地方評議会選挙で、初めて女性の選挙権・被選挙権が認められる(女性20名が当選)等、政治参加の範囲が徐々に拡大されている。</li> </ul>
治 安 情 勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外務省より、ジャーザーン州、アシール州、ナジュラーン州、東部州のイエメンとの国境地帯には、渡航中止勧告(レベル3)が出ている。イラクとの国境地帯には、不要不急の渡航は避ける(レベル2)、それ以外の全土に、十分注意(レベル1)となっている(2016年10月24日時点)</li> <li>● 2015年3月から不安定化したイエメンにおいて軍事作戦を主導。2016年初頭から、イランが周辺諸国への介入を続けているとの非難を強め、両国の関係が緊張状態となつた。</li> </ul>
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界最大級の石油大国(1日あたり原油生産量はアメリカに次いで世界第2位(2016年)、原油埋蔵量はベネズエラに次いで世界2位(2016年))であり、日本が世界から輸入する原油の約35%をサウジアラビアが占めて<sup>※2</sup>おり、日本のエネルギー安全保障における重要なパートナーである。</li> </ul>

※1 イスラム教スンニ派の盟主を自認しており、シーア派の宗教指導者の死刑執行後に、シーア派の大國であるイランで自國の大使館が抗議デモの群衆に襲撃された2016年1月3日に、イランとの国交を断絶した。

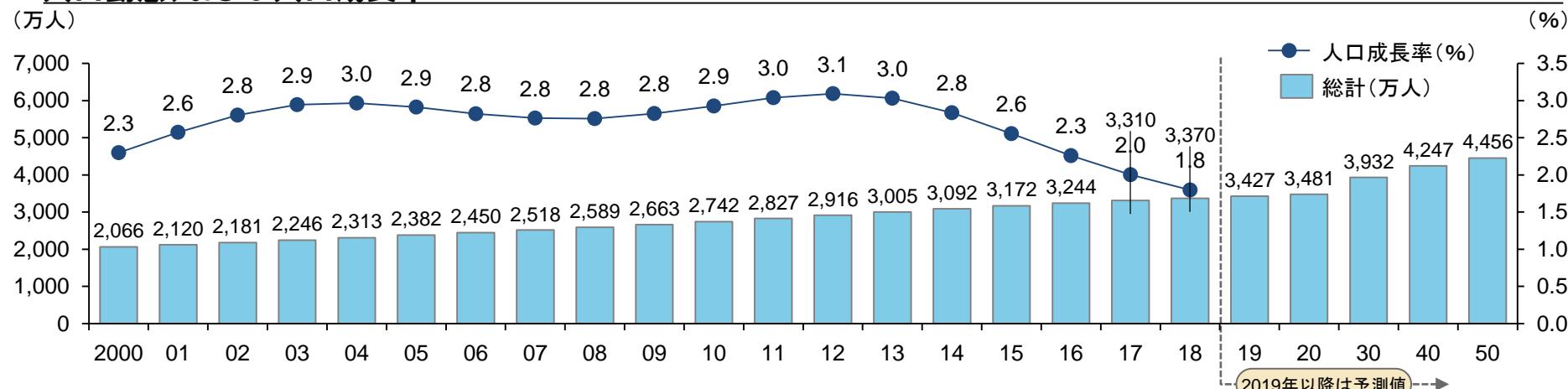
※2 2016年時点では、日本の原油輸入量は336万バレル/日であり、そのうちサウジアラビア35.1%、UAE23.6%、クウェート6.8%、ロシア6.0%、メキシコ2.7%、イラク2.4%等となっている。

# 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

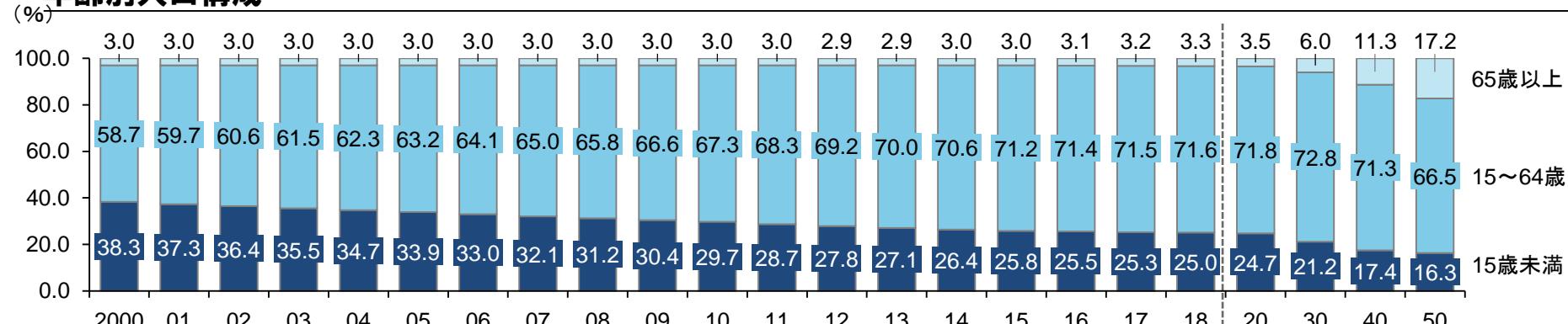
- 人口※は2013年に3,000万人を超え、2030年以降、4,000万人規模になると予測されている。
  - 人口増加率は減少し続け、2050年には0.4%程度まで低下すると見込まれており、日本国際問題研究所によると、若年層の失業率(2012年の15歳～29歳サウジアラビア人の失業率は約30%)の増大、外国人労働者の増加率の減少等が背景にあるとされる。
- 2018年、65歳以上人口は約3%となっている。

※ 人口とは居住者数を指しており、サウジアラビア国籍を有しない外国人居住者(2016年時点で約1,100万人)も含まれる。サウジアラビア中央統計局によると外国人居住者のうち、インド、パキスタン、バングラデシュ、エジプト、フィリピンの5ヶ国出身者が75%を占め、次いで、イエメン、インドネシア、スーダン等の出身者となる。

## 人口動態、および人口成長率



## 年齢別人口構成

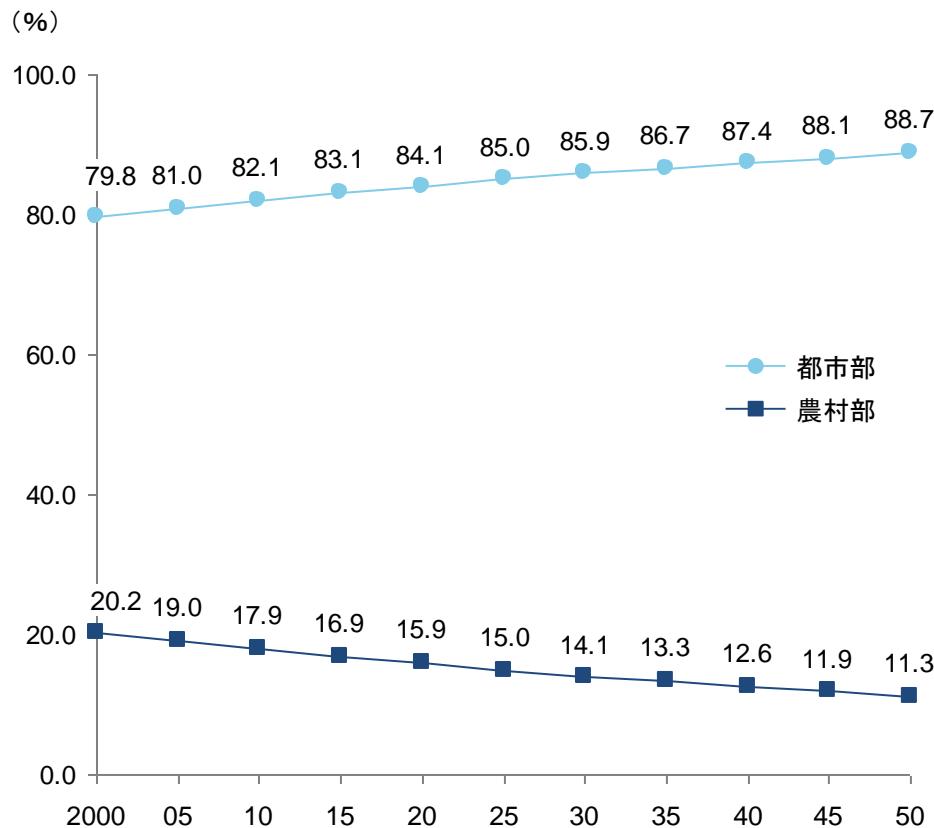


## サウジアラビア／一般概況／経済

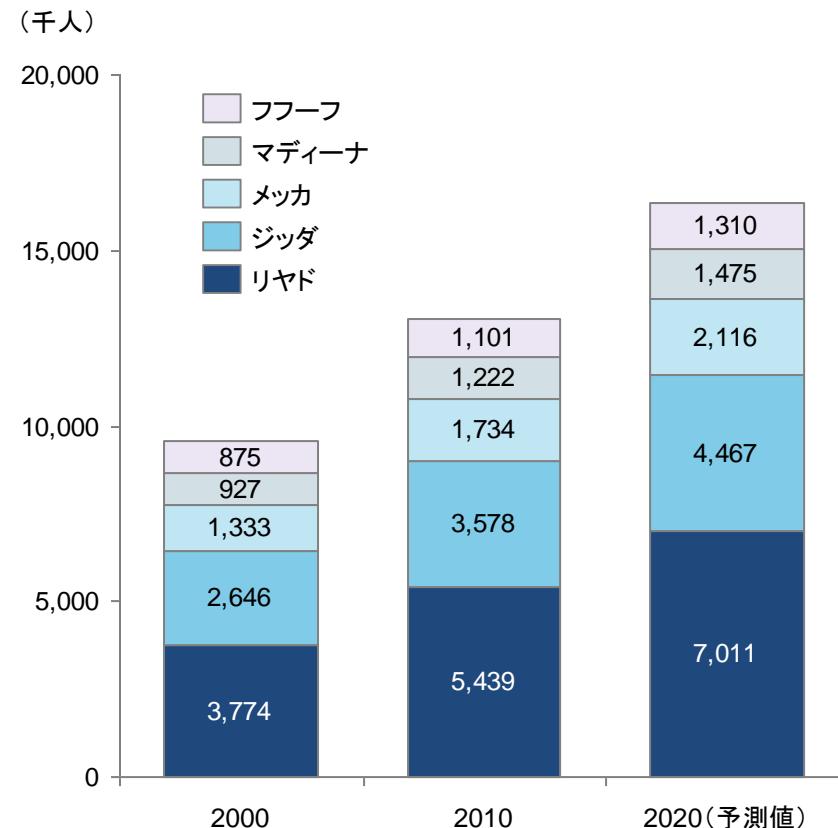
# 都市化率、上位5都市の人口

- 都市化率は2015年時点で83.1%である。
- リヤド、ジッダがサウジアラビアにおいて、上位1,2の都市である。

都市化率\*



上位5都市の人口



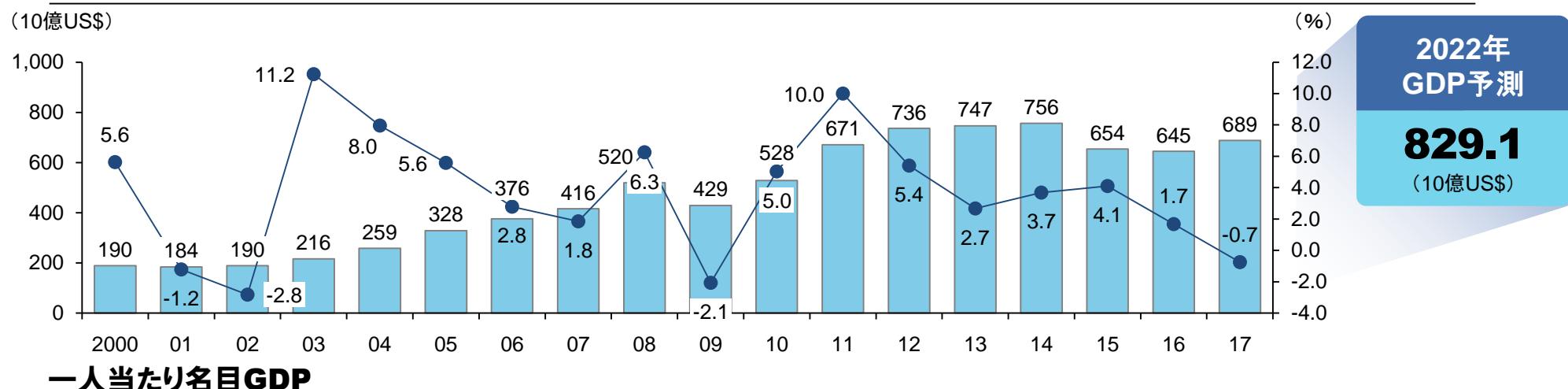
\* 都市化率とは、都市部に住む人口の割合。

(出所)国際連合「World Urbanization Prospects」,ユーロモニター

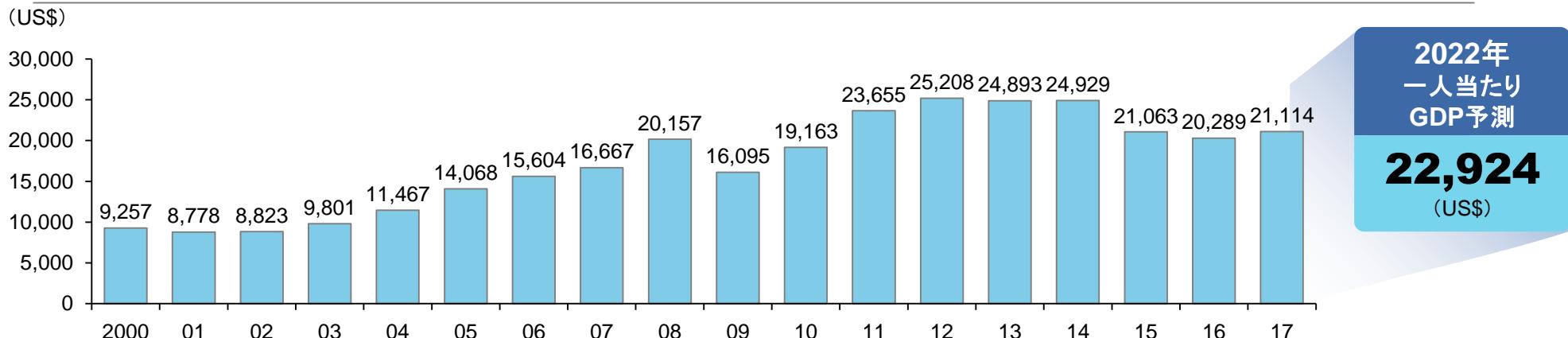
# GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

- 2017年の名目GDPは約6,900億US\$であり、2022年には約8,291億US\$になると予測されている。
- 2017年の一人当たり名目GDPは約21,000US\$となっている。

## 名目GDPおよび実質GDP成長率



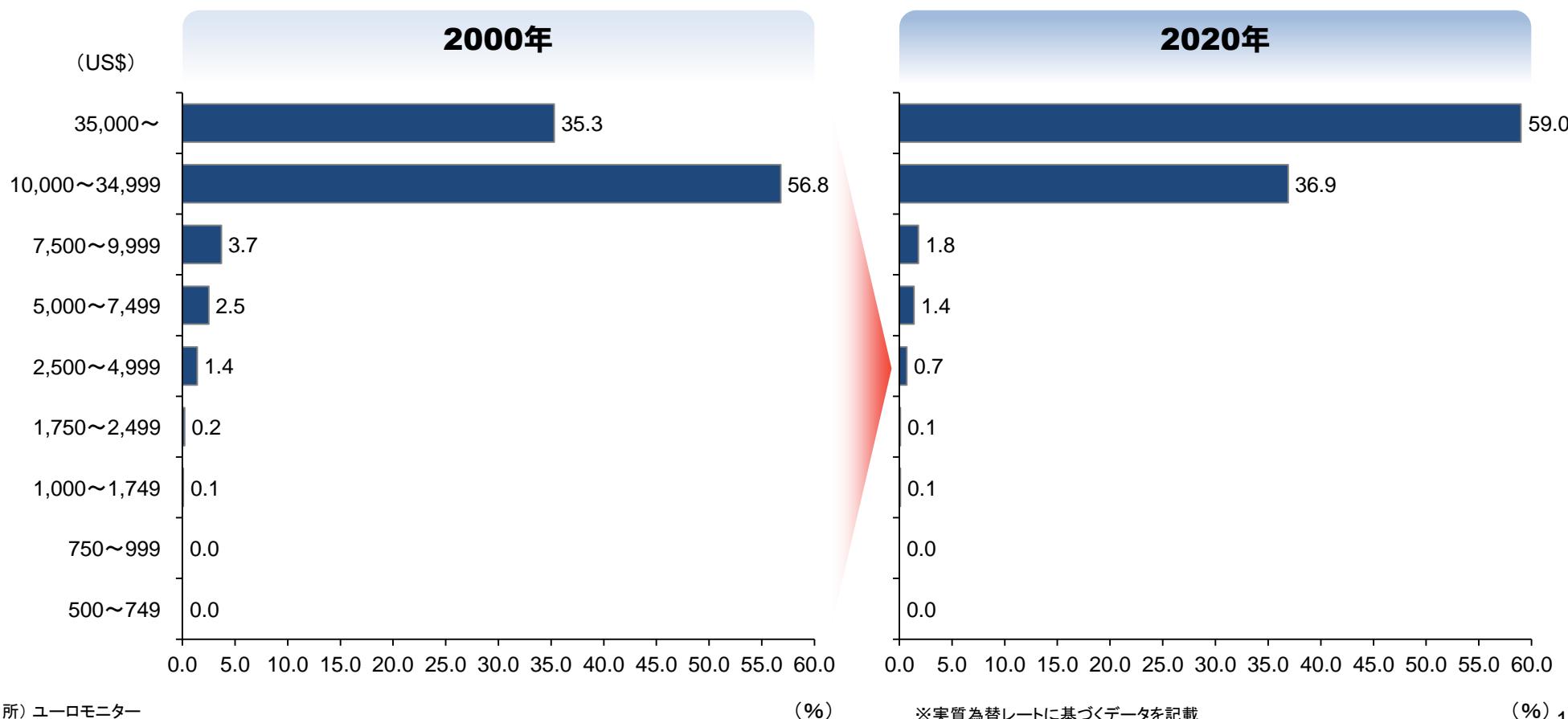
## 一人当たり名目GDP



## 世帯所得分布

- 2000年、2020年ともに上位の中間所得層(10,000～34,999US\$)の割合が多いが、2020年には35,000US\$以上の割合が最も大きくなっている。
- 國際原油価格の高騰を背景とした公務員の給与の上昇が、2000年から2020年にかけての世帯所得上昇の要因の一つと考えられる。

### 世帯所得分布

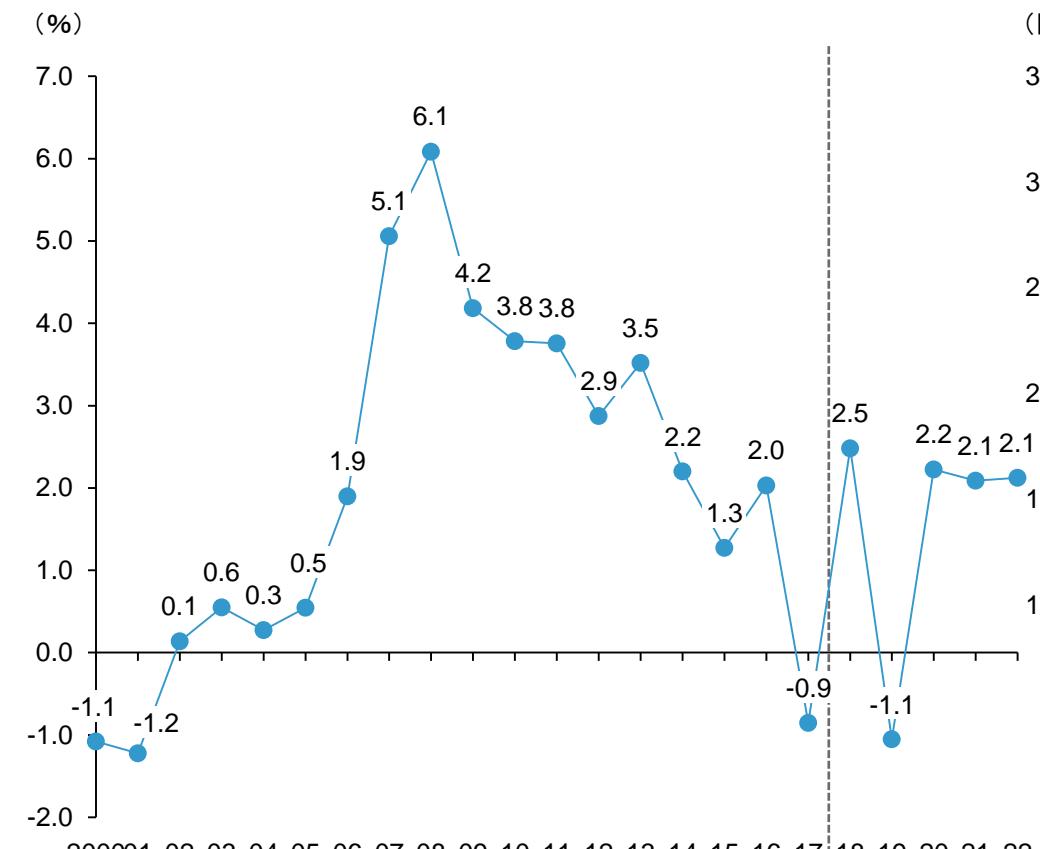


## サウジアラビア／一般概況／経済

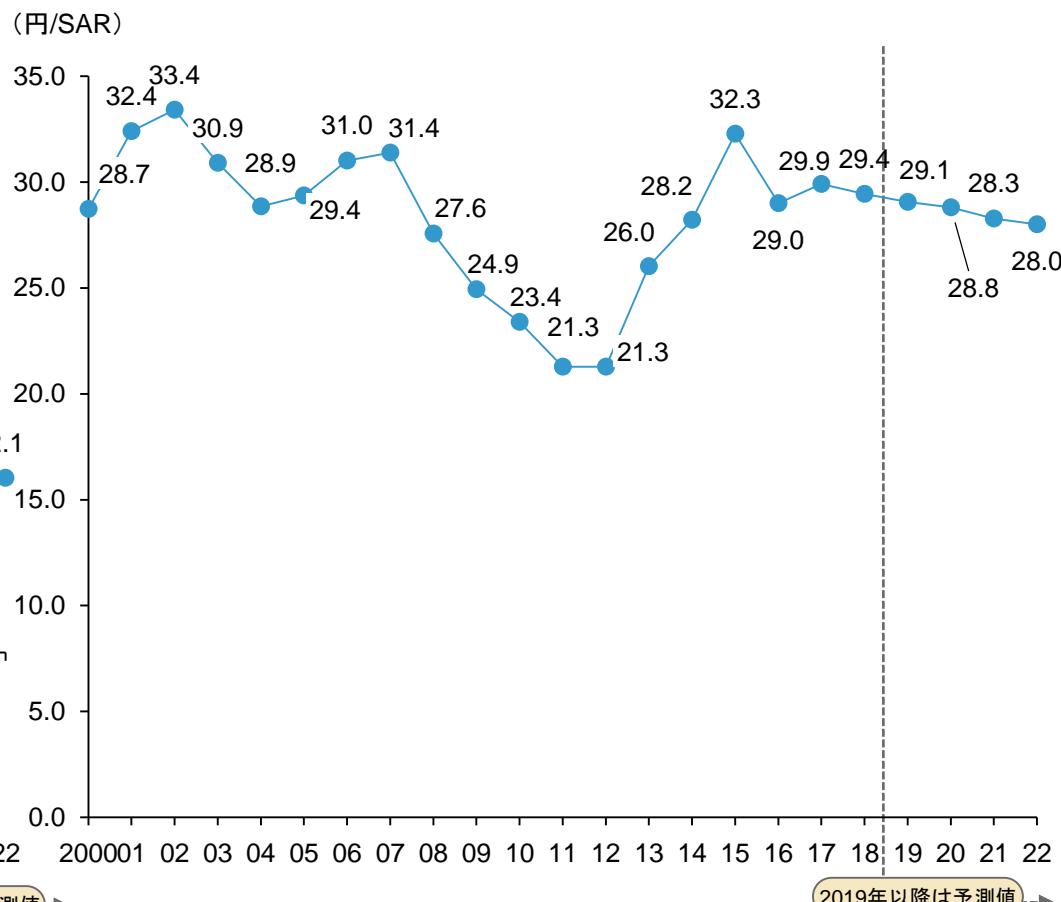
### インフレ率・為替レート

- サウジアラビア・リヤルは米ドルとの固定相場制を採っており、1US\$=3.75リヤルとなっている。

#### インフレ率



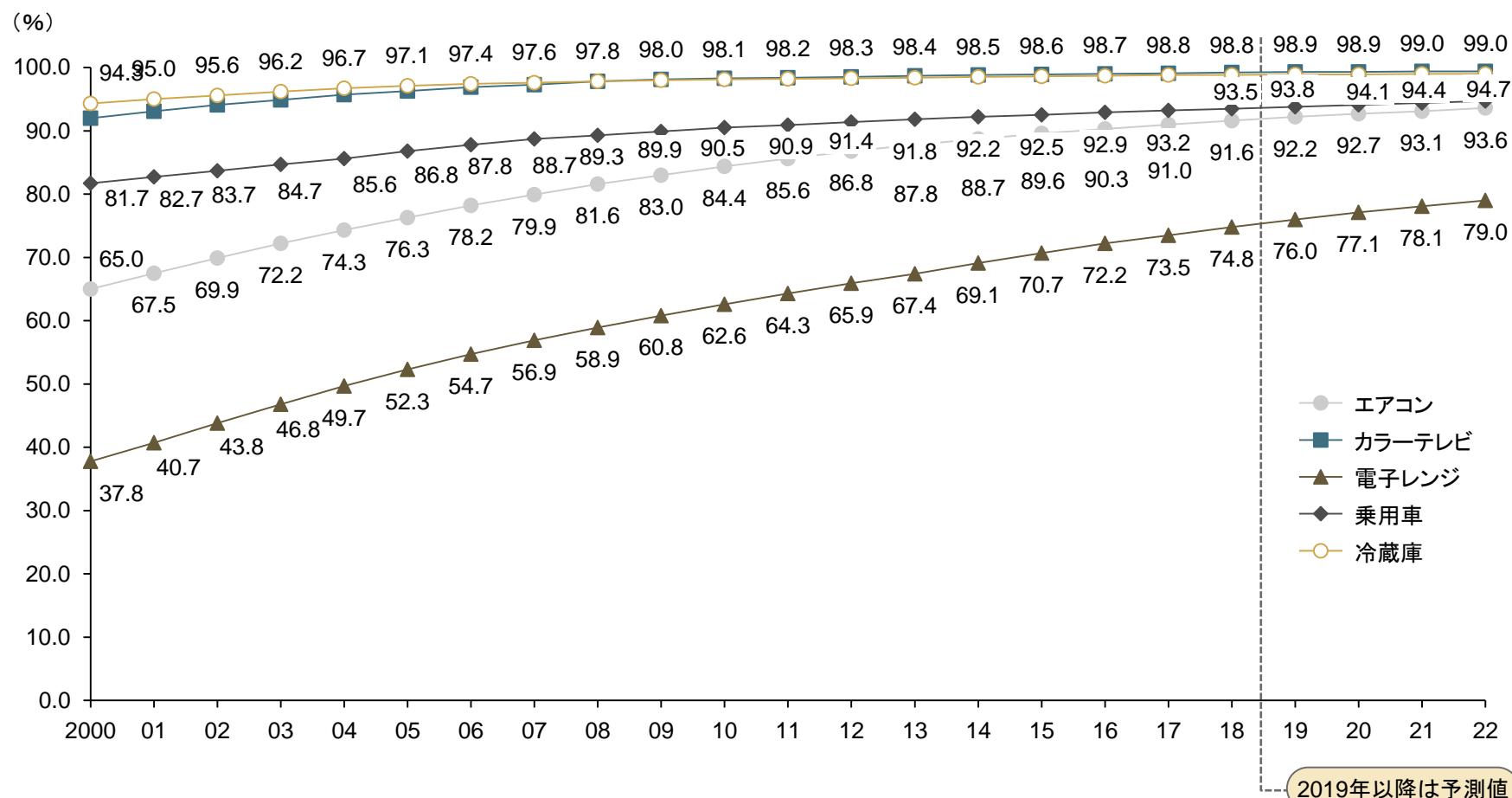
#### 為替レート



# 耐久消費財普及率

- 2000年以降、カラーテレビ、冷蔵庫はほとんどの世帯に普及しており、乗用車も2008年以降は9割を超える普及率となってい

## 耐久消費財普及率



## サウジアラビア／一般概況／規制

### 外国投資法

- 石油探鉱、採掘、生産、メンテナとマディーナでの不動産投資、軍事機器製造などの分野への外国資本の投資は禁止されている。
- サウジアラビアでは、2015年に外国人または外国企業が、100%出資により医療機関を所有することが可能となり、医療機関は、外国投資の規制業種外となった。

### 海外からの直接投資に関する規制について

規制業種・ 禁止業種	<p>主な外資参入規制・禁止業種(ネガティブリスト)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 製造業分野:石油探鉱、採掘、生産、軍事機器・装備等製造、民生用爆発物製造</li><li>● サービス分野:軍へのケータリング、治安・警備、探偵業、メンテナおよびマディーナにおける不動産投資、巡礼関連観光業、人材斡旋・採用サービス、不動産仲介業、報道、印刷・出版業(一部)、代理店、音声・映像サービス、陸上輸送(列車による乗客の市内輸送を除く)、助産サービス・看護サービス、理学療法サービス、漁業、血液バンク・毒物センター・検疫</li></ul>	<p>※ ただし、これらの外資規制は、サウジアラビアのWTO加盟にかかる2005年9月のアメリカとの二国間通商合意、そして同年12月のWTO正式加盟により段階的に緩和されている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 輸入販売業が75%まで認められた。小売・流通・輸入分野の外資出資比率を、条件付きながら100%に引き上げた(2016年)</li><li>● サウジアラビアの代理店を通さない輸入品の卸売および小売業での直接取引を許可。外資出資比率の上限75% 等</li></ul>
出資比率	<ul style="list-style-type: none"><li>● 外資100%での現地法人設立も可能だが、代理店業、保険・金融業、通信業、建設施工管理などのEPC(Engineering, Procurement and Construction)については、規制がある</li></ul>	<p>※ 2016年6月には小売・輸入・流通業を外資に100%開放する旨の閣議決定を行った。しかし、外資100%は条件付となっており、対象となるのは、製造工場や新技術を有しサウジアラビア人の雇用を創出する大企業に限定される</p>
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none"><li>● 小売・卸売・貿易業:外資の出資比率上限75%であれば2,000万リヤル(外資出資分)。外資100%出資の場合は3,000万リヤル</li><li>● 株式会社(Joint Stock Company):50万リヤル</li><li>● 有限責任会社(Limited Liability Company):SAGIA、商業投資省決定</li><li>● 支店:通常、50万リヤル 等</li></ul>	—
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none"><li>● 外国人投資家は、「非サウジアラビア投資家の不動産所有及び不動産に関する法律」により、一定の条件の下では、ライセンス当局(内務省)の承諾を得ることを条件に必要な不動産(土地含む)を所有することができる</li></ul>	<p>※「専門的、技術的、または経済的事業活動を実施するための利用」、「SAGIAの外国投資ライセンスを取得したプロジェクトに従事する従業員の個人住宅用不動産としての利用」、「適法な滞在許可証(イカーマ)を有する個人の住居のための利用」のいずれかの利用目的の場合に限る</p>

### 会社法(1/3)

- 2016年5月に、新会社法が施行された。施行日以降に設立された会社に適応されるほか、既存の会社には、1年間の移行期間が設けられる。
- 新法に定められた会社形態(旧法では8形態、新法では6形態)のうち、外国投資家が一般的に採るのは、「有限責任会社(LCC)」、「株式会社」と「外国会社の支店」の3形態とされており、要点は次頁の通り。
- また、外国人投資家は、サウジアラビア総合投資院(SAGIA)から外国投資ライセンス(Foreign Investment License)を取得する必要があるが、外国投資ライセンスの取得に関する手続きも簡略化された。

#### 外国投資ライセンスの取得の際に必要な提出書類

1	投資に関する取締役会決議
2	商業登記証明書
3	投資計画
4	財務能力を証明する書類
5	サウジアラビアに駐在する責任者のパスポートの写し

## サウジアラビア／一般概況／規制

### 会社法(2/3)

#### 新会社法における会社形態別の要点

会社形態	要点
有限会社(LCC)	<ul style="list-style-type: none"><li>1人以上の出資者により設立が可能(旧会社法では2人以上)。</li><li>法定準備金が資本金の30%に達した場合は毎年の留保を中断することができる(旧会社法では50%)。</li><li>損失が資本金の50%(旧会社法では75%)を超えた際、経営責任者が会社の存続または解散を検討する臨時出資者総会の招集を、同損失確定後90日以内に行わなかった場合、法的に解散させられる。</li><li>出資者が50人を超えた際、1年以内に株式会社に移行しなくてはならない。一定の条件を除き、期限内に株式会社へ移行されない場合は法的に解散させられる。</li><li>会社設立や定款の変更については、商工業省のウェブサイトへの掲載をもって、従来の官報などへの掲載に代えることができる。</li></ul>
株式会社(JSC)	<ul style="list-style-type: none"><li>非公開型のJSCでは、出資者2人以上で設立が可能(旧会社法では5人以上)。ただし、政府ならびに政府100%保有の公的法人など、および資本金500万リヤル以上の企業については1人以上の出資者による設立が認められる。</li><li>最低資本金は50万リヤルとする(旧会社法では200万リヤル)。</li><li>法定準備金が資本金の30%に達した場合は毎年の留保を中断することができる(旧会社法では50%)。</li><li>取締役会(Board of Directors)の人数は最低3人、最大11人とする(旧会社法で規定されていた取締役に対する一定株式の保有条項については撤廃)。</li><li>株主総会(Stakeholders General Assembly Meeting)へは近代的な技術を介した通信手段(テレビ会議を想定)による招集、出席が認められる。</li><li>スルーク(イスラム債)、優先株式、その他の債券の発行、自社株式を購入すること、同株式を抵当に入れることができるが認められる。</li><li>企業運営を監視するための監査委員会の設立が義務化される。</li><li>会長職と他の役員職の兼任は認められない。</li><li>損失が資本金の50%(旧会社法では75%)を超えた際に、経営責任者が会社の存続または解散を検討する臨時株主総会の招集を、同損失確定後90日以内に行わなかった場合、法的に解散させられる。</li><li>1株式当たりの価値は10リヤルとする(旧会社法では50リヤル)。</li><li>同一の外部監査役は5会計年度連続で任命することができる。再任命はその後2年間の間隔を空けることで認められる。</li></ul>
外国企業の支店	<ul style="list-style-type: none"><li>商工業省に対し、会計基準を満たし、かつ認可外部監査機関の監査を受けた財務諸表(Financial Statement)を会計年度終了後6ヶ月以内に提出しなくてはならない。</li></ul>

### 会社法(3/3 税制)

- 外国企業(外国資本)に係る法人税は、20%である。欠損は次年度以降に繰り越すことができる。
- 個人所得税はないが、5%の付加価値税(VAT)が2018年1月1日から導入された。

#### 1 法人所得税(外国企業)

- 外国企業に係る法人所得税は、20%である。
- 課税対象所得は、事業活動の実施により生じる収入、報酬、利益であり、キャピタル・ゲインを含む臨時収入もこれに含まれる。
- 外国企業と地場企業で合弁企業を設立した場合には、利益の合計のうち、外国企業の持ち分に対して20%の法人所得税、地場企業の持ち分に対してザカートが課せられ、合計額が該当の合弁企業の法人所得税となる。

#### 2 ザカート(喜捨税)

- サウジアラビアを含むGCC諸国の企業(地場企業)に対しては、ザカートと呼ばれる喜捨税が課せられる。
- ザカートは一般的には2.5%程度の税率といわれているが、その計算式は複雑であり、当該年の利益だけではなく、自己資本や剰余金・準備金など、他の要素も考慮して算出される。

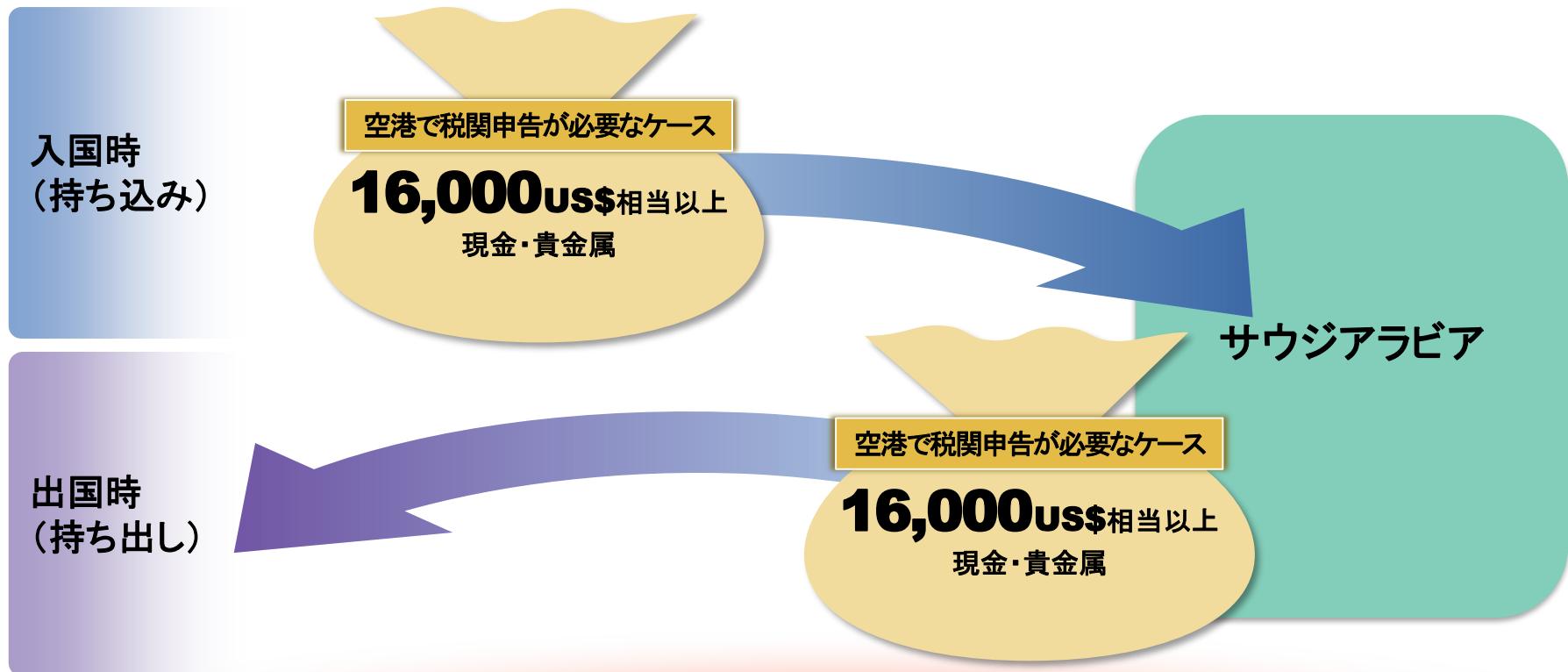
### 二国間租税条約

- 日本とは、2011年9月に、二国間二重課税防止条約が発効し、2012年1月以降の二重課税分については、ザカート・所得税局に対して還付申請が行えることとなった。
- ザカート・所得税局によれば、日本企業がサウジアラビアにおける二重課税額の還付を要求する場合には、請求権者(日本企業)は、以下の必要書類等を添付し、ザカート・所得税局に対して、過払い額の返還請求状を提出することができる。
  - ・支払いの受取人(非居住者、日本の税務当局など該当する団体)からの過払い税の返還を要求するレター
  - ・受益者(在サウジアラビア日系企業)が当該国の居住者であること、および支払いが当該国の税制に基づくことを証明する管轄税当局の発行する証明書
  - ・源泉徴収税が支払われたことを示す書式のコピーや銀行発行のレシート

## 外貨持出規制

- 60,000リヤル(16,000US\$)相当以上の現金・貴金属を所持する場合には、税関で申告が必要である。

### 出入国時空港で税関申告が必要なケース



出入国時に申告しない場合は、係官による検査が行われたり、  
現金・貴金属を当局が一時保管する場合がある。

## 外国人就労規制(サウダイゼーション)

- サウジアラビアでは、サウダイゼーションと呼ばれる、ある特定の職業をサウジアラビア人に限定し、または外国人労働力のサウジアラビア人労働力への段階的な置換をすることによって、サウジアラビア人の雇用拡大を図ることを目標とした政策がとられている。
- 2002年に、各民間セクターの企業におけるサウジアラビア人比率を最低30%と定める決定が交付されたが、サウジアラビア人労働力が十分ではないことを理由に、最低比率が見直され、2011年に新たにニタカット(割り当て)プログラムが導入された。
- ニタカットプログラムでは、達成度の高い順に、プラチナ、緑(3段階)、黄、赤の6段階に格付けされ、プラチナと緑にはインセンティブが、黄と赤にはペナルティが課せられる。
  - インセンティブとペナルティは、外国人労働者の労働許可証の更新や新規ビザ申請の可否、労働ビザに登録された外国人労働者の職種変更の可否等の形で与えられる。

企業規模別のサウジアラビア人従業員比率※

業種／企業規模	10～49人	50～499人	500～2,999人	3,000人以上
ヘルスケアサービス (病院・クリニック)	0~6	0~7	0~9	0~9
	7~13	8~15	10~19	10~19
	14~21	16~22	20~26	20~26
	22~28	23~30	27~32	27~33
	29~36	30~36	33~39	34~40
	37~	37~	40~	41~
製造業	0~5	0~10	0~13	0~25
	6~11	11~21	14~27	26~52
	12~16	22~26	28~33	53~58
	17~20	27~30	34~38	59~63
	21~24	31~34	39~44	64~69
	25~	35~	45~	70~

※ 単位は%。

# サウジアラビア／一般概況／生活 インフラ事情

- サウジアラビアは、賃金、地価、電気代といった、事業実施に必要となるインフラ類のコストが安価である。

## 主な投資コストの比較※(リヤドとバンコク)

賃金	<ul style="list-style-type: none"><li>JETRO調査によれば、月額で、リヤドではワーカー494US\$、エンジニア1,222 US\$、中間管理職3,200US\$となっている。(バンコクではそれぞれ286 US\$、641 US\$、1,565 US\$)このほか、残業・通勤・住宅手当等が支給される。</li><li>公務員の最低賃金は802 US\$だが、これが民間企業にも適用される方向にある。</li></ul>
地価	<ul style="list-style-type: none"><li>工業団地の土地を賃貸する場合、月額で0.02 ~ 0.1US\$程度。 (バンコクでは6.95 US\$)</li></ul>
電気代	<ul style="list-style-type: none"><li>工業団地では、電気の業務用月額基本料が8.02 US\$、1kWh当たり従量料金が0.03 ~ 0.07 US\$程度と安価。</li></ul>
水代	<ul style="list-style-type: none"><li>業務用の場合、1m<sup>3</sup>当たり1.6 US\$程度だが、基本料金はない。 (バンコクでは、1m<sup>3</sup>当たり0.3 ~ 0.5 US\$程度)</li><li>工業団地でも、水はローリーによる供給が一般的。</li></ul>

# **医療関連**

---

# 健康水準および医療水準

- 平均寿命は74.5歳、健康寿命は64.4歳である。

## 健康水準・医療水準を示す主な指標

	男性	女性
平均寿命（2015年）	73.2歳 74.5歳	76.0歳
健康寿命（2015年）	64.0歳 64.4歳	64.7歳
5歳以下の乳幼児死亡率 1,000人あたり（2015年）		14.5人
妊産婦死亡率 10万人あたり（2015年）	—	12人
18歳以上の人口に占める 高血圧※1患者の割合（2015年）	24.7%	20.8%
18歳以上の人口に占める 肥満※2の人の割合（2014年）	68.0%	71.9%
15歳以上の人口に占める 喫煙者の割合（2013年）	26.8%	3.0%

※1 収縮期血圧(SBP)140以上もしくは拡張期血圧(DBP)90以上を高血圧とする

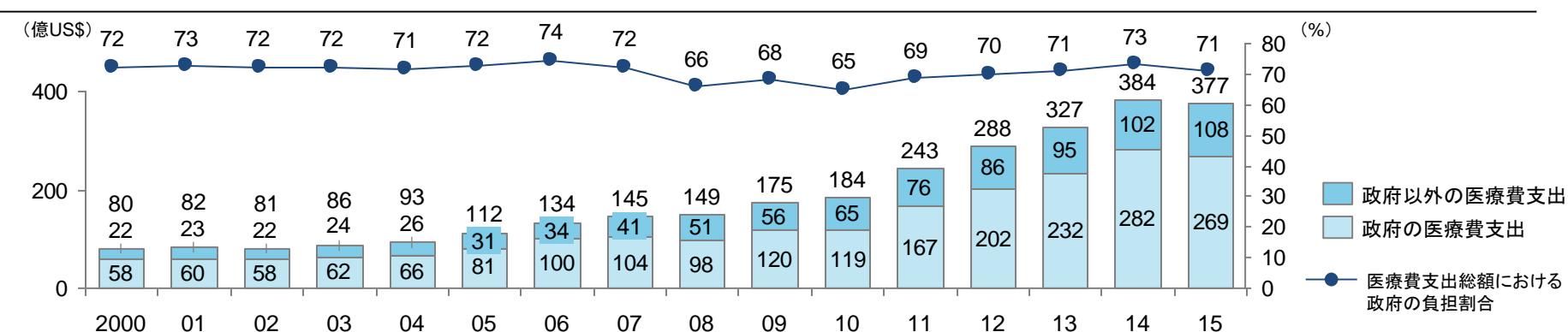
※2 BMI25以上。BMIは「体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))」で算出される。

(出所) 世界保健機関「Global Health Observatory (GHO) data」

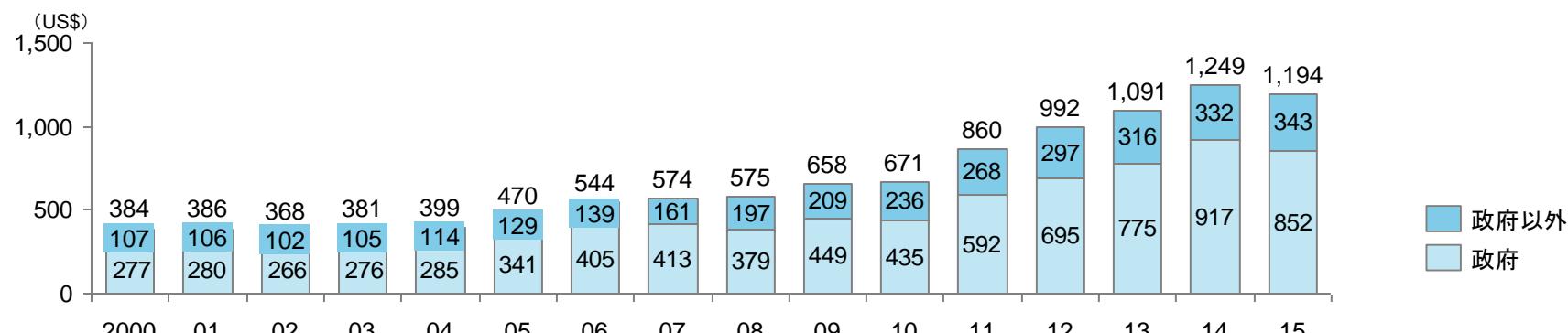
# 医療費支出額

- 2015年の医療費支出総額は377億US\$となっており、そのうち71%を政府が捻出している。

## 医療費支出総額と政府の医療費支出、政府の負担割合



## 一人当たり医療費の推移



※1: 2018年1月25日時点のWHOのデータから計算

※2: 全てUS\$の現在価値で計算

※3: Current Health Expenditureを医療費支出総額として計算

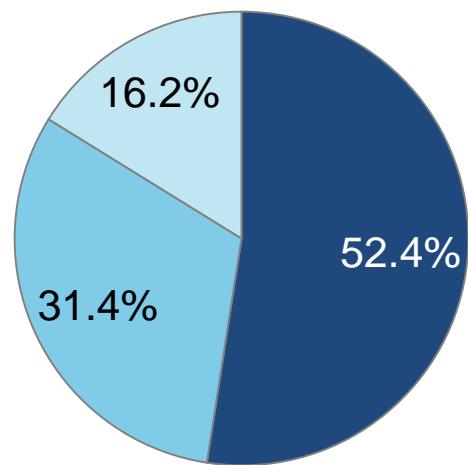
※4: Domestic General Government Health Expenditureを政府の医療費支出として計算

## 疾病構造・死亡要因【大分類】

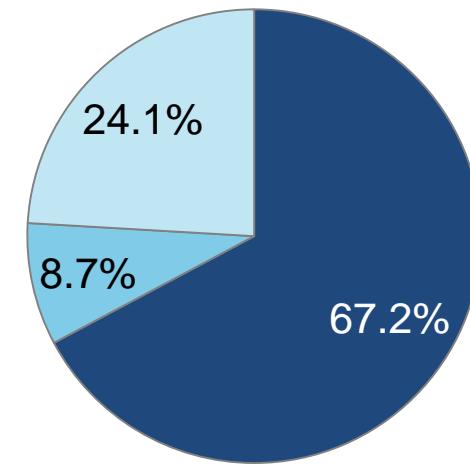
- 2017年において、サウジアラビアでの死亡要因は、「非感染症」の割合が最も高く、約70%となっている。また、他国と比較して突出して「事故等」の割合が大きい。
- 先進国の構造(非感染症の割合が大きい)に近づいているが、先進国と比較すると依然として「感染症」の割合が大きい。

死亡要因の割合（1990年⇒2017年）

1990年



2017年



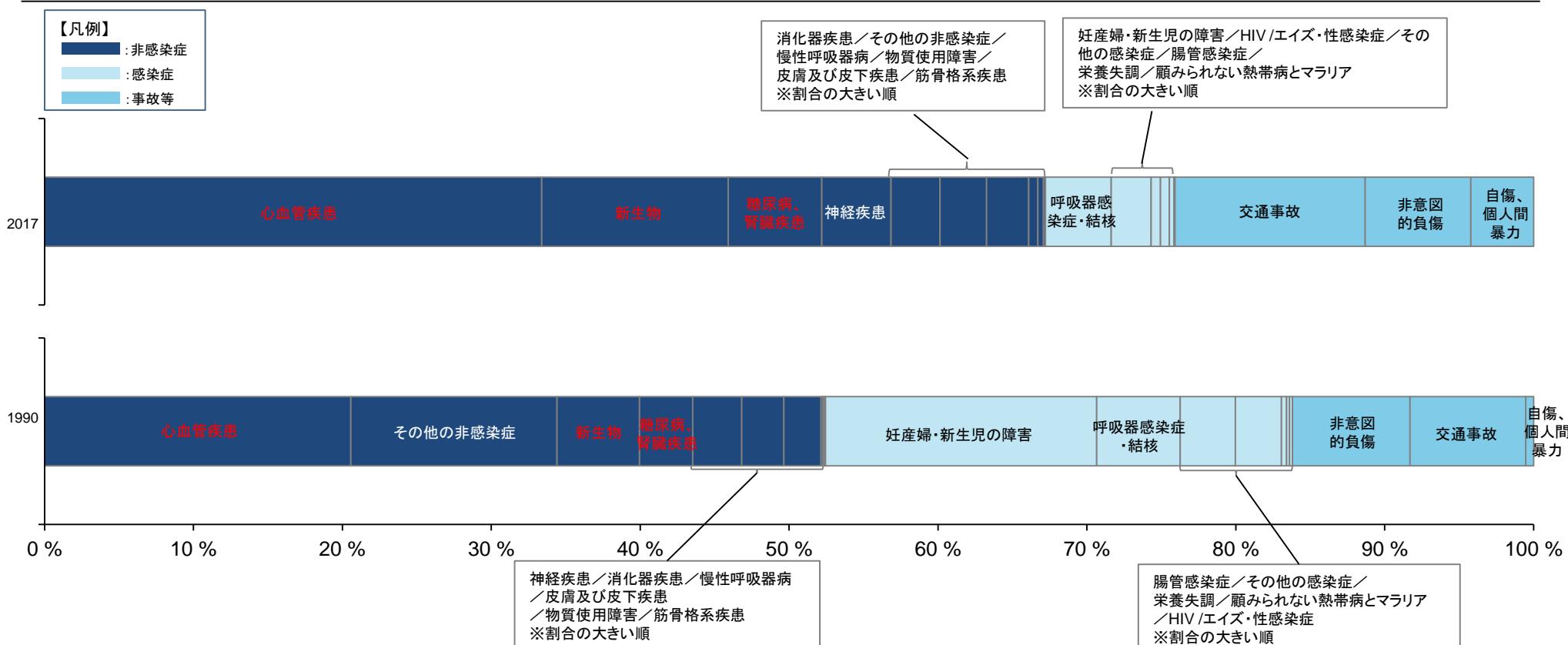
■ 非感染症 ■ 感染症 ■ 事故等

■ 非感染症 ■ 感染症 ■ 事故等

## 疾病構造・死亡要因【中分類】

- 1990年から2017年にかけては、最も大きい割合を占めていた「新生児の障害」が減少する等、「感染症」全体の割合が小さくなっている。
- 一方で、2017年には、「心血管疾患」や「新生物」等、「非感染症」の割合が増加している。
- また、「交通事故」による死亡も全体に占める割合が増加しており、2017年では2番目に大きい。

### 死亡要因で見る疾病構造の変化(1990年⇒2017年)



## 疾病構造・死亡要因【小分類】

- 主要疾患の内訳としては、心血管疾患の「虚血性心疾患」が最も多く、全体の死亡要因の約20%を占めている。また同じく心血管疾患の「脳血管疾患」も約8%を占めており、上記2つの疾患で全体の死亡要因の約30%以上を占めている。
- 死亡要因ではないが、糖尿病、肥満等の生活習慣病の罹患率が高い※1とされる。

### 死亡要因に見る主要疾患の内訳※2（2017年）

新生物			心血管疾患			糖尿病、腎臓疾患		
順位	疾病名	割合	順位	疾病名	割合	順位	疾病名	割合
1	結直腸・直腸癌	1.43%	1	虚血性心疾患	22.22%	1	慢性腎臓病	4.04%
2	気管・気管支・肺癌	1.34%	2	脳血管疾患	7.95%	2	糖尿病	2.25%
3	白血病	0.98%	3	心筋症・心筋炎	0.88%	3	急性糸球体腎炎	0.00%
4	肝癌	0.96%	4	その他の心血管疾患	0.85%			
5	乳癌	0.96%	5	心内膜炎	0.34%			
6	非ホジキンリンパ腫	0.90%	6	高血圧性心疾患	0.33%			
7	その他の悪性新生物	0.77%	7	心房細動・心房粗動	0.28%			
8	胃癌	0.65%	8	大動脈瘤	0.20%			
9	膵癌	0.61%	9	非リウマチ性弁膜症	0.16%			
10	脳・中枢神経系腫瘍	0.60%	10	リウマチ性心疾患	0.16%			
11	前立腺癌	0.58%	11	抹消血管疾患	0.02%			
12	食道癌	0.30%						
13	胆嚢・胆管癌	0.23%						
14	膀胱癌	0.22%						
15	期口唇癌および口腔癌	0.22%						
16	腎臓癌	0.21%						
17	卵巣癌	0.21%						
18	多発性骨髓腫	0.21%						
19	鼻咽頭癌	0.20%						
20	甲状腺癌	0.14%						
21	ホジキンリンパ腫	0.14%						
22	その他の新生物	0.13%						
23	喉頭癌	0.13%						
24	子宮頸癌	0.12%						
25	子宮癌	0.08%						
26	その他の咽頭癌	0.07%						
27	非黒色腫皮膚癌	0.06%						
28	黒色腫皮膚癌	0.03%						
29	精巣腫瘍	0.02%						
30	中皮腫	0.02%						

※1 サウジアラビア政府によると、糖尿病の罹患率は24%程度(2015年)で、690万人程度の患者がいるとされる。WHOによると、18歳以上の人口に占める肥満の人の割合が69.6%となっている。

※2 割合は、全体の死亡要因を分母にしたもので、各特定疾患内における割合ではない。

## 医療費支払いプロセス

- 2014年以降、サウジアラビア国内の民間企業に勤務するサウジアラビア人とその扶養家族は、医療費が有料となった。
  - 2014年以前は、全てのサウジアラビア人は、公的医療機関での受診は無料(民間医療機関での受診は有料)とされていた。
  - しかし、後述の通り2006年以降段階的に、民間企業に勤務するサウジアラビア人の健康保険が義務化されたことを受け、2014年以降は、サウジアラビア人であっても、健康保険対象者は、公的医療機関での医療費も有料となった。
  - 公務員やその家族等、健康保険の対象となっていないサウジアラビア人は、依然として公的医療機関では、無料で受診できる。
- 外国人は、有料で民間医療機関を受診する。
- 民間医療機関では、加入する健康保険のグレードに応じて、受診可能な病院が定められており、保険のグレードに応じて1回あたりの受診の際の支払額も定められている場合が多い(支払額は、定率ではなく定額とする健康保険が主である)。

### 一般的な健康保険サービスメニュー

- サービスのグレードは4段階(保険料は段階により、異なる)
- 最低年間上限額は、250,000リヤルで、最高額は1,000,000リヤル
- 高いグレードのサービスでは、国内のみならず、国外でも保険が適用される。
- 高いグレードのサービスでは個室(最高グレードではスイート)となり、安いサービスは共有部屋となる。
- 入院限度額は年間上限額により決定される。
- 12歳以下の子供の付添も保障対象、妊娠、出産は期間内で上限15,000リヤルとなる点は、グレードを問わず共通である。

## 診療価格

- 診療価格は、病院によって異なる。
- 保険会社や病院によっても異なるため、一概には言えないが、民間医療機関における診療価格は、日本とほぼ同程度かそれ以上と認識している駐在員が多いとされる。
- 前述の通り、民間医療機関では、加入する健康保険のグレードに応じて、受診可能な病院が定められており、保険のグレードに応じて1回あたりの受診の際の支払額も定められている場合が多い（支払額は、定率ではなく定額とする健康保険が主である）。

### 民間医療機関における診療価格の例

- 外来診療費：200～300リヤル
- 検査費（血液検査／回）：1,500～2,000リヤル
- 入院室費（1泊）：500～700リヤル

# 医療機関 - 医療機関区分と施設数・病床数の推移(1/2)

- サウジアラビアでは、公的病院は、「MOH管轄病院」と「その他政府機関病院」に区分される。
- 病院のうち、施設数では約7割、病床数では約7.5割を、公的病院が占めている。

## 公的医療機関

- その他政府機関の病院には、大学病院や軍事病院、国家警備隊病院等が含まれる。
- 病院以外にも、プライマリヘルスケアセンター(PHCセンター)や、透析センター、歯科センター、糖尿病センター等の機関がある。
- 公的病院は、PHCセンターからの照会により治療を提供する。

### 区別公的医療施設数※1

病院	MOH管轄	274
	その他政府機関	43
PHCセンター	2,325	
透析センター	165	
禁煙クリニック	160	
歯科センター	40	
入国時保健センター	27	
糖尿病センター	23	
法医学	20	
リハビリセンター	15	
中央研究所	13	
心臓病センター	9	
がんセンター	4	

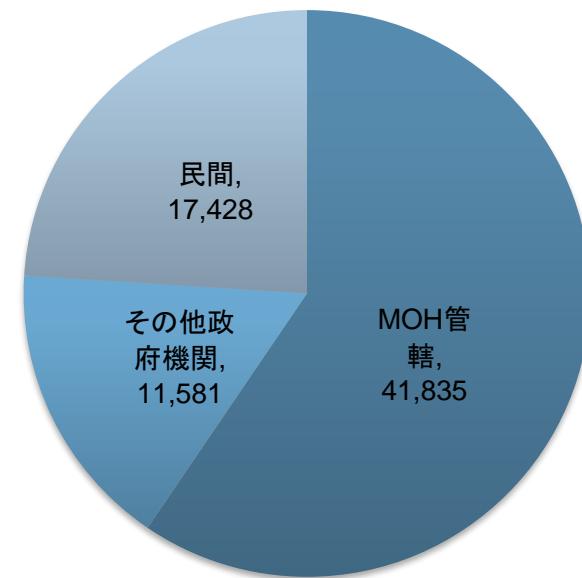
## 民間医療機関

- 民間病院は、152施設であり、民間病院の割合は、総病院数470施設のうち32.3%を占めるにすぎない。
- 診療所は、リヤドやジッダを中心に2,754施設ある。

### 区別民間医療機関数※1

病院	152
診療所※2	2,754

## 病院区別の病床数(2016年時点)



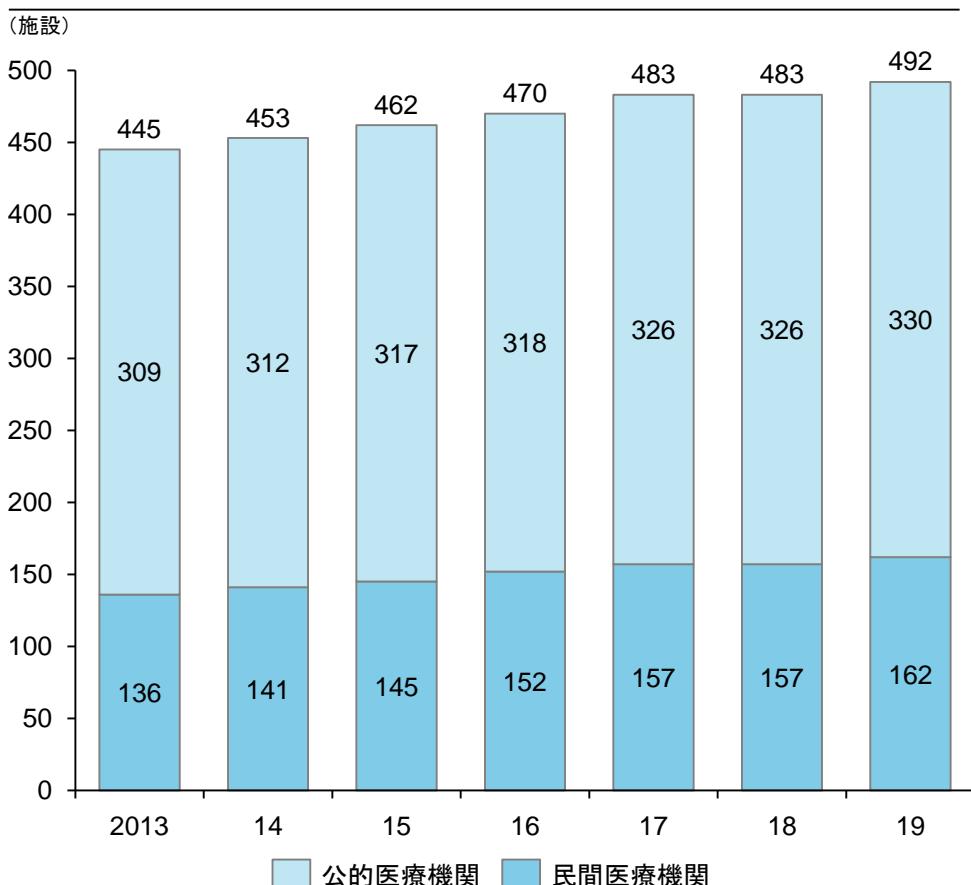
※1 公的医療施設数、民間医療機関数は、いずれも2016年時点のもの。

※2 病院と診療所違いは、入院施設(病床)の有無で、診療所には入院施設がない。

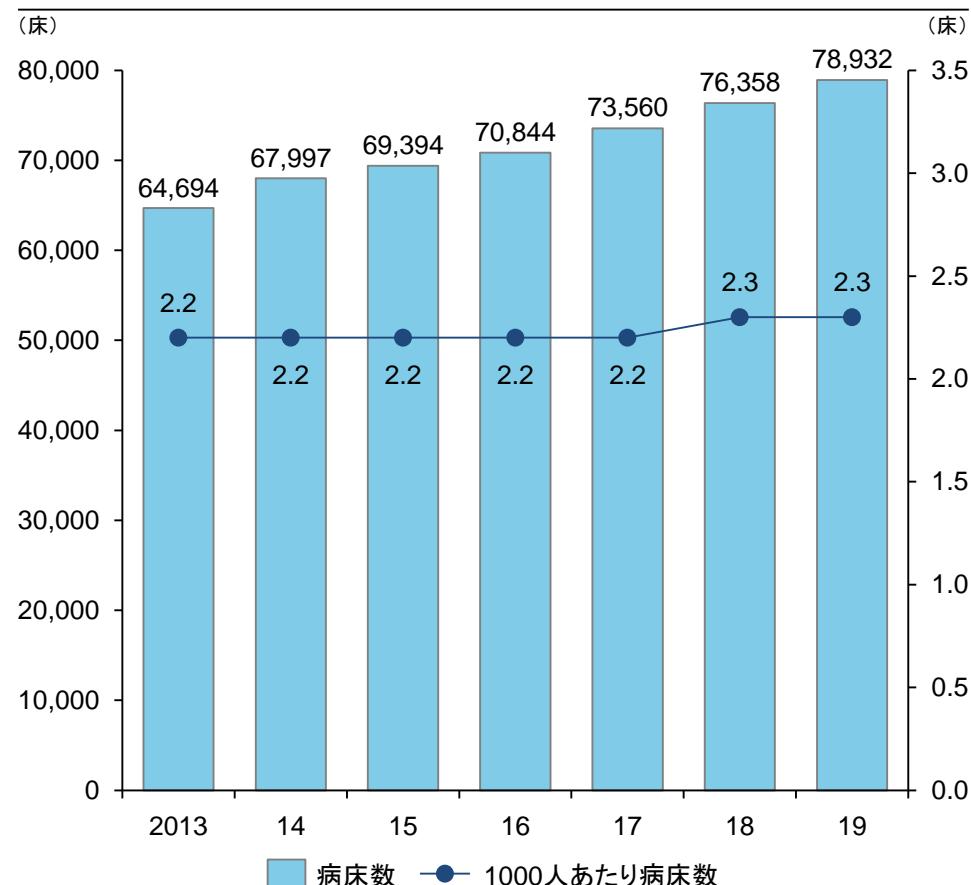
## 医療機関 - 医療機関区分と施設数・病床数の推移(2/2)

- 病院数・病床数とも微増傾向にある。

### 病院数の推移



### 病床数



## 医療機関 - 公的医療機関

- 主要な公的医療機関を以下に示す。

### サウジアラビアにおける主要な公的医療機関の概要

#### King Faisal Specialist Hospital and Research Centre

1973年設立。リヤドやジッダに展開する公的医療機関。病床数は1,589。国内で唯一の国立小児癌リサーチセンターを1997年に設立した。

#### King Abdullah Medical Complex

1996年設立。ジッダにある外科・内科の総合病院。眼科医学についての論文数で中東で第7位の実績を有する。中東で初のリニアック機器を使用した放射線治療を行った。

#### King Saud Medical City

1955年設立。総合病院の他、婦人科病院と小児病院の3病院に分かれている。病床数は1,500。

#### King Khalid University Hospital

1982年設立。1957年に設立されたKing Saud Universityの病院。病床数は、850。

#### King Fahad Medical City

2004年設立。総合病院の他、王立心臓疾患センター、婦人科病院、小児病院、癌センター、神経科学センター、リハビリ病院、糖尿病および内分泌系疾患病院に分かれている。病床数は、1,200。

#### King Abdulaziz Medical City

1982年設立。ジッダにある公的医療機関(メディカル・シティ)。病床数は、751。心臓病センターと王立の看護大学等がある。

#### Prince Sultan Military Medical City

1978年設立。14の診療科があり、病床数は1,192。

#### Security Forces Hospital

1998年設立。リヤドにある軍事病院。1972年から医療サービスを提供しているが、現在の名称になったのは1998年から。内務省職員とその家族向けの医療機関。病床数は420。

# 医療機関 - 民間医療機関

## ■ 主要な公的医療機関を以下に示す。

- 以下に示した民間医療機関では、Saudi German Hospitalを運営するMiddle East Healthcare Company (MEAHCO)には、アメリカ投資銀行が8.42%出資しているが、他はサウジアラビア資本の医療機関である。

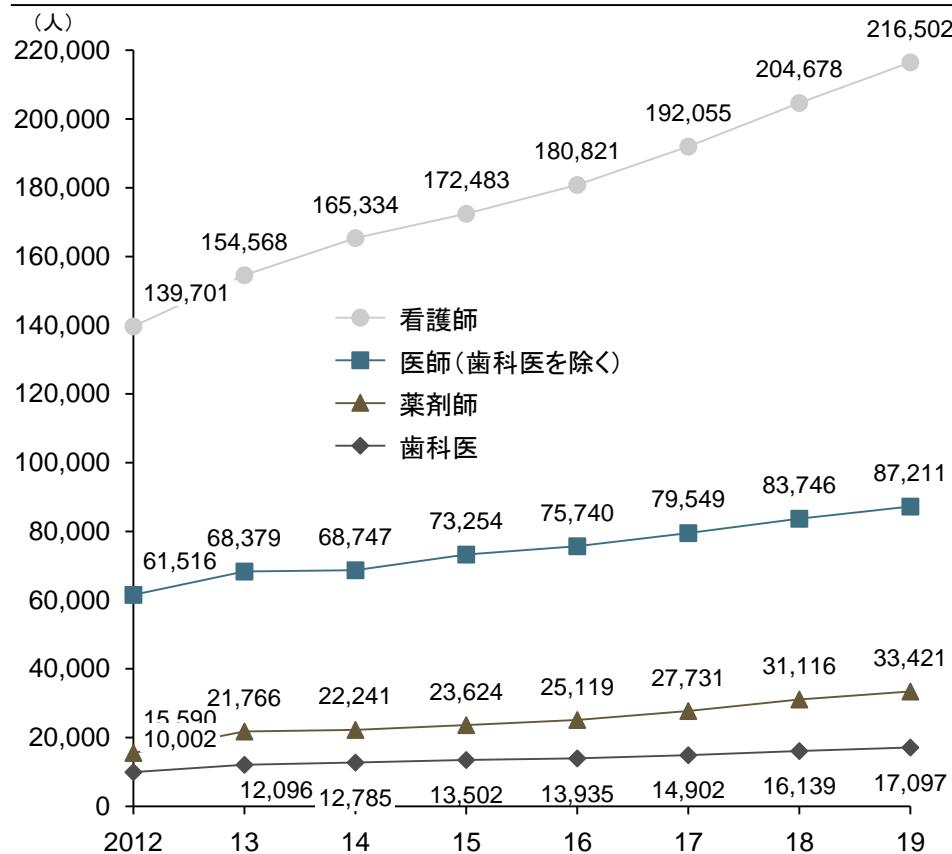
## サウジアラビアにおける主要な民間医療機関の概要

名称(所在地)	概 要
Kingdom Hospital(リヤド)	2000年開院の民間医療機関。2002年には、サウジアラビアで初となるConsulting Clinicsと合併を行った。小児科、内科、産科、婦人科、外科等の診療科以外に、リヤドの民間医療機関として初めて、リハビリテーションセンターを設置した。救急治療室と集中治療室は、アメリカの救急医科大学の基準に沿って運営されている。Kingdom Holding Companyが同院の株式を100%所有し、同社の筆頭株主は国内投資家のDr. Alwaleed B. Al-Saud氏である。
Saudi German Hospital (リヤド、ジッダ、マディーナ、アスィール)	サウジアラビア最大の、民間医療サービスプロバイダーであるMiddle East Healthcare Company (MEAHCO)が運営する民間医療機関。リヤド、ジッダ、メディナ、アスィールに4つの病院を運営している。MEAHCOの総売上は、約16.9億リヤルで、同社の筆頭株主は、国内企業のBait AL Batterjee Medical Co. Ltdで株式の54.7%を保有している他、アメリカの投資銀行International Finance Corp.が8.42%の株式を保有している。
Dr. Erfan and Bagedo General Hospital (ジッダ)	1981年開院(1891年に神経科の診療所として始まり、同年に総合病院として開院)。の民間医療機関。Joint Commission International (JCI)認証を取得している。救急部門を含む外科、内科、小児科等、30以上の診療科がある。主要株主は、いずれも国内企業のBagedo Commercial Holding CompanyとMohamed Ahmed Erfan and Sons Holdingである。
Dr. Soliman Fakieh Hospital(ジッダ)	1978年開院の民間医療機関。臓器移植(腎臓、骨髓、肝臓、心臓)に優れた実績を有する。病床数600床、年間50万人以上の患者が訪れるサウジアラビア国内最大規模の民間医療機関の1つである。Joint Commission International (JCI)認証を取得している。
Specialized Medical Center Hospital (リヤド)	1999年開院の民間医療機関。病床数は450床以上、外来診療室150室、300人以上の医師と600人以上の医療スタッフを有する。
Al Hammadi Hospital (リヤド)	リヤドに、Al Hammadi Hospital Olaya(300床)、Al Hammadi Hospital Suwaidi(428床)の2病院があり、新たにAl Hammadi Hospital Nuzhaを建設中(2016年下期には開業予定、600床)。Al Hammadi Hospital Olayaは、1985年開院で、当時は同国内最大の民間病院であった。Al Hammadi Hospital Suwaidiは、2015年開院。外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、歯科、救急等の診療科を有する。Joint Commission International (JCI)認証を取得している。主要株主は、Jadwa Investment Co.、Abdulaziz bin Mohamed Hamad Al-Hammadi, MD等、国内企業や投資家である。
Dallah Hospital(リヤド)	1987年開院のDallah Health Services Company (DHSC)が運営する民間医療機関。23の診療科を有し、病床数は315。民間病院で初の腹腔鏡手術を開始した他、放射線治療の許可をサウジアラビア国内で初めて取得した。Joint Commission International (JCI)認証を取得している。運営会社であるDHSCは、Dallah Healthcare Holding Co.が所有しており、同社の株主は、国内投資家である。
Dr. Sulaiman Al-Habib Hospital in Arryan(リヤド)	2010年開院のMedical Group of Dr. Sulaiman Al Habibが運営する民間医療機関。病床数は360で、同グループが運営する11の病院、医療センターの中核を担い、特に肥満患者やスポーツ医学に優れた実績を有する。Joint Commission International (JCI)認証を取得している。同グループは、ドバイにも病院を展開している。

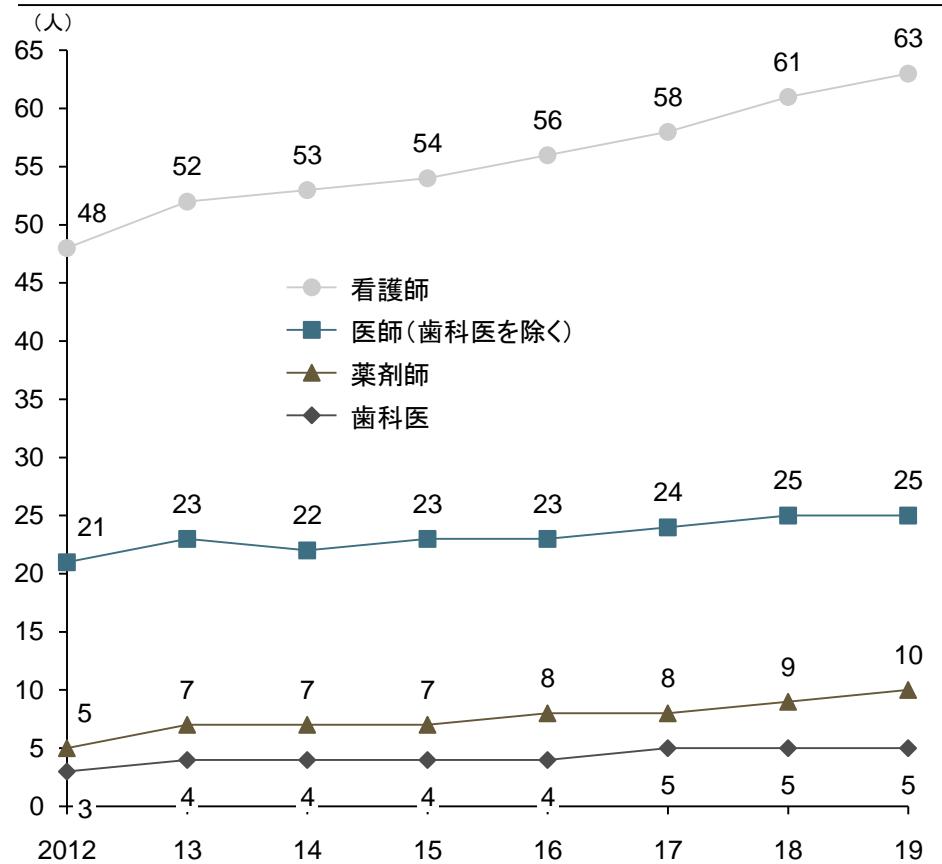
# 医療従事者(1/2)

- 2019年時点で、1万人あたり医師数は25人、看護師数63人となっている。

医療従事者数



1万人あたり医療従事者数

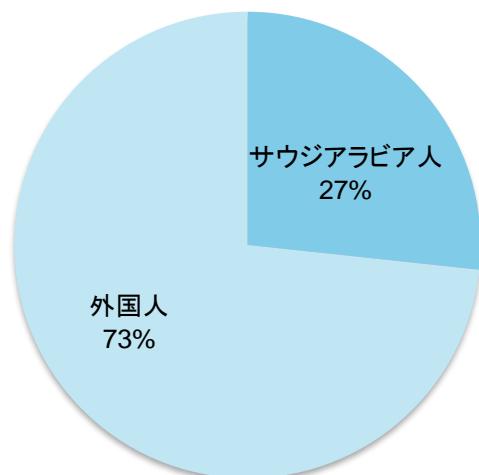


## 医療従事者(2/2)

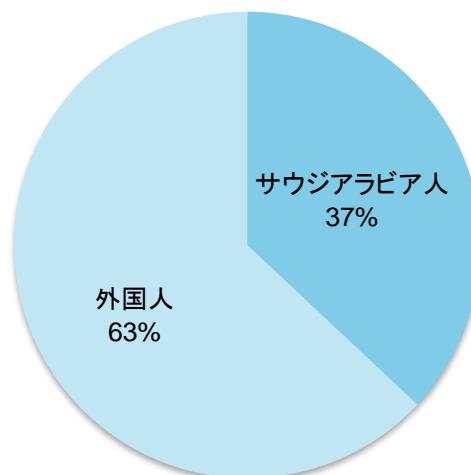
- サウジアラビアでは、医師、看護師、薬剤師のうち、サウジアラビア人の割合は、それぞれ4割にも満たない。

医師、看護師、薬剤師におけるサウジアラビア人と外国人※比率(2016年時点)

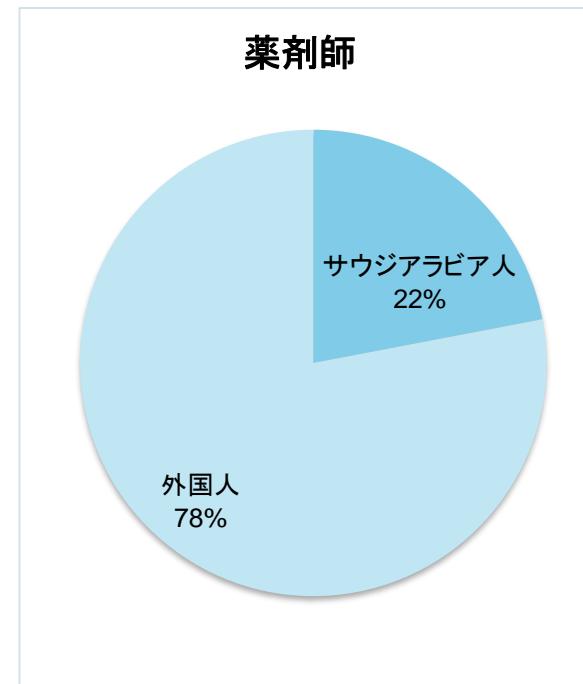
医師



看護師



薬剤師



※ 外国人は、「Non-Saudi」と表記されており、サウジアラビアの居住許可証を持つサウジアラビア国籍を有していない者を指すと考えられるが、定義は明示されていない。

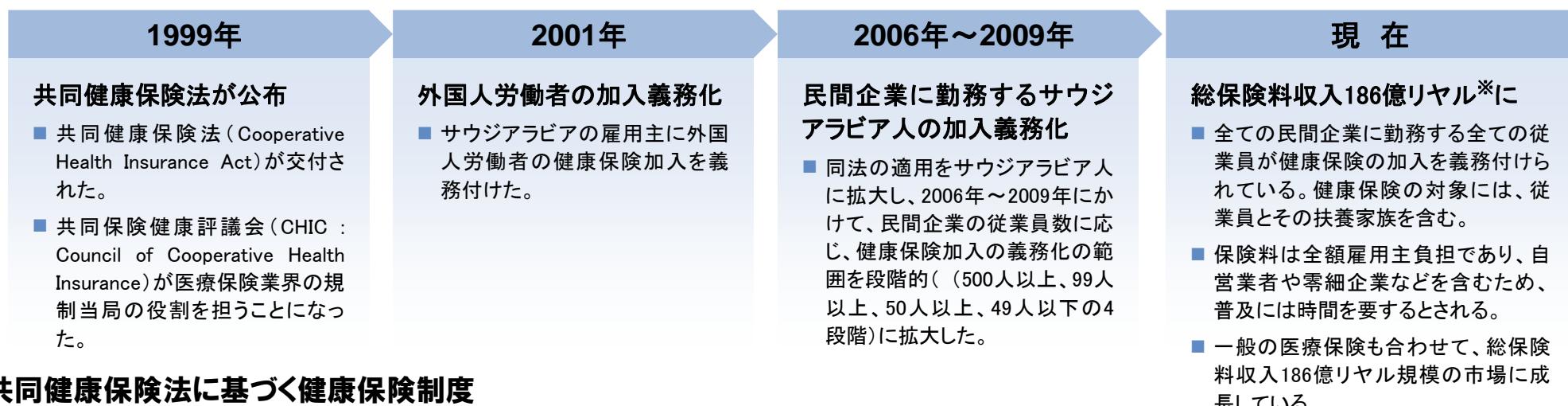
(出所) サウジアラビア保健省「Statistical Book for the Year 1437(2017)」

## サウジアラビア／医療関連／制度

### 保険制度(1/2)

- サウジアラビアでは、2006年から段階的に保険加入の義務化が始まり、公的皆保険制度が整備されている。
- 2001年に外国人労働者を対象に義務化が始まり、2006年から民間企業に勤務するサウジアラビア人にも義務化の範囲が拡大した。2009年には民間企業に勤務する全てのサウジアラビア人が健康保険に加入することが義務付けられた。
- 自営業者や零細企業では義務化が徹底されているとは言えず、健康保険の普及が課題となっている。

### 保険制度の変遷



### 共同健康保険法に基づく健康保険制度



- 健康保険の加入を義務付けられた対象者への健康保険サービスの提供は、共同保険健康評議会(CHIC)が認証した保険会社(Health-Care Services Provider)を通して行われる。現在認証されている保険会社は27社ある(2016年11月時点)。

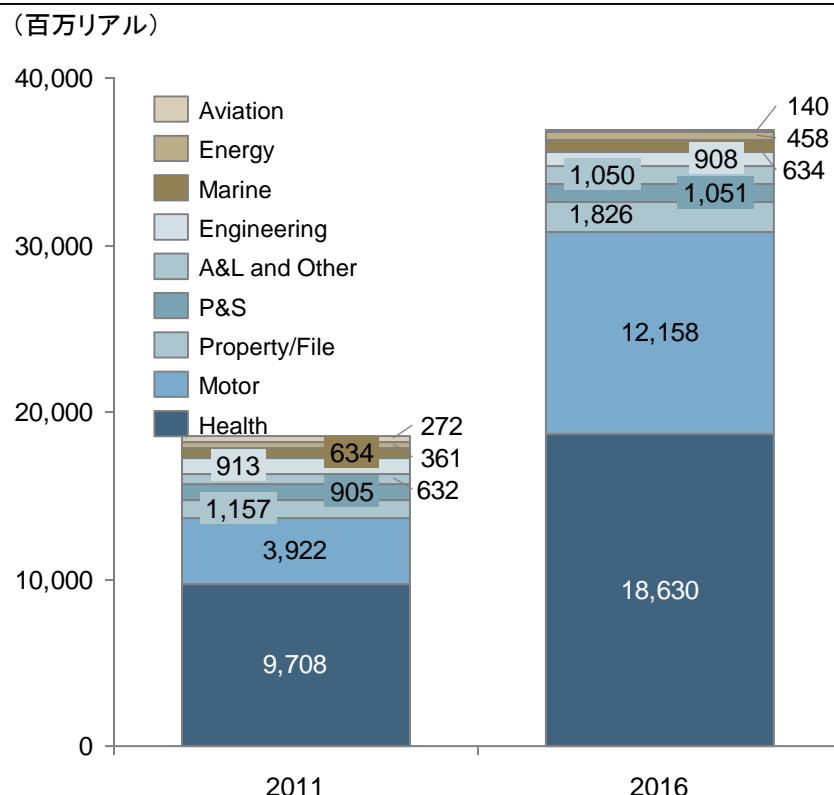
※ 義務化された民間企業に勤務する全ての従業員向けの健康保険だけではなく、その他の健康保険を含む。

## サウジアラビア／医療関連／制度

### 保険制度(2/2)

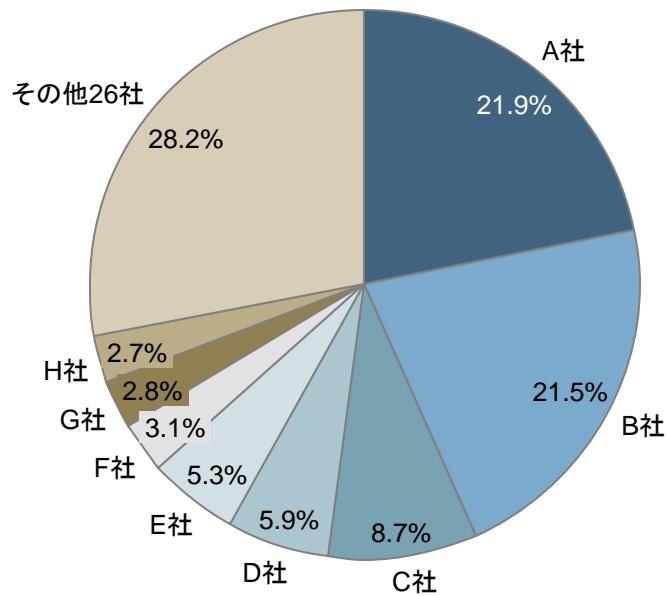
- サウジアラビアの保険市場は、年率約19%で拡大しており、2016年には市場規模が約370億リヤル(2011年は約180億リヤル)となった。
- 全体のうち、医療保険(Health Insurance)が約50%を占め、保険市場を牽引している。
- 上位3社が、シェアの50%を占めている。

#### 保険市場規模の推移



(出所) サウジアラビア通貨庁「The Saudi Insurance Market Report 2015」

#### 保険市場における各社のシェア※(2016年時点)



※ シェアは総保険料収入ベース

1リヤル = 29.57 円 (2018年01月15日時点)

## サウジアラビア／医療関連／制度

### 民間保険会社(1/2)

■ 共同保険健康評議会(CHIC)が認証した保険会社(Health-Care Services Provider)27社は、以下の通り。

- 外国資本が含まれる保険会社もあり、東京海上日動火災保険(東京海上)が出資するAlinma Tokio Marineも27社に含まれている。

#### 共同保険健康評議会(CHIC)が認証する保険会社一覧と主な出資外国企業(2016年11月時点)

企業名	主な出資外国企業(国籍)、持株比率*
The Mediterranean & Gulf Cooperative Insurance & Reinsurance Company (MedGulf)	—
Allied Cooperative Insurance Group(ACIG)	Allied Cooperative Insurance Group(バーレーン) : 20.00%
Al-Ahlia Cooperative Insurance Company	Misr Life Insurance(エジプト) : 5.625%
Tawuniya cooperative Insurance Company	—
Gulf general Insurance Company	—
Saudi United Cooperative Insurance (WALA'A)	International General Insurance Co. Ltd.(ヨルダン) : 7.49%
Al Alamiya Insurance Company	—
Saudi Arabian cooperative Insurance Company (Saico)	Saudi Arabian Cooperative Insurance Co(バーレーン) : 30.00%
United Cooperative Assurance Company (UCA)	—
Gulf Union Cooperative Insurance Company	—
AMANA for Cooperative Insurance	—
AXA Cooperative Insurance Company	アクサ(フランス) : 50.00%
شركة الأئماء طوكيو مارين(Alinma Tokio Marine Company)	東京海上日動火災保険(日本) : 28.75%
Trade Union cooperative Insurance Company	—
Arabia Insurance Cooperative Company	Arabia Insurance Co.(レバノン)、Jordan Insurance Co.(ヨルダン)
Arabian Shield cooperative Insurance Company	—
Al Rajhi Company for Cooperative Insurance	Al Rajhi Insurance Co. Ltd.(バーレーン) : 26.50%
Al Sagr Cooperative Insurance Company	—
Allianz Saudi Fransi Insurance Company	—
Buruj Cooperative Insurance Company	Gulf Insurance Co.(クウェート) : 22.50%
BUPA Arabia for Cooperative Insurance	—
Salama Insurance Company	—
Solidarity Saudi Takaful Company	—
Saudi Enaya Cooperative Insurance	—
MetLife AIG ANB for Cooperative Insurance Company	American Life Insurance Company(アメリカ) : 30.00%、 AIG MEA Investments and Services Inc(アメリカ) : 10.00%,
Malath Cooperative Insurance & Reinsurance Company	—
Wafa Cooperative Insurance Company	The New India Assurance Co. Ltd.、Life Insurance Corporation of India(インド)、 LIC International(バーレーン)

## 民間保険会社(2/2)

- サウジアラビアの投資銀行Albilad Capitalによると、2015年時点でのサウジアラビアの保険市場における大手3社は、Tawuniya、Bupa Arabia、MedGulfの3社である。
- 各社の概要は以下の通り。

### 保険市場における大手3社の概要

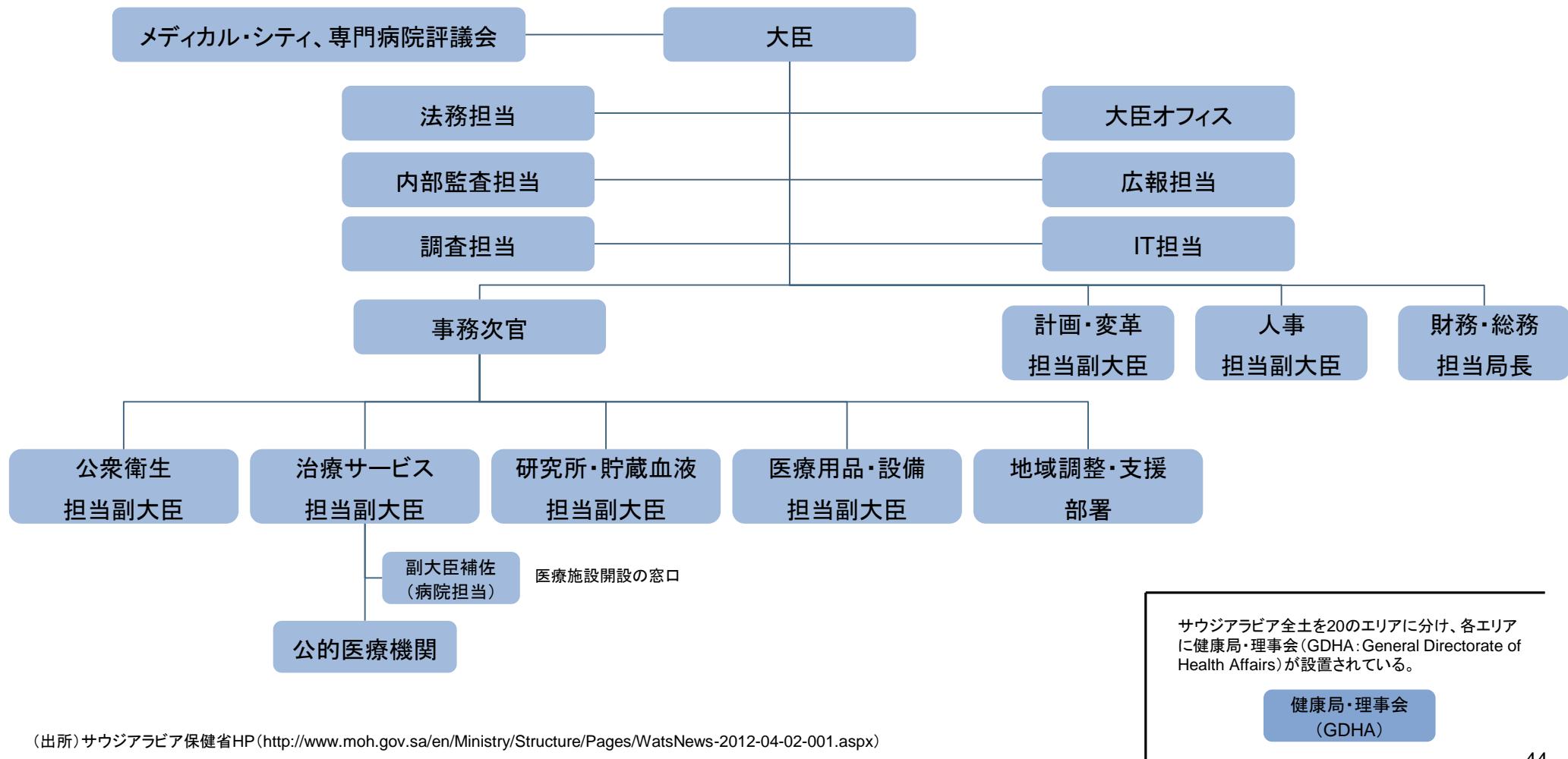
企業名	概 要
<b>Tawuniya cooperative Insurance Company</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険業界1位(2015年)、医療保険、自動車保険分野では、ともに2位の保険会社</li> <li>● 1986年創立</li> <li>● 2014年の総保険料収入は、約62億リヤル</li> <li>● 主要株主は、Public Pension Agency(持株比率:23.79%)、General Organization for Social Insurance(持株比率:22.83%)であり、いずれも政府系機関</li> </ul>
<b>BUPA Arabia for Cooperative Insurance</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険業界2位(2015年)、ただし医療保険分野では1位の保険会社</li> <li>● 1997年創立</li> <li>● 2014年の総保険料収入は、約57億リヤル</li> <li>● 主要株主は、ロンドンに拠点を持つ民間会社 Bupa Investments Overseas Limited(持株比率:26.25%)</li> </ul>
<b>The Mediterranean &amp; Gulf Cooperative Insurance &amp; Reinsurance Company (MedGulf)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保険業界3位(2015年)、医療保険、自動車保険では、ともに3位の保険会社。</li> <li>● 1995年創立</li> <li>● 2014年の総保険料収入は、約44億リヤル</li> </ul>

# サウジアラビア／医療関連／制度

## 保健に関する制度・行政体制

- サウジアラビアの保健政策は、保健省(MOH: Ministry of Health)によって、管轄されている。

### 保健省の組織体制



## 医療機関に関する規制

- サウジアラビアでは、療養、診断、研究、リハビリ、介護のサービスを行う機関は、以下の規制に従わなければならない。

### 医療機関に関する規制

- 一般的な医療機関(general healthcare center)は少なくとも3つの専門領域に対応できるようにしなければならない。
- 特殊な医療機関(specialized healthcare center)は少なくとも1つの専門領域を持たねばならない。
- 患者の診断、療養ができるオフィス(クリニック<sup>※1</sup>)を準備すること。
- 放射線センターはX 線診断装置が必要である。
- 日帰り手術のできる施設を用意する。
- 医師や薬剤師を含む医療スタッフは保健省(MOH) やGDHA<sup>※2</sup> のライセンスを取らねばならない。
- 病院は、必要な設備、研究施設、X 線装置、緊急救命装置、手術施設を設置する。
- 最低病床数は、一般病院では30床、2つの専門領域を持つ病院では20床、1つの専門領域のみの病院では10床 とする。

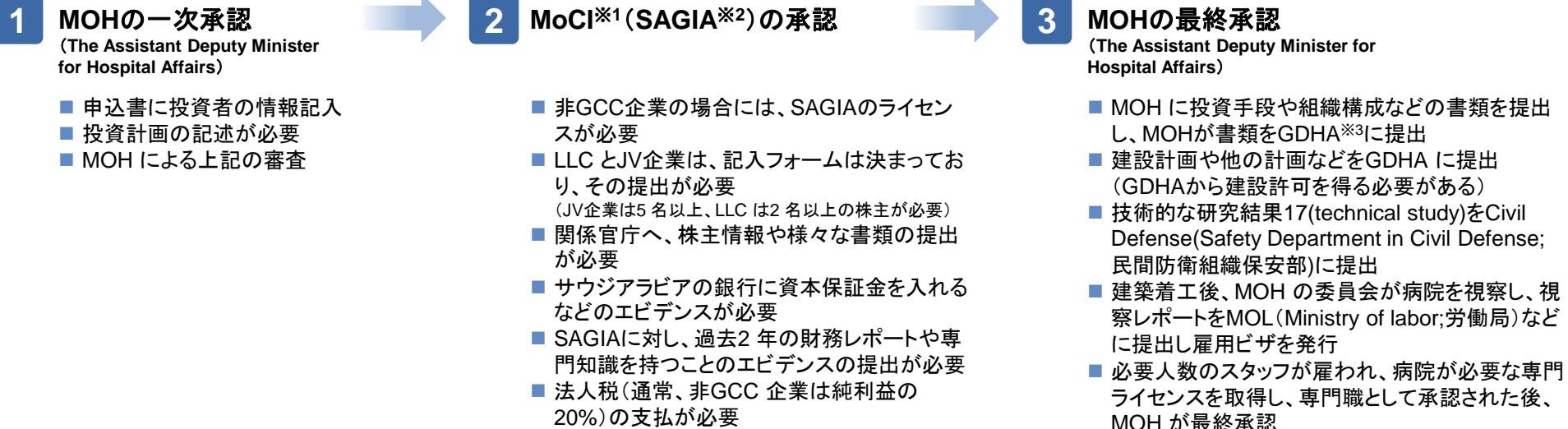
※1 クリニック(Clinic)とは、Facility where a patients are received, examined and treated.として定義され、入院施設の必要がない。一方で、病院(Hospital)は、入院施設が必要となる。

※2 GDHAとは、General Directorate of Health Affairs(健康局・理事会)の略称。

# サウジアラビア／医療関連／制度 医療施設開設に関する規制

- サウジアラビアでは、医療施設開設までには、大きく3ステップが必要となる。

## 医療施設開設までの流れ



※1 MoCIとは、Ministry of Commerce and industry(商工業省)の略称。

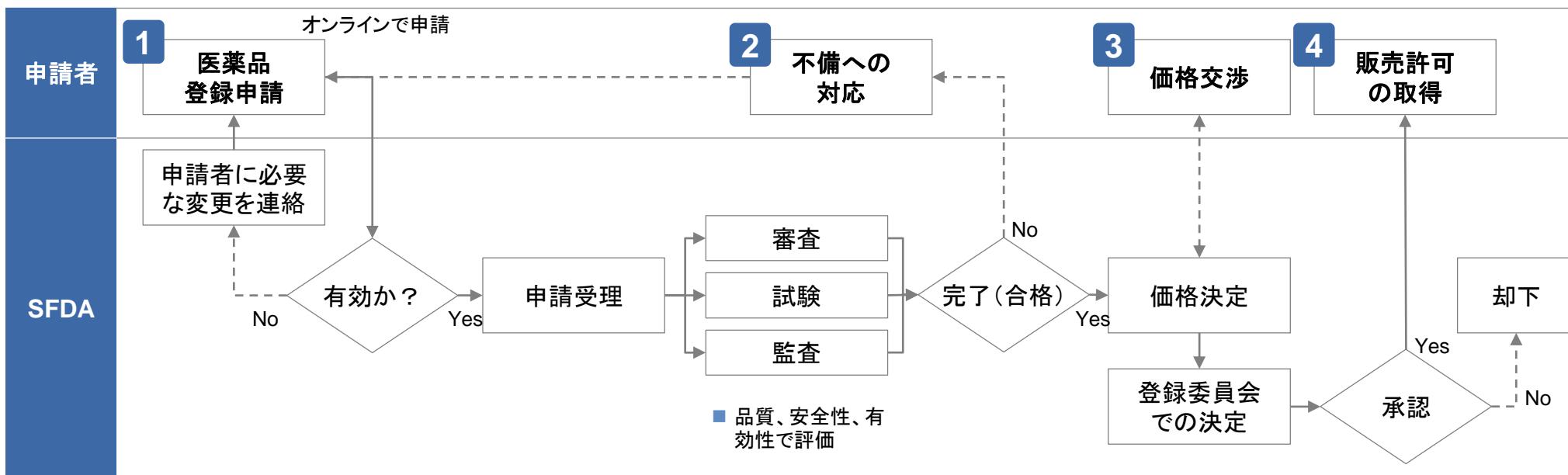
※2 SAGIAとは、Saudi Arabia General Investment Authorityの略称。サウジアラビア総合投資院であり、外国企業の窓口となっている。

※3 GDHAとは、General Directorate of Health Affairs(健康局・理事会)の略称。サウジアラビア全土に20の事務所が設置されている。

# 医薬品の認可に関する規制、手続き(1/2)

- 医薬品、医療機器等についての規制、承認、監督は、サウジアラビア食品医薬品庁(SFDA: Saudi Food & Drug Authority)が担当しており、医薬品については、「販売許可」が必要になる。

## 医薬品の販売許可の流れ



## 販売許可の手続料と期間

分類	手数料(US\$)	手続き期間(目標)
新薬	25,333	<ul style="list-style-type: none"> <li>SRA*に登録がある製品: 290日</li> <li>それ以外: 415日</li> </ul>
後発医薬品	10,666	165日 (バイオシミラーは新薬と同様)

\* SRAとは「Stringent Drug Regulatory Authority」の略であり、アメリカ(FDA)、欧州(EMA)、英国(MHRA)、スイス(SwissMedic)、カナダ(Health Canada)、オーストラリア(TGA)の各規制庁を指す

## 医薬品の認可に関する規制、手続き(2/2)

- 医薬品の販売許可取得の際に必要な提出書類と、記載事項の概要は、以下の通り。

### 医薬品の販売許可取得の際に必要な提出書類等

- 1 申込書(オンラインで提出)
- 2 製品ファイル
- 3 薬剤サンプル

### 提出書類への記載事項の概要

新規か更新かの別

#### 1 申請のタイプ

1.1 申請の別(新薬(New Drug)、後発医薬品、生物製剤(Biological)、放射性医薬品)

1.2 製品に関する情報(サウジアラビアが原産国か否か、原産国における製品の情報)

#### 2 販売承認申請の詳細

2.1 製品名及びATCコード

2.2 製品情報

2.3 販売承認保有者／コンタクトパーソン／企業の詳細

2.4 製造者 (API製造者、賦形剤(Excipients)製造者、最終製品製造者)

2.5 CPP(Certificate of a Pharmaceutical Product:CPP)の有無 ない場合は自由販売証明の有無

2.6 該当する場合、製品の化学成分に含まれる動物性材料のリスト及び詳細

3 科学的助言(の有無)

4 小児発達プログラム

5 他の国の規制機関における申請の状況



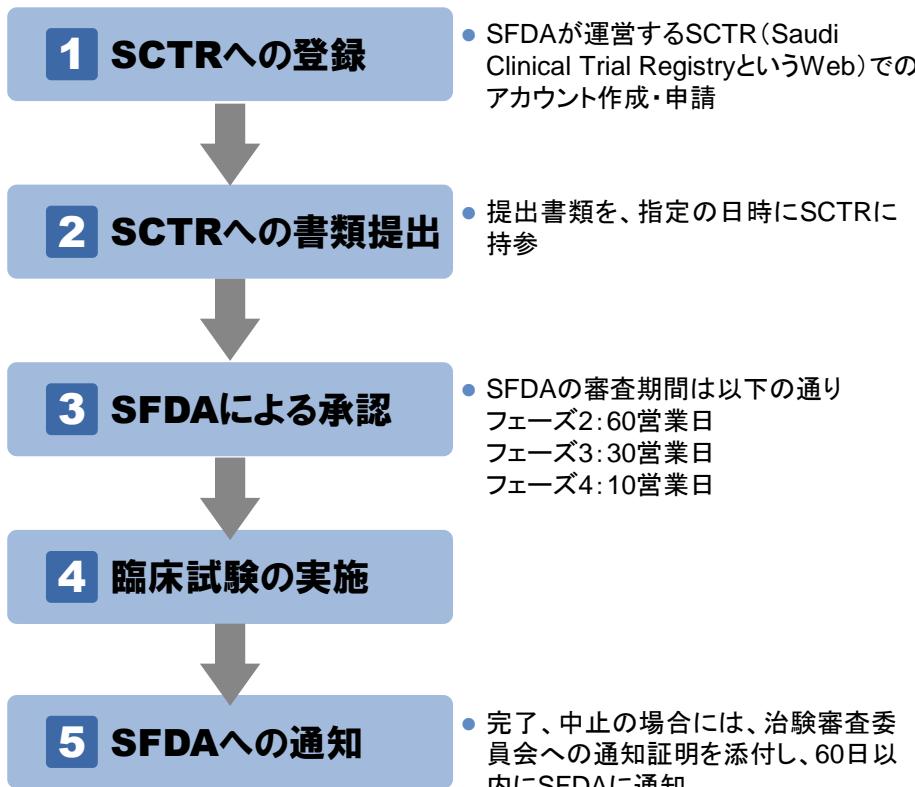
## 薬価に関する規制

- 薬価は、医薬品価格委員会(Pharmaceutical Products Pricing Committee)により承認を受ける必要がある。
- 医薬品価格委員会では、価格設定ガイドライン(Pricing Guideline)に基づいて価格が提案される。

# 臨床試験に関する規制

- 臨床試験についても、サウジアラビア食品医薬品庁(SFDA: Saudi Food & Drug Authority)が担当している。
- サウジアラビアで臨床試験を行う際には、SFDAから承認を得る必要がある。

## フェーズ2、3の臨床試験の実施プロセス※1



※1 フェーズ4の場合には、治験審査委員会の承認を得たうえで、20日以内に、SFDAのClinical Departmentに書類を提出する必要がある。

(出所)サウジアラビア食品医薬品庁「Regulations and Requirements for Conducting Clinical Trials on Drugs(Version 1.1)」(2015)

## 臨床試験の実施に際して提出が必要な書類※2

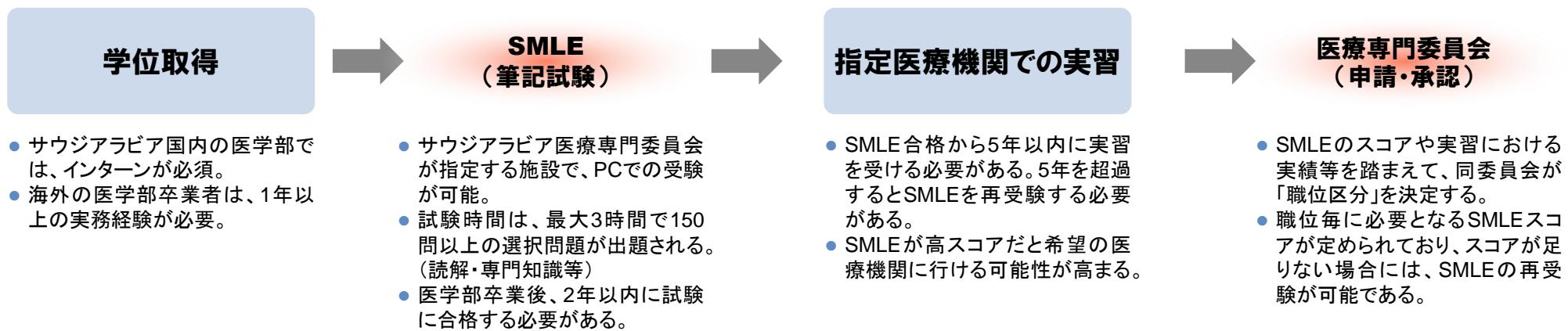
- SCTR 登録番号を含むSFDA Executive Vice Presidentへのヘッドラター(アラビア語)
- 治験審査委員会の承認
- インフォームド・コンセント(アラビア語と英語)
- 試験実施計画書
- 治験薬概要書
- 症例報告書
- 研究薬物のラベル
- 臨床試験契約書
- 研究代表者の金銭面確認資料
- 秘密保持契約
- 研究薬物の分析証明書
- GMP 証明書(治験薬の製造管理、品質管理等に関する基準)
- 被験者の保険
- 開発業務受託機関(CRO)の委任／承認レター(該当する場合)
- 研究代表者およびコーディネーターの履歴書
- 代表研究者のGCP証明書
- 研究者声明書
- 以上のハードコピーおよび電子コピー両方が必要

※2 言語の記載がない書類は、英語での作成が可能。フェーズⅡは、全ての書類の提出が必要だが、フェーズⅢでは、No.2、3、4、14、17のみの書類提出でよい。

# ライセンス取得プロセス・教育水準

- サウジアラビア国内での医師ライセンス所得には、筆記試験(SMLE: Saudi Medical Licensing Examination)の合格と、サウジアラビア医療専門委員会(Saudi Commission for Health Specialties)による承認が必要である。
- 筆記試験の受験には、医学部を卒業している(国内外は問わない※1)ことが必要で、海外の医学部卒業者は、最低1年以上の実務経験が必要※2になる。
- 筆記試験に合格した者は、合格から5年以内にサウジアラビア医療専門委員会が指定する医療機関で実習を行う必要がある。
- 実習期間を経て、サウジアラビア医療専門委員会に医師申請書を提出し承認を受けて、医師ライセンス(職位※3)が交付される。

## 医師ライセンス取得までのプロセス



※1 医学分野の学位があれば、サウジアラビア国外の学位での受験も可能だが、サウジアラビア医療専門委員会への問い合わせや認可が必要になる。  
同委員会が、サウジアラビアの法律や国際法に反すると判断すれば却下されることもある。

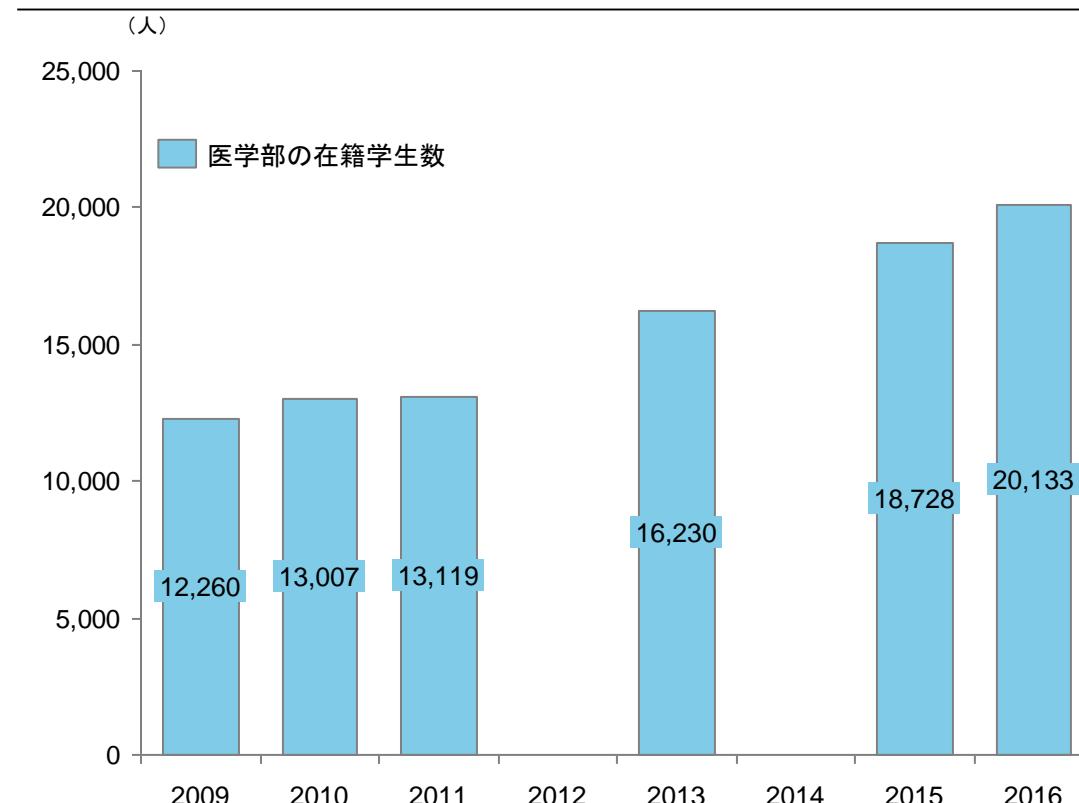
※2 海外の医学部卒業者は、最低1年間の実務経験が必要とされる。専攻分野にもよるが、2年程度の実務経験が求められる場合が多いとされる。

※3 医師の職位区分は、総合診療医、レジデント、医局員、上級医局員、診療部長、専門分野診療部長等があり、学位・専攻や実習の期間や経験の評価により、決定される。

# 医師の育成政策

- サウジアラビアでは、医師におけるサウジアラビア人比率が27%(2016年時点)と低いが、保健省(MOH)では、自国内での人材育成を促進する方針の一環で、医療従事者の教育にも力を入れている。
- 2009年には、約1.2万人であったサウジアラビア国内の医学部生は、2016年には約2万人にまで増加している。
- 2016年時点では、医学部に在籍する学生の98%がサウジアラビア人であり、今後、サウジアラビア人の医師が増えることが想定される。

**医学部の在籍学生数の推移※**



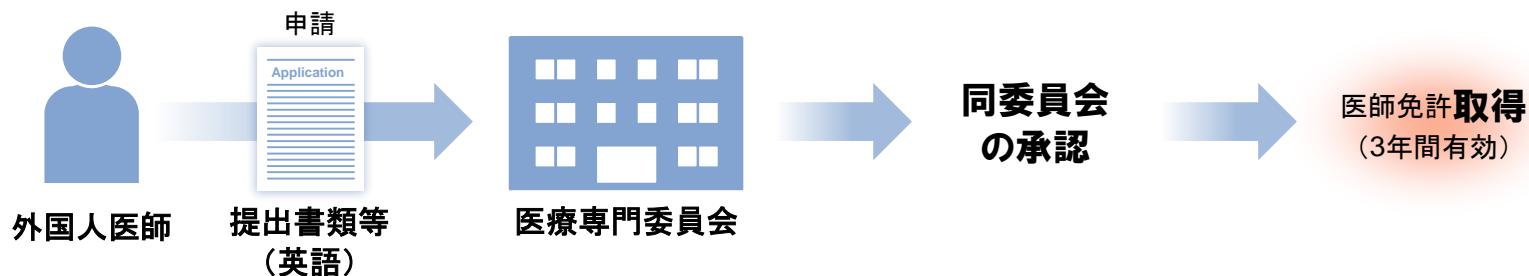
※ 2012年、2014年は、Webからデータ取得ができなかった。

(出所)サウジアラビア保健省「Statistical Book for the Year 1437(2016)、1436(2015)、1434(2013)、1432(2011)、1431(2010)、1430(2009)」

# サウジアラビア／医療関連／制度 外国人医師のライセンス

- サウジアラビア医療専門委員会(Saudi Commission for Health Specialties)に、所定の書類を提出し、承認を得ることで医師ライセンス(職位)を得ることができる。
- 有効期間は3年間で、医師ライセンスの再登録には、「医学生涯教育(Continuing medical education)」の証明書と、サウジアラビア国内の雇用主からの身分証明書(就労継続の証明書)、手数料の領収書が必要になる。

## 外国人医師のライセンス取得フロー



## 外国人医師のライセンス取得の際に必要な提出書類等

1	就労証明書(過去2年間に就労した全ての機関)
2	学位証明書、その他の医師認定証明書類のコピー
3	現在の医師免許の証明書のコピー
4	履歴書のコピー
5	パスポート、在留許可書、またはビザのコピー
6	写真2枚(パスポートサイズ)
7	医師申込書(就労予定先の医療機関から交付される)
8	手数料

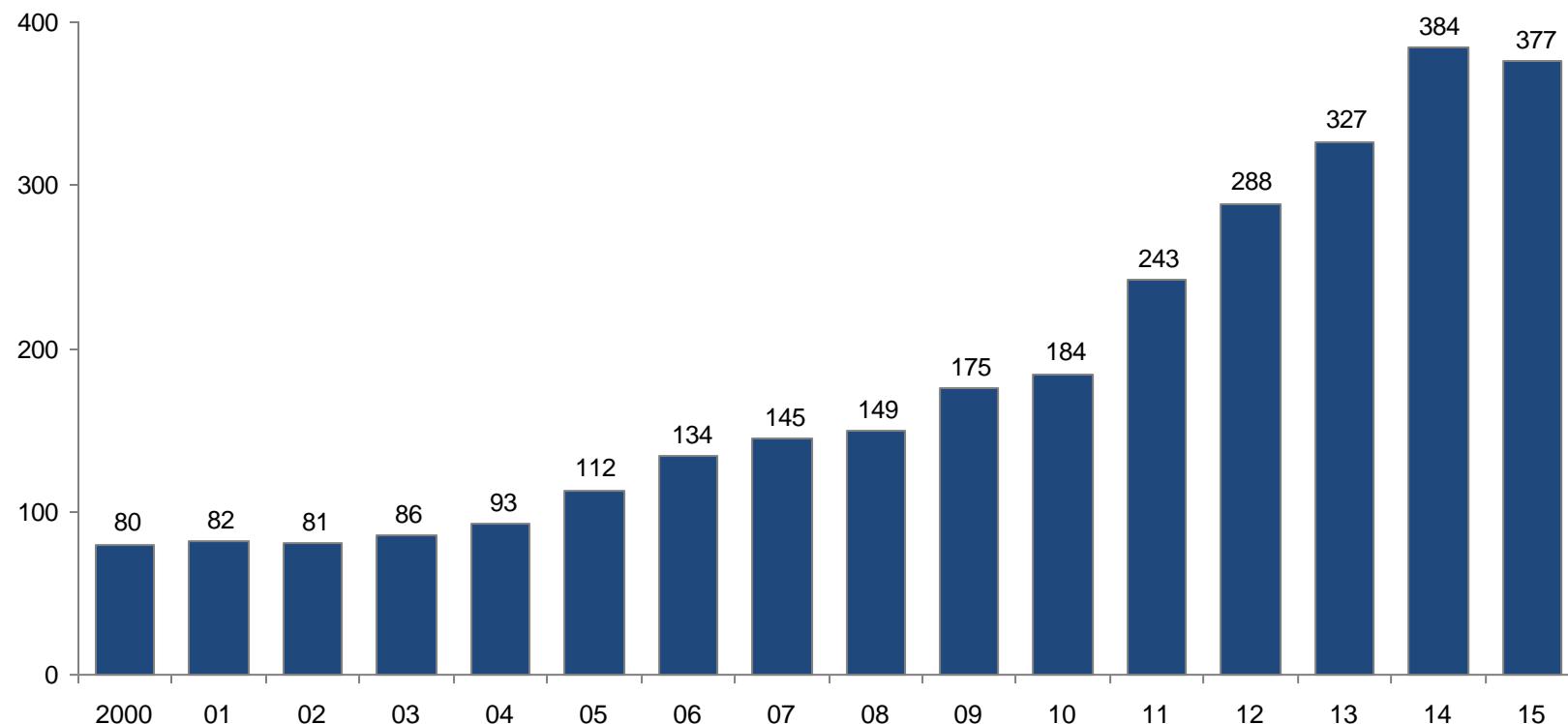
(出所)サウジアラビア保健省「Guideline of Professional Classification and Registration For health practitioners」、Helen Ziegler & Associates HP(<https://www.hziegler.com/>)

## 市場規模

- 医療サービスの市場規模は増加傾向にあり、特に2010年以降、急激に増加し、2015年には377億US\$程度となっている。

### 医療サービスの市場規模※

(億US\$)



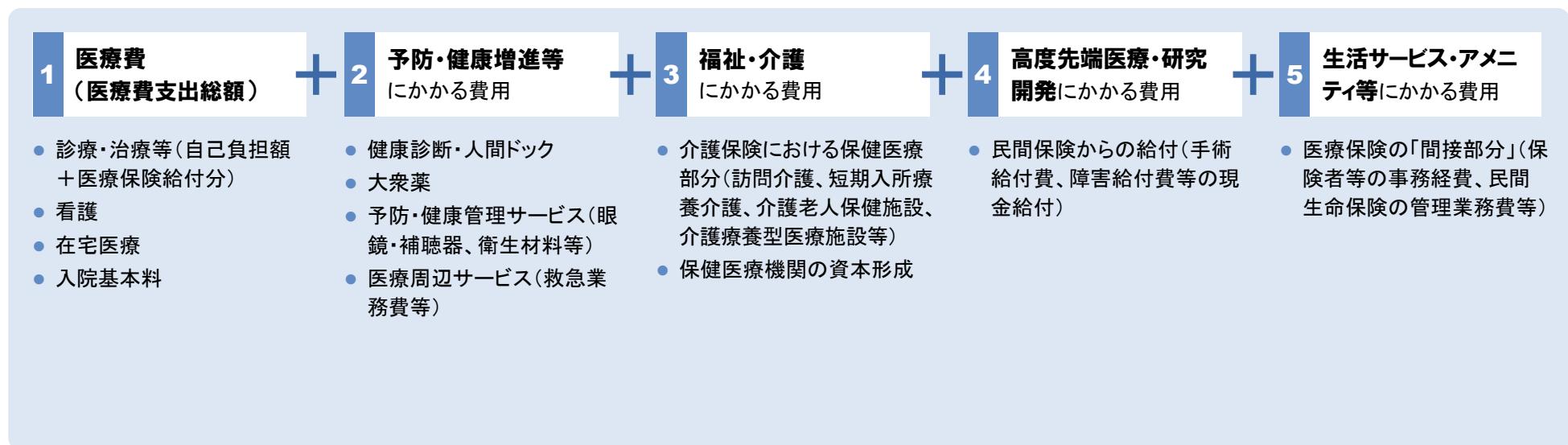
※ここでは、総保健医療支出額を医療サービスの市場規模と定義した

(出所) 世界保健機関(WHO)「Global Health Expenditure Database」

## 参考) 総保健医療支出額(THE)とは

- 総保健医療支出額(Total Health Expenditure: THE)は、「1 医療費(医療費支出総額)」に、下記の2～5のような費用を加算することで算出される。

### 総保健医療支出額(Total Health Expenditure : THE)



### 留意点

- ただし、各国ごとに医療制度などが異なることから、推計方法も異なる点に留意が必要である。
  - 例えば、「3 福祉・介護にかかる費用」が「1 医療費」に含まれる国があつたり、「2～5」を正確に把握していない国があつたりする。
  - したがって、「総保健医療支出額」と「1 医療費(医療費支出総額)」が一致する場合もある。

## 業界構造 – 主要企業(日本企業以外)

- サウジアラビアにおいて、外国人または外国企業が、100%出資で医療機関を所有することが可能※1となったのは、2015年のことである。
- 実際に、外国資本を医療機関に投資する際には、サウジアラビア総合投資院(SAGIA:Saudi Arabia General Investment Authority)の承認が必要であり、外国資本による医療機関は、それほど多くはないものと考えられる。

### サウジアラビアにおける外国資本の医療機関(例)

名称	概 要
Johns Hopkins Aramco Healthcare	2014年2月開院。サウジアラムコの従業員向けに、ジョンズ・ホプキンス大学病院と、国営石油会社サウジアラムコの合併により設立された医療機関。サウジアラムコの従業員数は、2016年時点で6.5万人程度である。サウジアラムコは、1933年より、自社病院を運営し、従業員に対して医療サービスを提供してきたが、2013年にジョンズ・ホプキンス大学病院と提携し、臨床プログラム開発や、トレーニング、安全・品質管理などについて協力を得ていた。
Sanad Hospital	リヤドにある民間医療機関。2011年に40%分の出資を行っていたインドのDr Azad Moopen 氏※2が、2015年に、出資比率97%に追加投資を行い、実質的にDr Azad Moopen 氏が所有する医療機関となった。
As Salama Hospital	アルコバールにある民間医療機関。アラブ首長国連邦のNMC Healthが、2016年8月に、2,800万US\$を投資し同院の株式の70%を取得した。

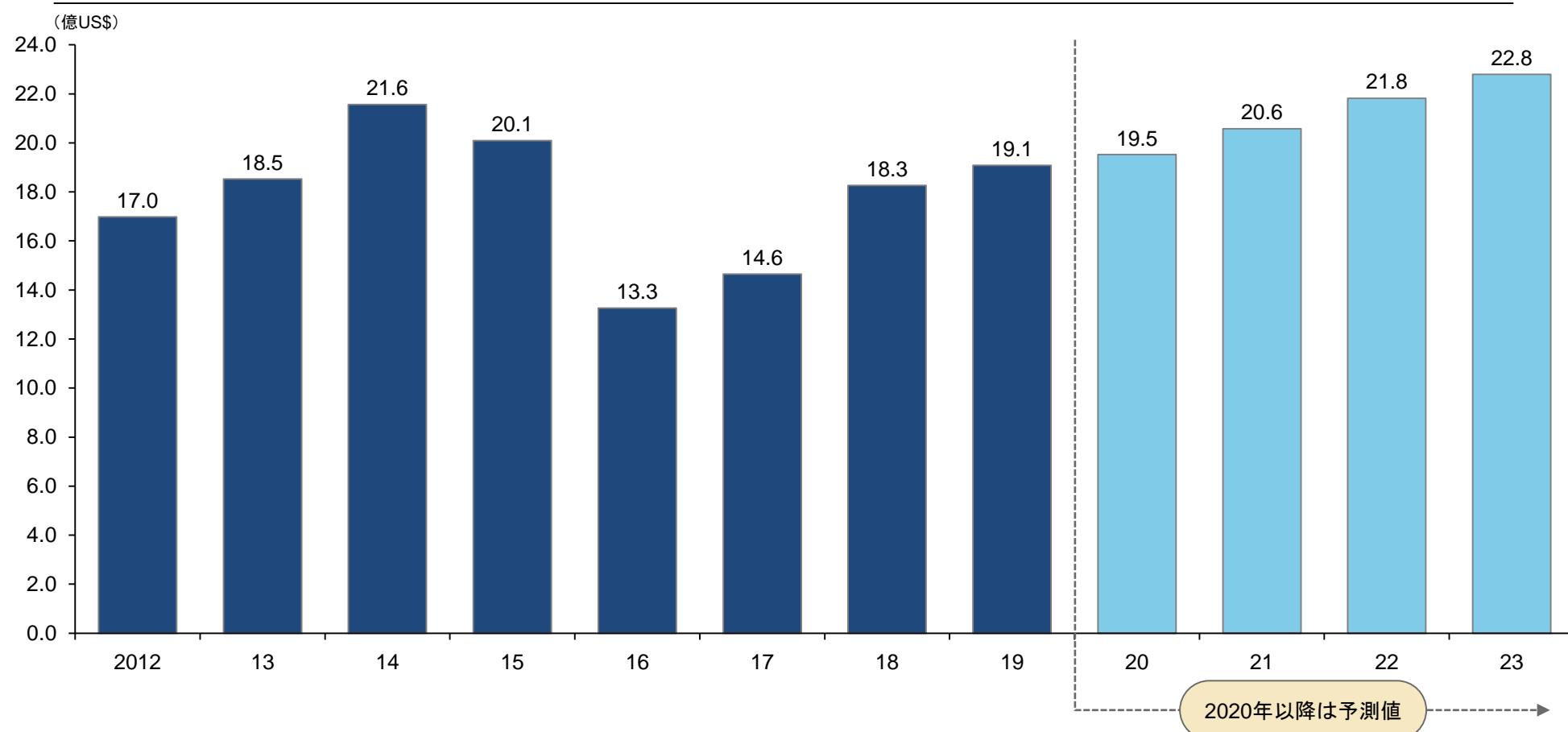
※1 Hospital Services CPC 9311"(the establishment, management and operation of Hospitals)は、サウジアラビア総合投資院(SAGIA:Saudi Arabia General Investment Authority)の承認が必要ではあるものの、外国資本の投資が可能となった。

※2 インドのヘルスケア企業Aster DM Healthcareの会長で、医師でもある。同社は、UAE、カタール、オマーン、サウジアラビアに175の病院を設立した。

# 市場規模

- 2019年の医療機器市場は19億US\$規模であり、今後拡大していくことが予測されている。

## 医療機器の市場規模

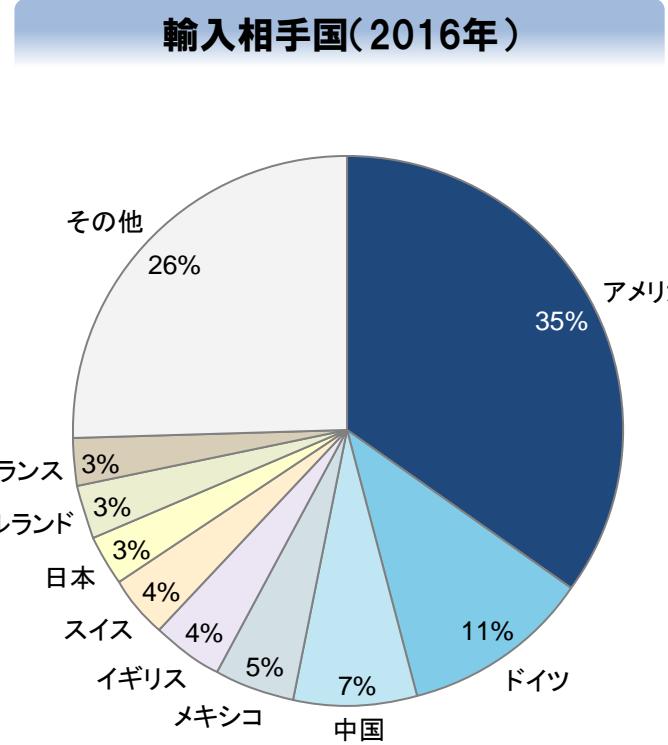
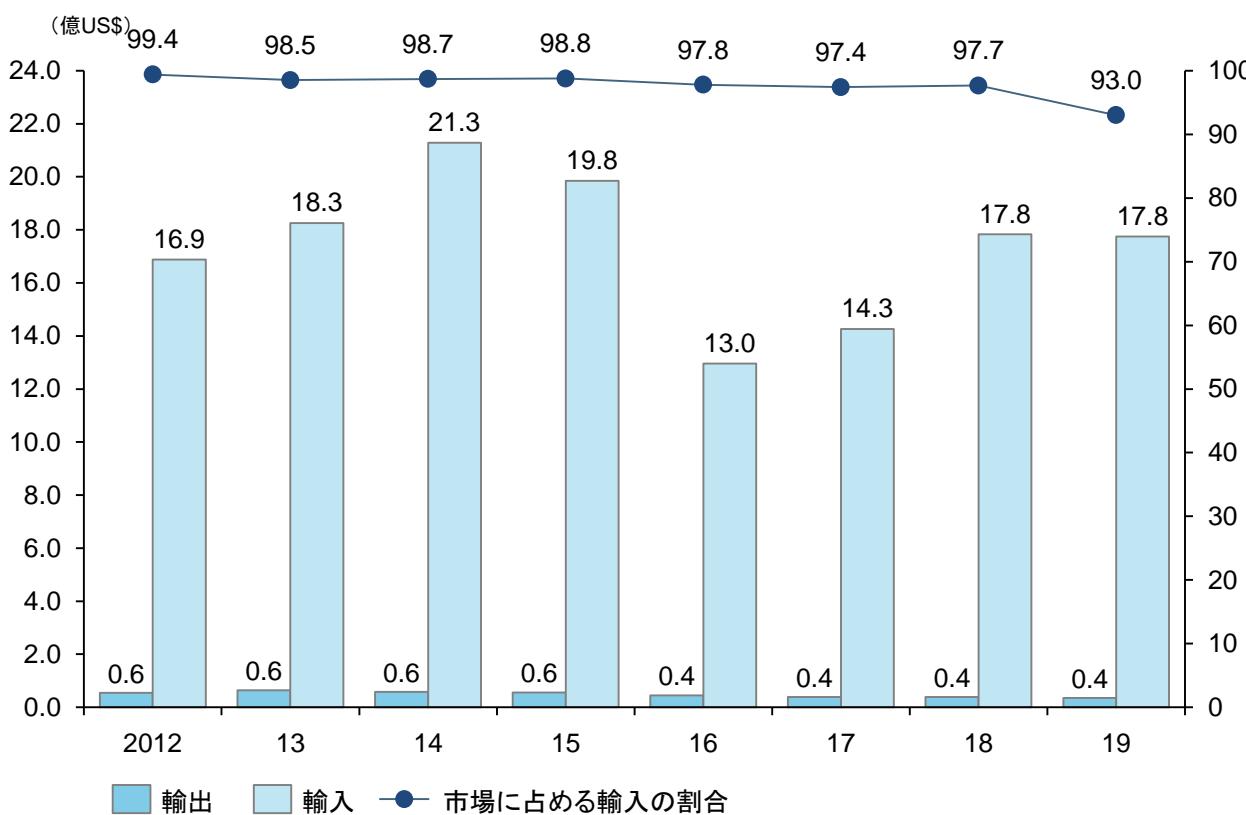


## サウジアラビア／医療関連／医療機器

# 輸出入額

- サウジアラビアの医療機器市場は輸入に依存してきたが、近年依存度は減少傾向にある。
- 輸入先としては、2016年時点でアメリカが3割以上を占め、続いて、ドイツ、中国となっている。

## 医療機器の輸出入額

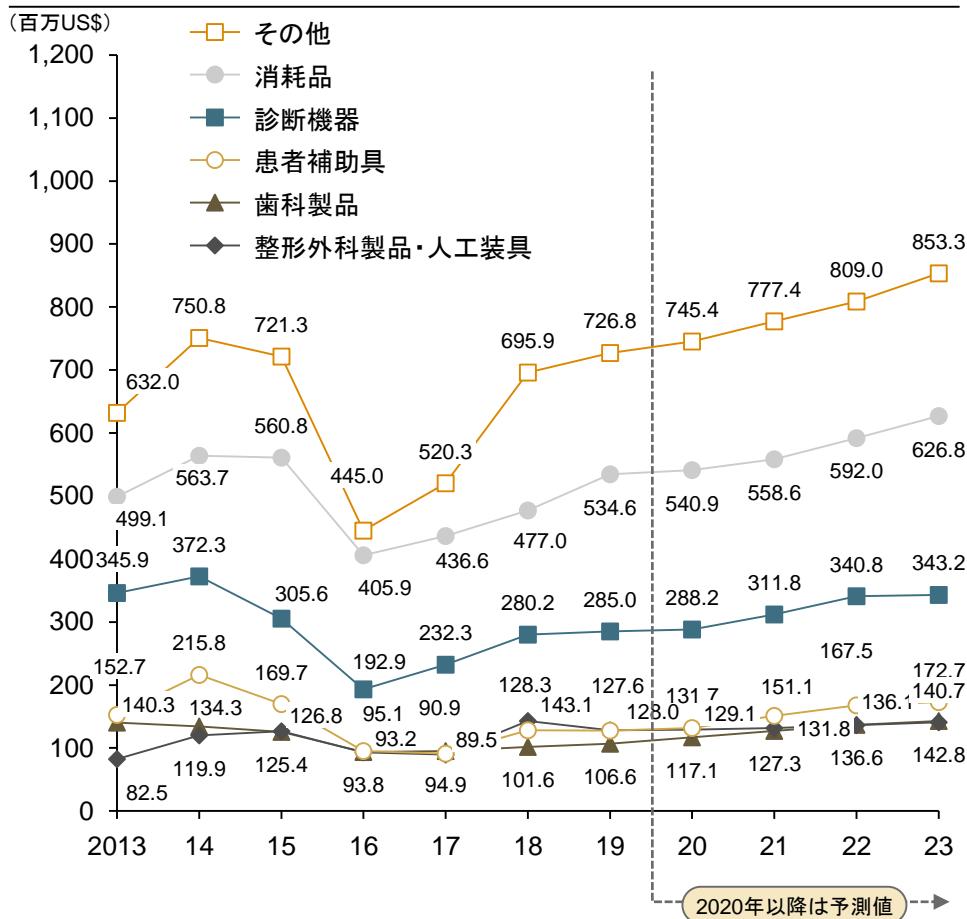


## サウジアラビア／医療関連／医療機器

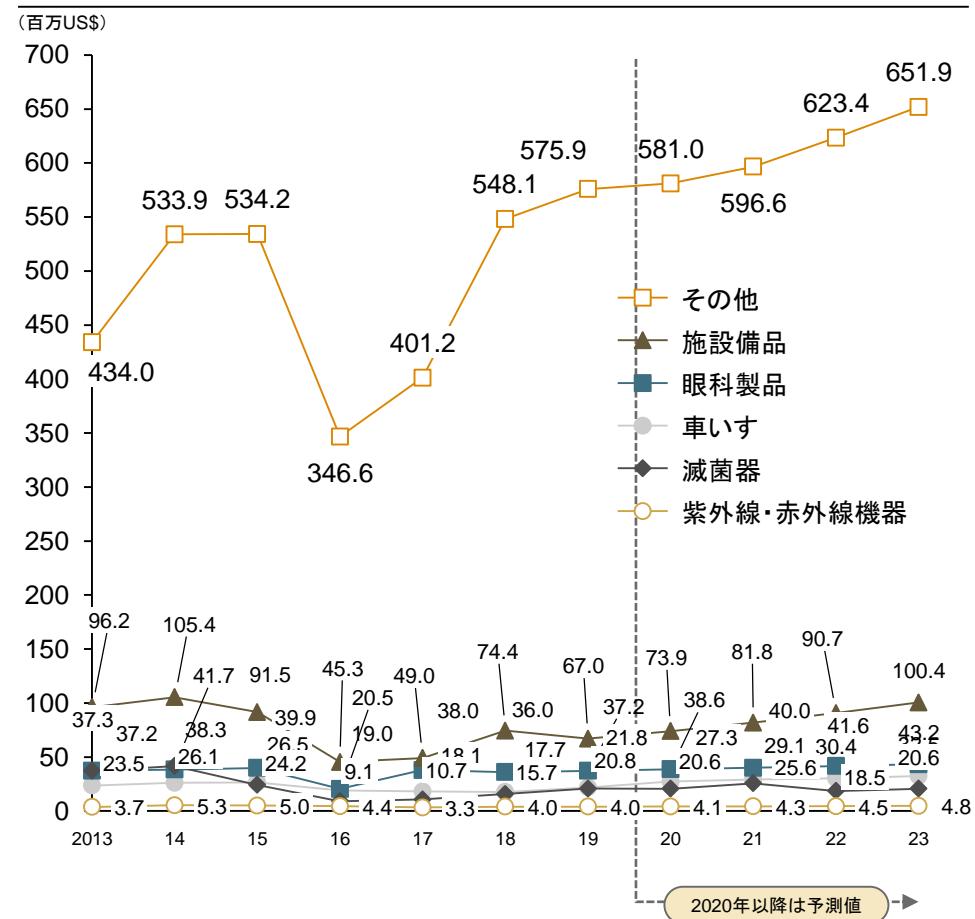
# 今後、高い需要が見込まれる医療機器

- いずれの医療機器も市場規模拡大が見込まれる。

## 医療機器別市場規模



## (参考)医療機器別市場規模 - その他の内訳



(出所) Fitch Solutions「Worldwide Medical Devices Market Forecasts 2020」

## 業界構造 - 主要メーカー(日本企業以外)

- 医療機器市場は、ほぼ輸入に依存している状況で、その中で大きな存在感を示しているのが、シーメンス、GE、フィリップス等の欧米系メーカーである。
- これらの企業は、サウジアラビアを含むGCC加盟国において、医師向けのセミナー等を通じて、ブランド名の浸透を高める活動を数多く行っている。

### 欧米系の主要な医療機器メーカーのサウジアラビアにおける動向

シーメンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サウジアラビアにおいては、75年以上のビジネスの実績を有しており、2011年2月に、国営石油会社サウジアラムコと戦略的調達契約に署名する等、関係構築に成功している。</li> <li>● 医療分野では、King Faisal Specialist Hospital &amp; Research Center(ジッダ)のプロジェクトに参画し、放射線科の機器の入れ替えやシステム改修の実績を有する。</li> </ul>
ゼネラル・エレクトリック (GE)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1983年からサウジアラビアでビジネスを開始し、医療分野では、1万種類以上の医療技術を、サウジアラビアの90%近くの病院に供給した実績を持つ。</li> <li>● 2010年時点で、保健省(MOH)の要請で1,300人以上の技術者に対して研修を実施している。</li> </ul>
フィリップス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2008年6月に、医学訓練専門学校と人材育成に関わる協力を発表した。</li> <li>● 2012年10月には、40年以上に渡り取引実績のあったサウジアラビア医療機器販売大手のアルファイサリア・メディカル・システムズ(FMS)*との合弁会社(折半出資)を設立することに合意した。</li> </ul>

\* アルファイサリア・メディカル・システムズ(FMS)は、第3代ファイサル国王の長男で、内務大臣等を歴任したアルファイサル氏が創業したAl Faisaliah Groupの中核企業。Al Faisaliah Groupは、医療機器以外にも、食品・飲料、ITや家電、医薬品等の分野で事業展開するコングロマリット企業。

## 業界構造 - 日本企業の進出状況(現地法人)

- 「海外進出企業総覧」2018年版によると、日本企業が設立した現地法人は確認できなかった。

## 業界構造 - 流通

- 医療機器の製造者が、サウジアラビア国外にある場合には、サウジアラビア国内に代理店を指名しなければならず、代理店は、SFDA発行の法人ライセンスを取得していなければならない。
- サウジアラビアでは、公的医療機関による医療機器購入額が主であり、公共調達の入札に参加できるのは、現地の企業・機関に限られるため、代理店が重要な役割を果たす。

### 公的医療機関における医療機器の調達

#### 公的医療機関(MOH病院、その他政府機関病院)

全体市場規模(購入額)の**約75%**

- 保健省や大学、国防省、国営企業等が、それぞれの予算で医療機器を購入している
- 保健省や内務省は、購買を集中させる組織を有しているが、軍事病院は病院が個別に購買している
- 入札開始の発表はかなり時期が迫ってからとなることが多い

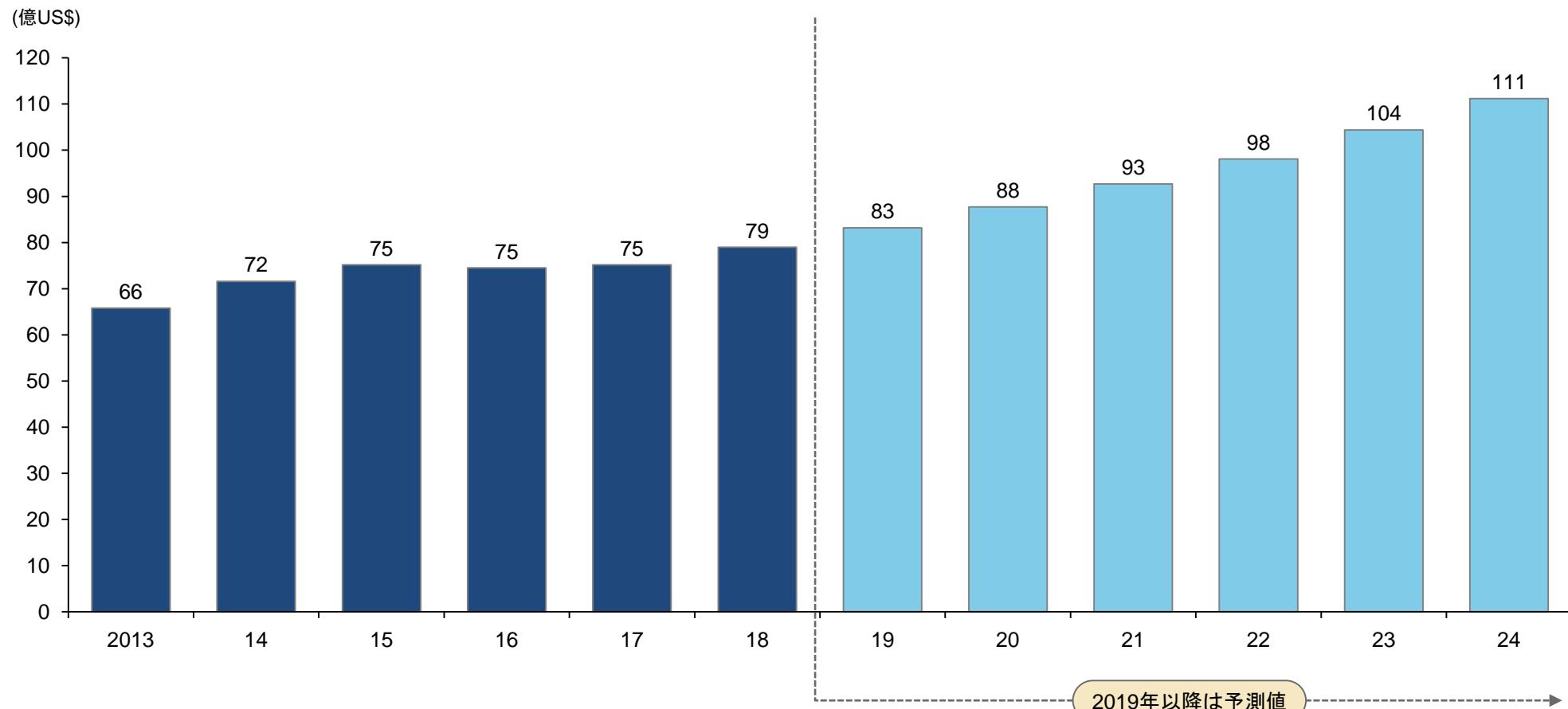
以下の観点で、現地代理店や販売事業者を厳選することが必要。

- 現地での強固なネットワークにより、早めに情報を入手できるかどうか
- 現地で強い地盤を持っているかどうか

# 市場規模

- サウジアラビアの医薬品市場は、2018年時点で79億US\$の規模である。

## 医薬品の市場規模



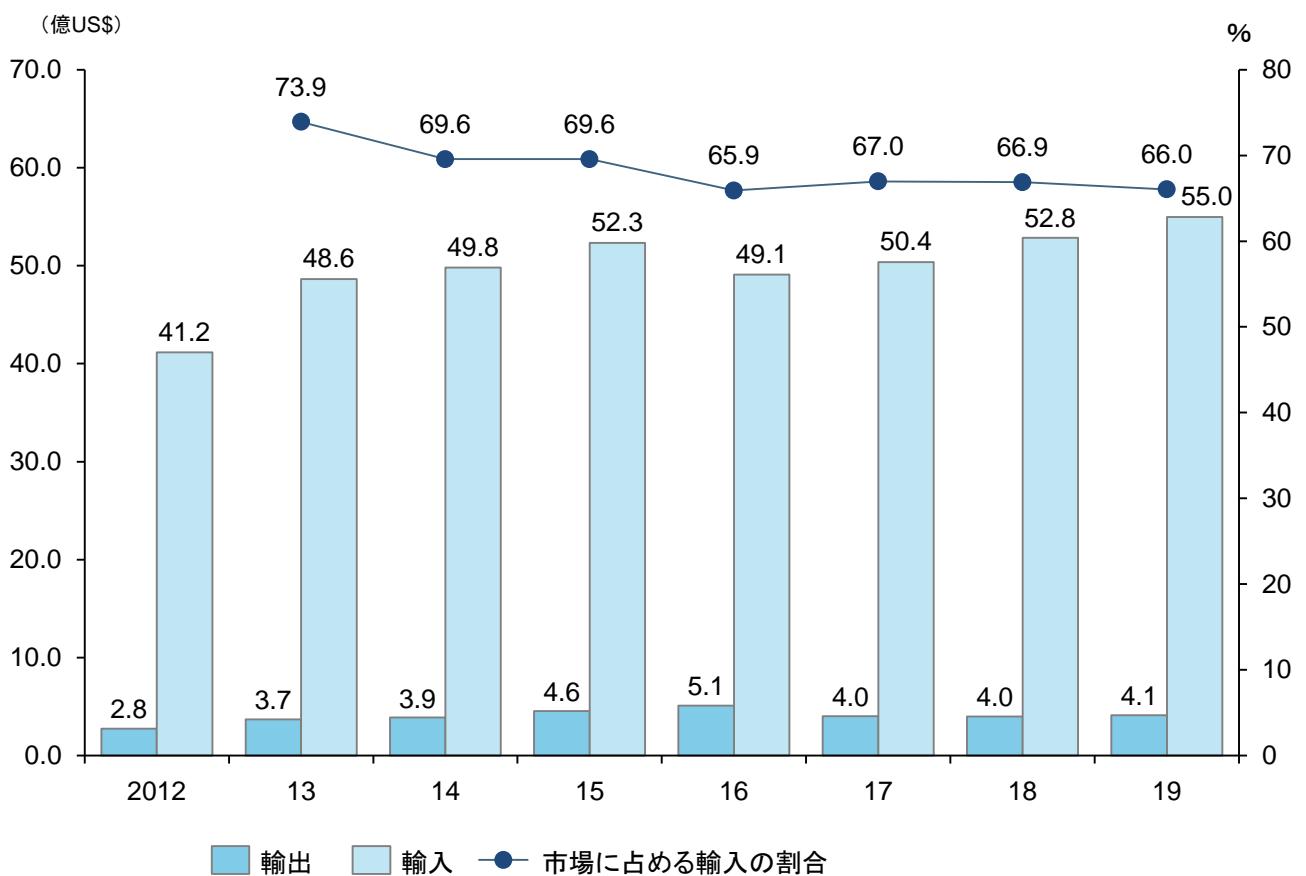
(出所) Fitch Solutions「Worldwide Pharmaceutical Market Forecasts 2019」、Fitch Solutions「Worldwide Pharmaceutical Market Factbook 2019」

## サウジアラビア／医療関連／医薬品

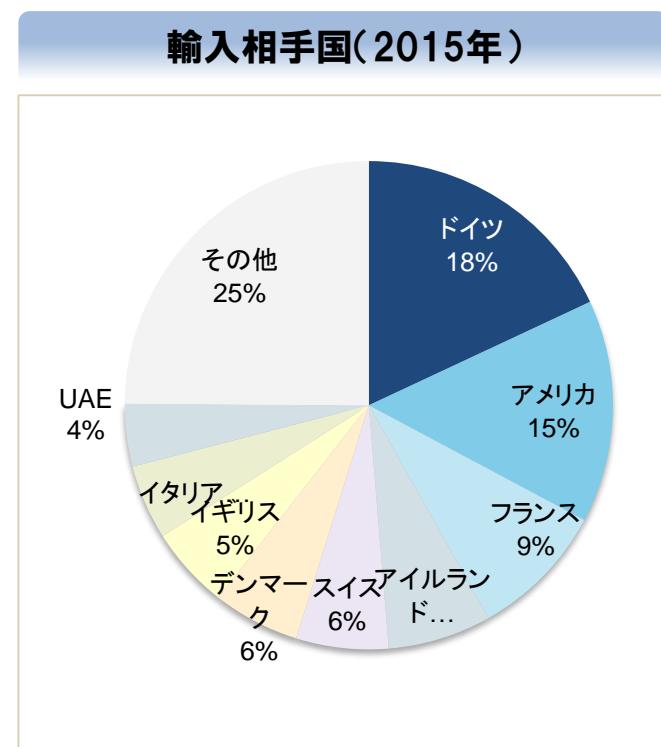
# 輸出入額

- 医薬品は、大幅な輸入超過となっている。
- 輸入相手国は、ドイツ、アメリカで3割以上となっている。

## 医薬品の輸出入額



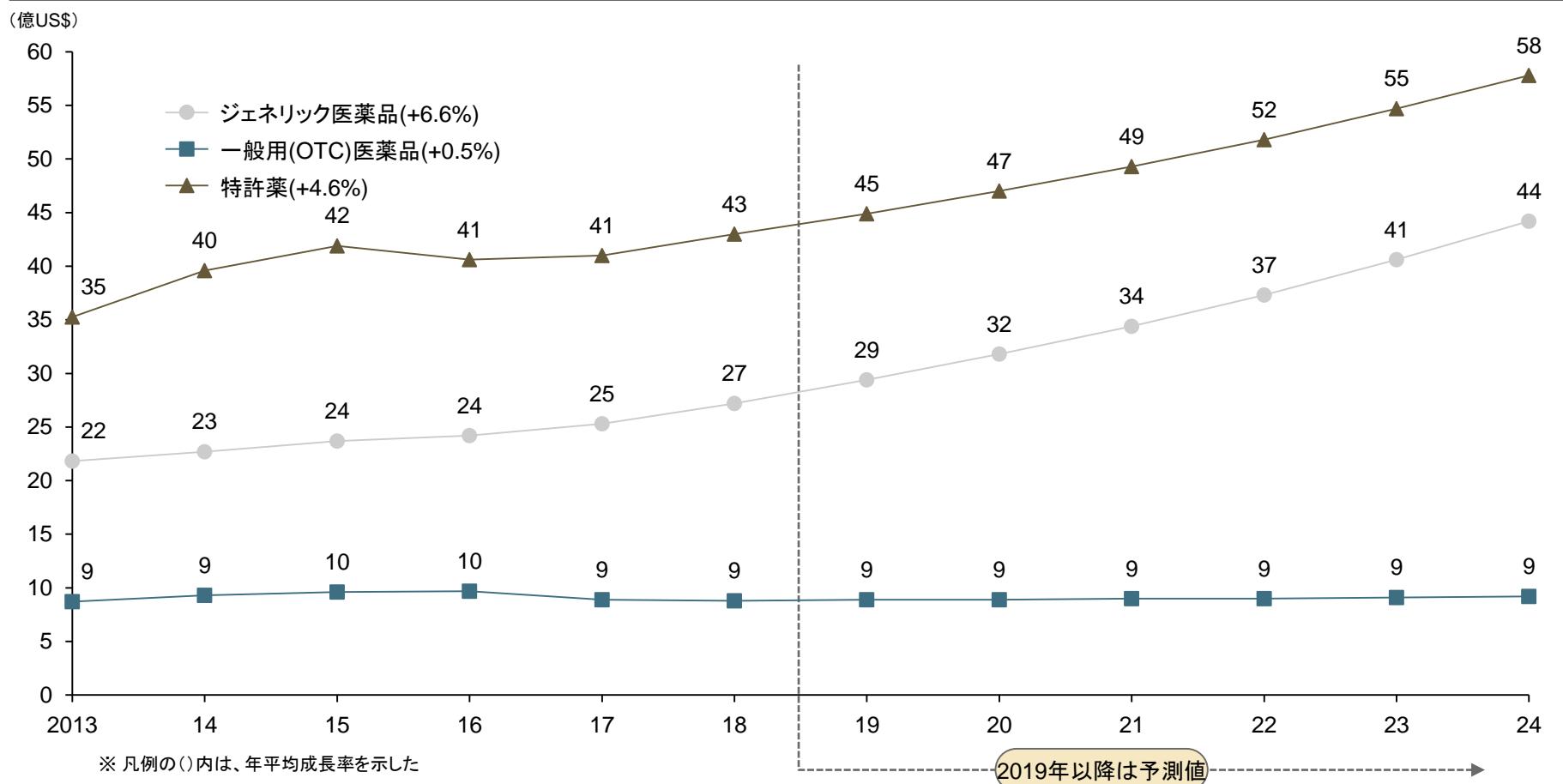
(出所) Fitch Solutions「Worldwide Pharmaceutical Market Factbook 2019」



# 今後、高い需要が見込まれる医薬品

- サウジアラビアでは、特許薬が占める割合が大きい。

## 医薬品の市場規模※



## 業界構造 -主要メーカー(日本企業以外)

- 国内製薬企業は、SPIMACO、Tabuk Pharmaceuticals、Jamjoom Pharma等を含む27社が存在する。
- これらの国内製薬企業は、医薬品の輸入または卸から成り立ち、その後、製薬まで行うようになった企業が多い。
- ほとんどの国内製薬企業は、後発医薬品あるいは、ファイザー、グラント・スミスクライン、ジョンソン・エンド・ジョンソン等の世界的な大手企業とのライセンス契約による製造が主である。
- 世界的な大手企業は、サウジアラビア当局による医薬品の価格統制や国内製薬企業の保護政策の影響もあり、国内企業との合弁会社の設立やライセンス契約により、市場参入している。

### 大手国内製薬企業の概要

順位	企業名	概要	売上 (億リヤル)	従業員数 (人)
1	Saudi Pharmaceutical Industries & Medical Appliances Corporation (SPIMACO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医薬品の製造・販売をコア事業とする製薬企業。</li> </ul>	17.1	N/A
2	Tabuk Pharmaceuticals	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コングロマリット企業体であるAstra Industrial Group傘下の製薬企業。非上場。</li> <li>● 後発医薬品とライセンス契約での製造・販売を行う。</li> </ul>	8.0	2,000
3	Jamjoom Pharma	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 100年以上の歴史を持つJamjoom Group傘下の製薬企業。2000年代後半から、医薬品の製造・販売を開始した。</li> <li>● Jamjoom Groupは、医薬品の他にも、自動車や不動産等も手掛けるコングロマリット企業体。非上場。</li> </ul>	N/A	1,000以上

## 業界構造 - 日本企業の進出状況(現地法人)

- 「海外進出企業総覧」2018年版によると、日本企業が設立した現地法人は確認できなかった。

## 業界構造 - 流通

- サウジアラビアでは、公的病院が全体の7割を占めており、公的部門の調達では、「国内競争入札」、「国際競争入札」及び「直接購買」により製品が購買される。
- 入札の際には、製品の品質を保証するためのプロセスが存在する。

### 公的病院における「国内競争入札」、「国際競争入札」の品質保証プロセス

1

事前に  
製品及び供給事業者  
を認定する。

2

事前認定された  
製品及び供給事業者をリスト化して  
入札員会に提供する。

## 市場規模

---

- 数値取得が可能な統計データは確認できなかった。

## 業界構造 - 日本企業の進出状況

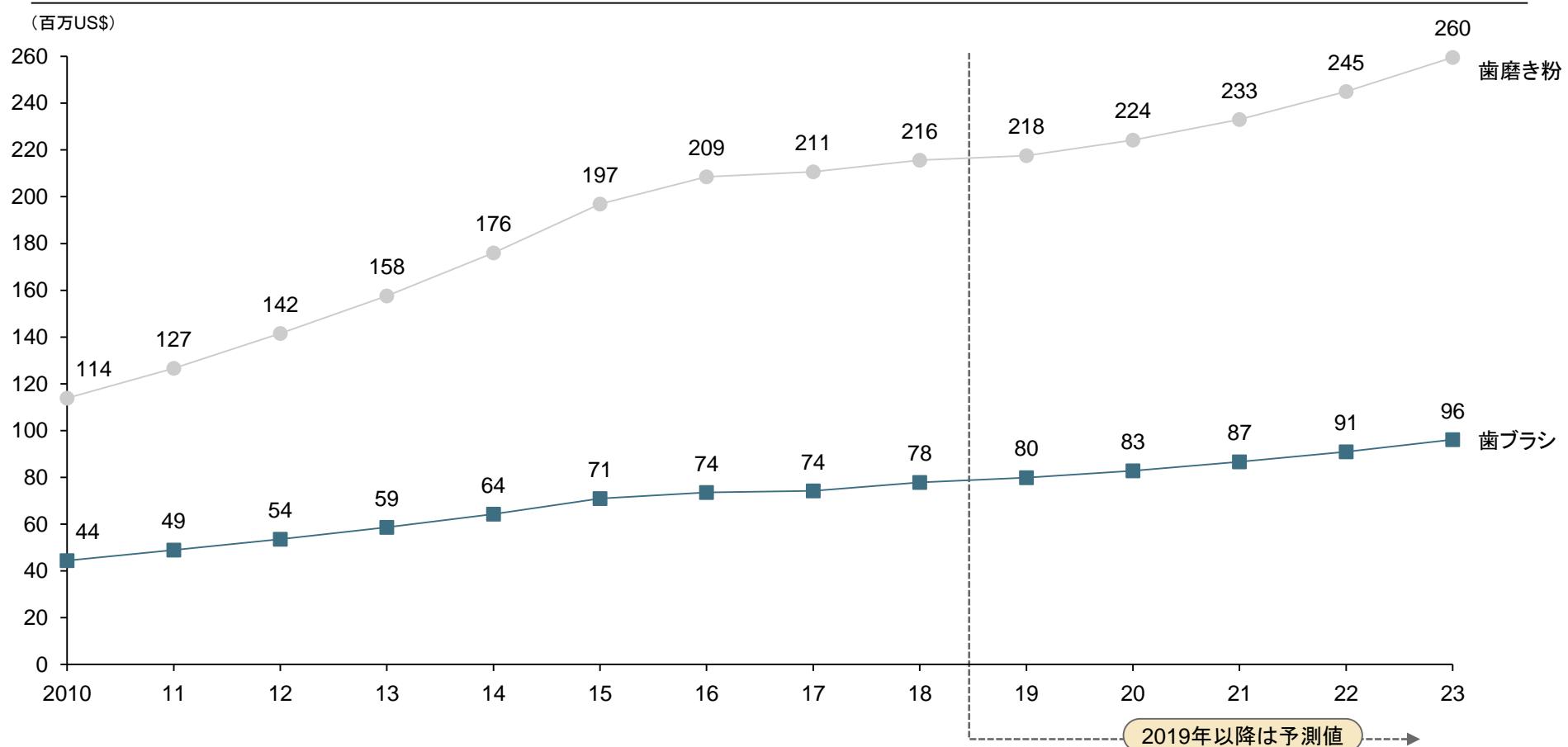
- サウジアラビアに進出している介護事業者、福祉用具事業者は、確認できなかった。

事業	NO.	現地で事業を実施している日本企業
介護	-	-
福祉用具	-	-

# サウジアラビア／医療関連／歯科 消費者用品の市場規模

- 2018年時点において、歯磨き粉の市場規模は、約2.2億US\$、歯ブラシの市場規模は、約0.8億US\$であった。

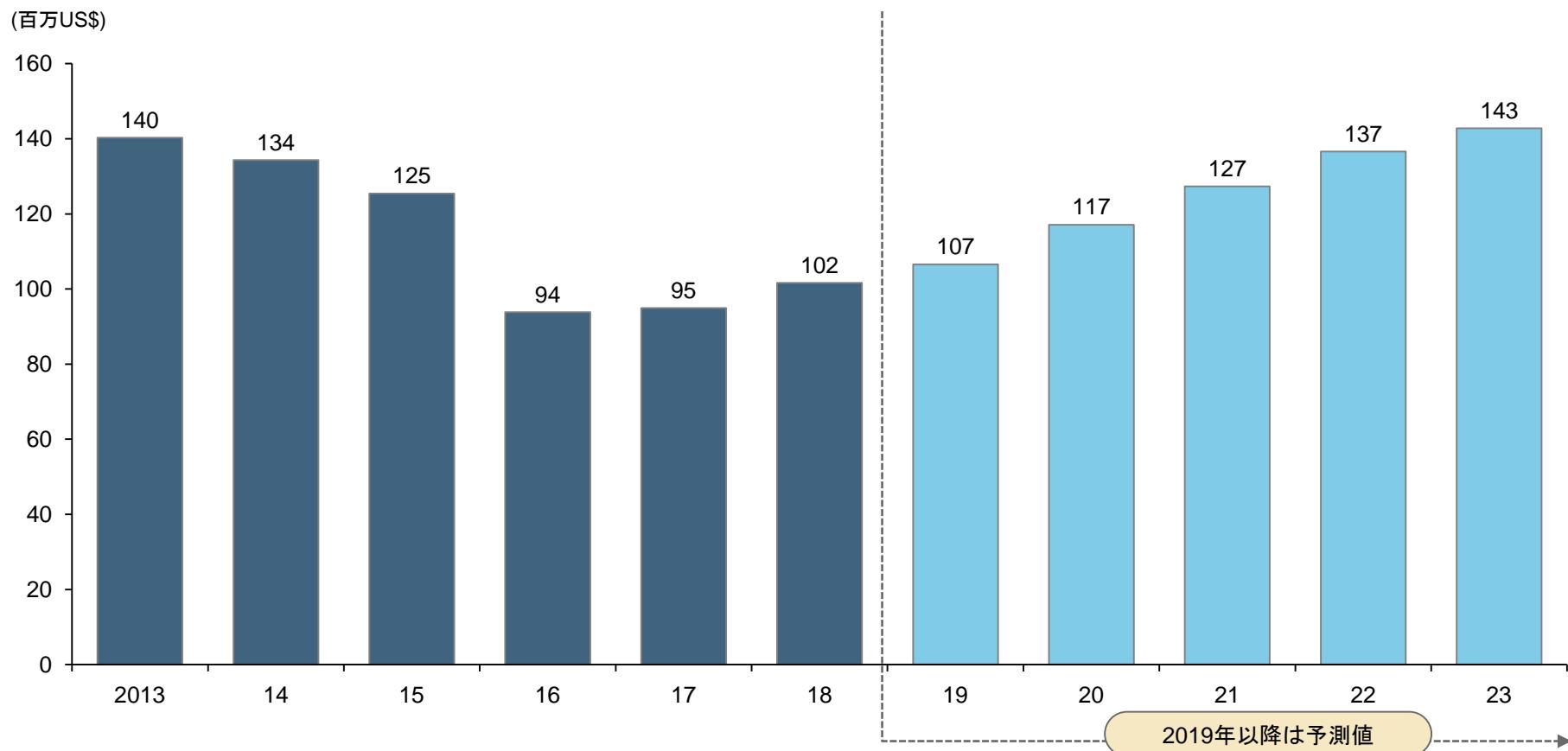
## 歯科関連用品の市場規模の推移



# 歯科機器の市場規模

- 2018年時点において、歯科機器の販売額は、約1億US\$であった。

## 歯科機器の販売額



サウジアラビア／医療関連／その他

## 医薬品・医療機器関連イベント

- 大規模なイベントとしては、「Saudi Health Exhibition and Conference」がある。

### 「**Saudi Health Exhibition and Conference**」の概要

保健省(MOH)が支援するサウジアラビア最大のヘルスケア関連イベント。

毎年5月頃開催で、2019年は9月17日～19日に開催した。

事前登録制で、医療機器等の展示とともに、カンファレンスも開催される。

2018年には、約8,000人が参加し、135社の出展があった。

2020年は、9月20-22日の開催予定。



## サウジアラビア／医療関連／その他

### 学会および業界団体

- サウジアラビアでは、各大学(医学部)の管理下に、学術協会と呼ばれる組織が設置されている。
- 例として、サウジアラビアでトップレベルとされるキング・サウード大学(King Saud University)とキング・アブドゥルアズィーズ大学(King Abdulaziz University)の医学部の管理下にある学術協会を挙げる。
- その他、医療に関する団体として、「サウジアラビア赤新月社」や「サウジアラビア臓器移植センター」がある。

#### 大学の管理下にある学術協会の例

大学	学術協会名(創設年)
キング・サウード大学	サウジアラビア小児医療協会(1980年)
	サウジアラビア心臓協会(1984年)
	サウジアラビア眼科医療協会(1985年)
	サウジアラビア消化器協会(1987年)
	サウジアラビア耳鼻咽喉協会(1987年)
	サウジアラビア麻酔協会(1988年)
	サウジアラビア腎臓病医療及び腎臓移植協会(2001年)
	サウジアラビア皮膚病及び皮膚病外科協会(2002年)
	サウジアラビア胸疾患及び胸部外科協会(2003年)
	サウジアラビア整形外科協会(2005年)
キング・アブドゥルアズィーズ大学	サウジアラビア総合外科協会(2000年)
	サウジアラビア医学的検査協会(2000年)
	サウジアラビア美容外科協会(2001年)

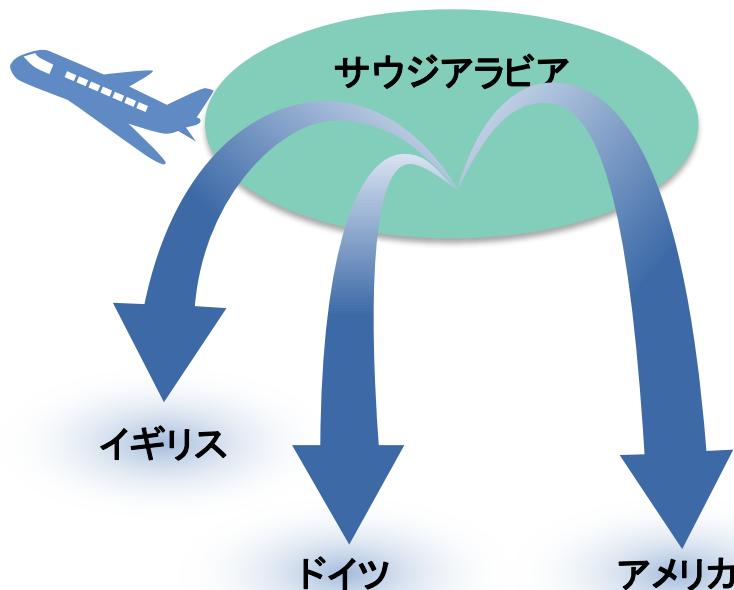
#### 医療関連団体の概要

名 称	概 要
サウジアラビア赤新月社 Saudi arabian red crescent Authority	サウジアラビアでは、1963年に設立され、緊急医療を担う医療機関として位置付けられている。イスラム教の国であるため、「赤十字」ではなく「赤新月」の標章を用いている。
サウジアラビア 臓器移植センター (Saudi center for organ transplantation)	サウジアラビアでの臓器提供・移植の手続きを担う組織(公的資金により運営されている)。

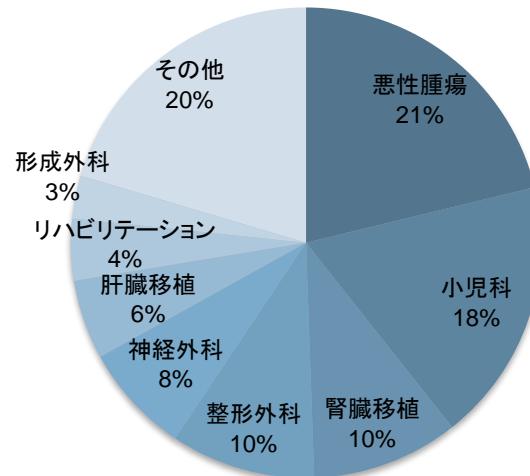
## 外国人患者受入／医療渡航

- サウジアラビアでは、国内で提供できない2次、3次医療について、海外での治療を認めている。
- 海外での治療を受けるためには、受診している地域の医療機関から保健省(MOH)に照会を行い、承認された場合には、治療費、渡航費、食事手当等が国から全額支給され、海外での受診が可能であった。
- 2016年の海外での治療者は、1,721人となっている。

国内での臓器移植、心臓血管外科の拡充により、海外での治療が必要な症例数は減っており、実際の医療渡航者数は減少傾向にある



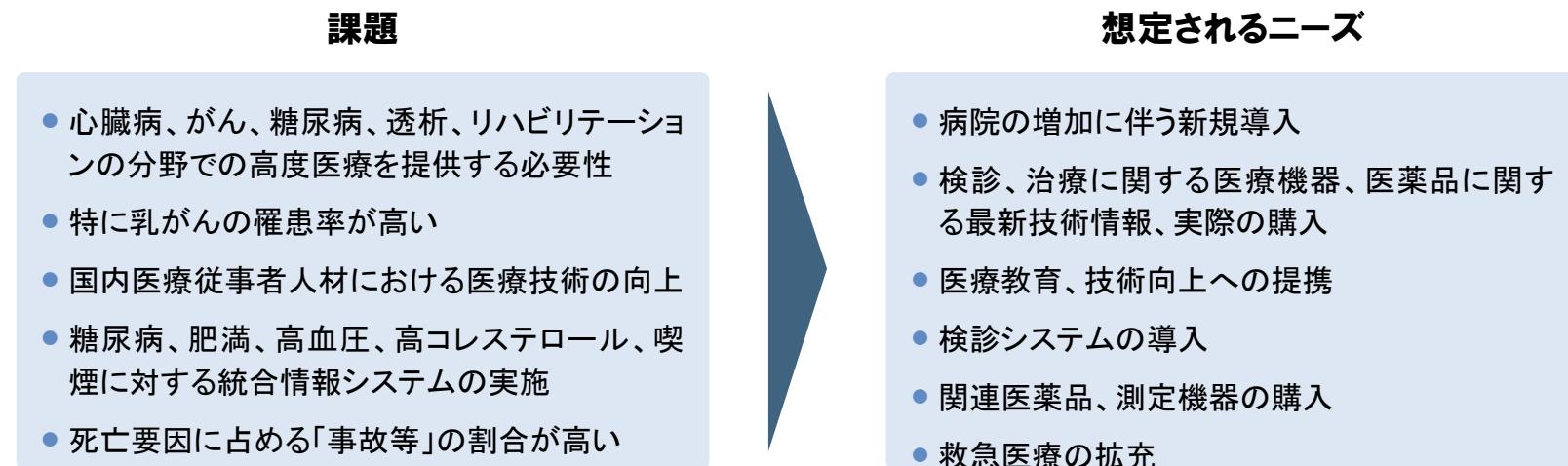
海外への医療渡航者の内訳(2016年時点)



## 日本の医療に対する印象、ニーズ

- 戦略計画(Strategic Plan 1431~1440:2010年~2019年)によると、がんセンター等、専門医療センターの増設や、高度な心臓手術、放射線療法、臓器/角膜移植などの高度な医療を担うメディカル・シティの増設が計画されており、今後も、こうした高度な医療技術のニーズがあるとされる。
- 予防医療の分野では、糖尿病、肥満、高血圧、高コレステロール、喫煙に関して、統合情報システムが開始されており、今後実際の予防活動を導入していく中で、検診、関連医薬品、測定機器などの導入が進んでいくものと考えられる。
- さらに、死亡要因に占める「事故等」の割合が高いことから、救急医療の拡充へのニーズも高いと考えられる。

### サウジアラビアの医療分野における課題と想定されるニーズ



## サウジアラビア／医療関連／その他 他国(韓国)の参入状況

- 韓国政府と、サウジアラビア政府は、2013年に保健医療6分野で包括的に協力することに合意し、病院建設から運営、医療関係者の教育・研修、研究開発まで医療のすべて医療システムを、韓国からサウジアラビアにそのまま移植する「双子プロジェクト(Medical System Twinning Project)」が開始された。
  - 2013年9月には、サムスンソウル病院が、キング・ファハド・メディカル・シティと、10年間に渡り、技術移転を含む研究協力事業を推進する内容の覚書が締結された。
- その後、2016年2月には、リヤドにて「Korea-Saudi Health Care Cooperation Road Show」が開催され、両国保健省の幹部らも出席している。
- 2016年5月には、黄教安国務総理(首相)が、サウジアラビアを訪問し、交通・投資・エネルギー分野での覚書(MOU)を締結した他、政務協議と治安訓練分野でも覚書(MOU)を締結し、保健・医療分野での協力についても、協議を行った。
- これらの一連の協力関係構築の背景には、韓国の医療技術に対する高い評価とともに、1970年代の中東地域での建設ブームで韓国が積み重ねてきた信頼があるとされている。
  - 1990年代には、現代建設を含めた韓国企業が、サウジアラビアに病院を建設した実績もあり、それらの建物に韓国的情報技術が導入されたという見方もある。
- 韓国政府は、2013年11月の第141次対外経済長官会議において「韓国医療海外進出拡大方策」を議決した。さらに、同方策に基づいて、中国や東南アジア、モンゴル、中東、中央アジア、ロシアへつながる「メディカル・コリア・ベルト」の構築を目的とした公共機関、医療界、連関産業体、民間専門家が参加する「国際医療事業官民合同タスクフォース(FT)」を設置した。
  - 2009年から2015年上半年までに約100万人の外国人患者が韓国で診療を受け、2014年12月までに125カ所の医療機関がアメリカや中国等19カ国に進出したとされる。
  - 2015年12月には、外国人患者の誘致、病院の海外進出などを支援する「国際医療事業支援法」を成立させた。
- さらに、2016年11月に、医療分野の海外進出と外国人患者誘致の支援に関する5カ年(2017~21年)の総合計画を発表し、2021年までに韓国の211の医療機関の海外進出、外国人患者80万人の誘致という目標が掲げられた。
  - 重点戦略は、韓国医療のパッケージ進出の拡散、医療・観光・ITの融合を通じた外国人患者誘致の活性化、地域に特化した戦略、グローバルな力の強化、韓国医療ブランドの世界でのステータス向上の5つであり、地域に特化した戦略の対象地域には、中国、ロシアに加えて中東が含まれている。

## **政策動向**

---

## 医療関連政策の将来動向(1/2)

- 2016年4月に、2030年までの経済改革計画「Saudi Vision2030」が策定され、「平均寿命を74歳から80歳に延ばす」目標が掲げられている。
- この目標を達成するために、政府は「医療部門の企業化」(民営化)を始め、民間保険の整備、診療予約の待ち時間軽減といった課題に対応していくとしている。

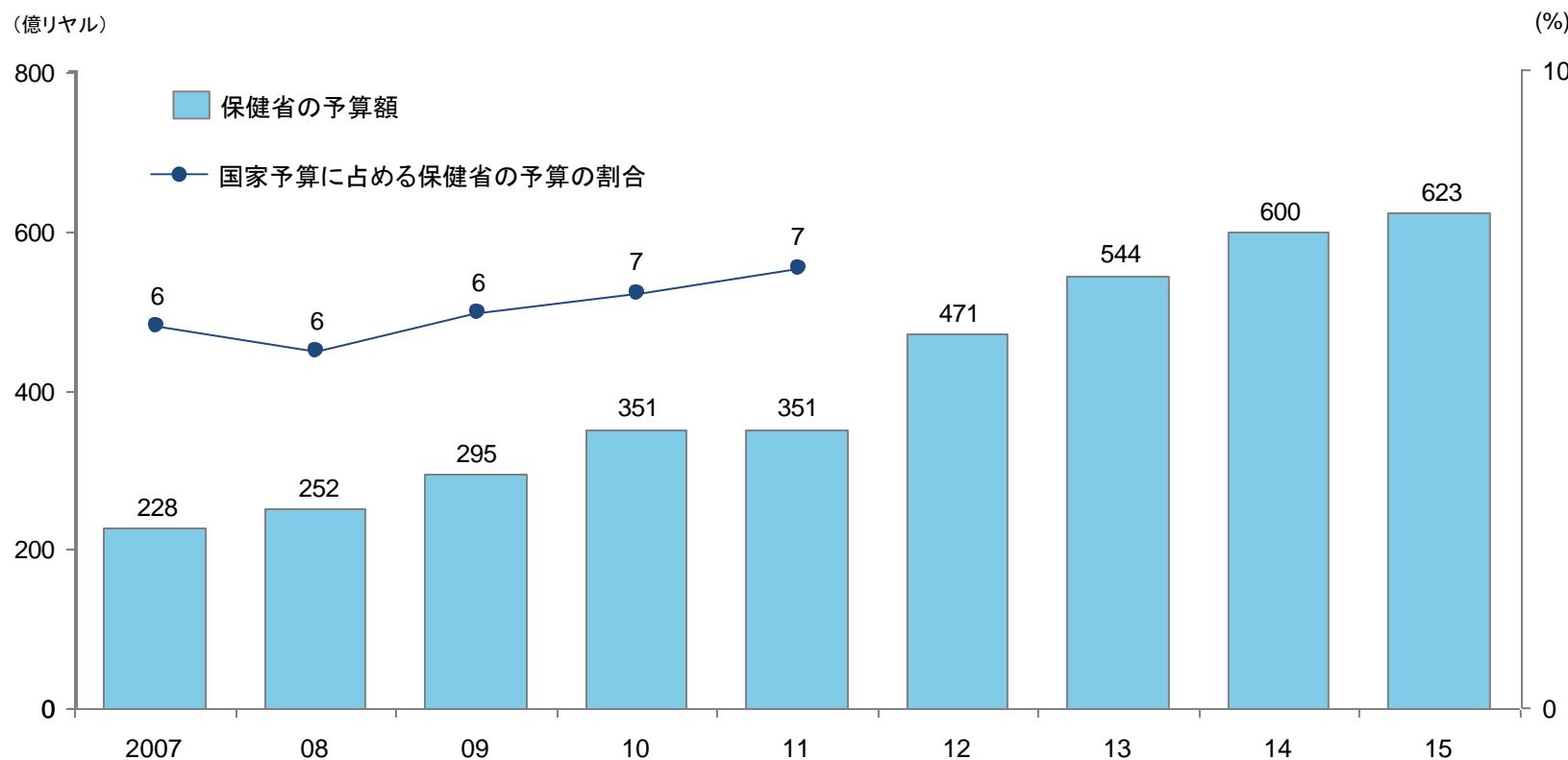
### 「**Saudi\_Visoion2030**」に示された医療関連政策

- 医療部門ではサービス提供者同士の競争とサービスの透明性向上を奨励していきます。これによって医療サービスの受入可能数、効率、生産性の向上、および治療選択肢の増加が期待できます。この達成目標に向けて検討しているのが、**医療部門の企業化**です。「医療サービスを提供する」という役割を国有企业のネットワークに移することで、国有企业同士および国有企业と民間部門との競争機会を創出します。こうすることで国民に最高品質の医療サービスの提供が可能になるとともに、政府側も医療制度に関わる法規制の整備や監督といった役割に専念できます。また、企業化によってそれぞれ得意とする医療分野に特化したサービス展開を行い、国民自らが治療を受けたい企業を選べるようなシステムづくりを進めます。
- 公的部門は予防措置の促進と伝染病の防止に努めるとともに、自分の健康状態を知る第一歩としてのプライマリーケアの活用を奨励しています。この取り組みによって医療制度と公的介護の連携および統合が進むとともに、家庭内で在宅医療が必要になった場合のサポートも可能となります。公的部門がこれらの医療制度の計画、調整、監督を担当し、制度の品質向上、および長期目線で民営化に向けた準備を進めるために、企業を通じた医療制度の普及を行う予定です。また医療サービスを受けるための民間医療保険の整備、専門家やコンサルタントとの診療予約にかかる待ち時間の軽減などにも順次対処していきます。心臓病、糖尿病、がんなど、国家の脅威となりうる慢性病については、医師に向けてより良いトレーニング機会を提供し、実際の治療の質向上に努める所存です。

## 医療関連政策の将来動向(2/2)

- サウジアラビアの医療分野における連結予算の推移・内訳を以下に示す。

### 国家予算と保健省の予算の推移



- 保健省の予算額は2007年から増加傾向にあり、2015年の保健省の予算額は623億リヤルに達した。

# 医療産業振興政策の将来動向(1/3)

- 「Saudi Vision2030」の実現をサポートするプログラムの1つとして「National Transformation Program2020(NTP2020)」が2016年6月に閣僚会議で承認された。
- NTP2020では、関係政府機関ごとに2020年をターゲットとした具体的な数値目標が定められている。
- 保健省(MOH)の目標は、以下の通り。

## 「NTP2020」における保健省の目標(1/2)

戦略目標	重要目標達成指標(KPI)	現状	2020年目標
民間セクターの支出割合の拡大	● 医療支出合計に占める民間セクターの割合	25%	35%
利用可能資源の効率的活用	● 新規入院患者あたりの運営費	33,000 リヤル	33,000 リヤル
ITの使用等による効率化・効果向上	● 国民の医療データ登録率	0%	70%
現地および海外での研修増加	● 研修プログラムに参加したサウジアラビア居住医師数	2,200人	4,000人
看護および医療支援人材の魅力向上	● 10万人あたりの有看護師資格サウジアラビア人数	70.2人	150人
入院前および主要病院における医療提供の向上	● 4時間以内に手当が受けられる救急患者の割合	40%	75%
プライマリケアの開発によるサービス提供の向上	● 一人あたりの年間プライマリヘルスケアの受診回数	2回	4回
医療施設のインフラ、施設管理、および安全基準の向上	● 認可医療機関数(MOH管轄および民間病院)	40%	100%
許容可能な待ち時間の達成	● 特定医療専門分野における4週間以内(全専門における主要病院平均)の予約割合	40%未満	70%
国際基準で公衆衛生上懸念される事項への緊急対応	● WHOの緊急時対応評価スコア(リヤド、ジッダ、東部州の平均スコア)	調査中	スコア 4~5

## 医療産業振興政策の将来動向(2/3)

- 保健省(MOH)の目標は、以下の通り。(続き)
- 「Saudi Vision2030」に基づき、医療部門の民営化をはじめとして、ITの活用・デジタル化等による医療分野の効率化や、予防医療の普及、医療サービスの底上げ等が盛り込まれている。

### 「NTP2020」における保健省の目標(2/2)

戦略目標	重要目標達成指標(KPI)	現状	2020年目標
追加歳入資源	● 政府の保健資源を活用した民間セクターからの歳入合計	3億 リヤル	40億 リヤル
肥満および喫煙に関する公衆衛生サービスの向上	● 喫煙率 ● 肥満率	調査中 調査中	2%減 1%減
病院外で患者に提供される医療サービスの質の向上	● 集中治療および長期入院の後4週間以内に医療を受けた患者の割合	25%	50%
質と安全の向上	● 患者の安全に関して、を満たす病院の割合	10%	50%

医療部門の民営化、医療分野の効率化、医療サービスの向上を目指す

## 医療産業振興政策の将来動向(3/3)

- 保健省(MOH)は、「戦略計画(Strategic Plan 1431-1440)(2010年~2019年)を策定しており、取り組むべき課題について明示している。

### 戦略計画( Strategic Plan 1431-1440 )の概要

- 先進国と同水準に保健医療システムを発展させ、保健医療サービスの品質向上を図ることを目的としている。

スローガン	<ul style="list-style-type: none"><li>● 患者第一主義(Patient First)」</li></ul>
5つの戦略目標	<ul style="list-style-type: none"><li>● 統合、集中された保健医療アプローチの導入</li><li>● 組織的な業務文化の確立、品質水準および測定、モニタリング業務の質的向上</li><li>● 高い技術を持った人材の誘致と人材育成</li><li>● 医療情報サービスの向上</li><li>● 最適な資源活用および医療および研究における経済的な適用</li></ul>
主要プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"><li>● プライマリーヘルスケアセンタープロジェクト 設置数は、計画策定期点では、2013 年に2,109 施設、最終年には2,750 施設まで拡大する計画</li><li>● 病院 計画策定期点では、2010 年の31,400 床から、最終年には70,693 床と倍増させる計画</li><li>● 専門医療センター 計画最終年には15 か所にする計画。また、がんセンターは、計画最終年には8 か所にし、既存病院での増設などを含めて12 か所でがんの専門治療が受けられるようにする計画</li><li>● メディカル・シティ 合計で5 か所のメディカル・シティを完成させ、メディカル・シティ合計で6,200床を確保する計画。メディカル・シティには、がんセンターのほか、希少疾患、神経疾患、高度な心臓手術、放射線療法、臓器/角膜移植など高度医療を行うことを期待</li></ul>

# 日本との関わり

---

## サウジアラビア／日本との関わり

### 外交関係

- 2015年11月のG20 アンタルヤ・サミットの際、安倍総理大臣は、サルマン国王と日・サウジアラビア首脳会談を行った。
- 2017年3月に、サルマン国王がサウジアラビア国王としては46年ぶりに来日し、安倍総理大臣は、サルマン国王と日・サウジアラビア首脳会談を行った。

### 主な往訪者(大臣等)

サウジアラビアからの往訪者		日本からの往訪者
2010	ゴサイビ経済企画相、アンガリ高等教育相、 サウジアラビア・日本友好議員連盟、ホサイン水電力相、アッサーフ財務相	
2011	マダニ外務担当相	皇太子殿下、大畠経済産業大臣、枝野経済産業大臣
2012	ジャーセル経済企画相、タウフィーク商工相、 ヤマニ・アブドゥラー国王原子力・再生可能エネルギー都市(KACARE)総裁、 ハーリド外務副相、ナイミ石油鉱物相、アッサーフ財務相、マダニ外務担当相	皇太子殿下、玄葉外務大臣
2013	ハーリド国防副相	安倍総理大臣、茂木経済産業大臣
2014	サルマン皇太子(2018年現在、サルマン国王)	茂木経済産業大臣
2015	ファキーフ経済企画相、オスマン総合投資院(SAGIA)	皇太子殿下
2016	シェイク諮問評議会議長、ムハンマド副皇太子兼国防大臣、ジュベイル外相	世耕経済産業大臣
2017	サルマン国王、アッサーフ国務相	河野外務大臣
2018	ファーレフ・エネルギー産業鉱物資源相、スルタン・ビン・サルマン国家遺産観光庁長官	世耕経済産業大臣

サウジアラビア／日本との関わり

## 外交関係／日・サウジ・ビジョン2030

- 2017年3月、サルマン国王と安倍総理大臣の首脳会談において「日・サウジ・ビジョン2030」を策定。

### 「日・サウジ・ビジョン2030」の骨子

- 新しい日サ協力の羅針盤として、脱石油依存と雇用創出のためサウジが追求する「サウジ・ビジョン2030」と、GDP600兆円の達成に向けて日本が追求する「日本の成長戦略」のシナジーを目指す。
- 日サの41省庁・機関が参加し、具体的連携の重点分野として9分野を設定（うち1つが医療・保健）。
- 重点9分野で計31件の先行プロジェクトを選定し、実施。

### 医療・保健分野の先行プロジェクト(例)

#### 医療・保健分野での協力【覚書】

- 医療研修及び研究分野の協力、医療分野における専門家の交流を通じた協力、並びに医療・保健分野における経験の交換を通じた協力。

（日本側）厚生労働省（サウジアラビア側）保健省

## サウジアラビア／日本との関わり

# 経済産業省の医療国際化関連事業(1/3)

- これまでに6テーマの医療国際化事業を実施している。

## 医療国際化事業

NO.	実施年	テーマ	代表団体	実施内容	実施結果
1	2012	中東放射線医療センター構想	三菱重工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地医療関係者ヒアリングを通じた事業環境調査</li> <li>「ネットワーク型放射線医療ソリューション」や日本の高度医療に関する現地セミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年12月に京都大学平岡先生、公益財団法人医用原子力技術振興財団辻井理事とともに、King AbdulAziz University Hospital とKing Saud University King Khalid Hospitalにて現地セミナーを開催し、合計で30名を集客。日本型最先端放射線医療システムに対する高いニーズが確認された。</li> <li>サウジアラビアの医療事情を調査した結果、今後10～20年以内にがん患者の大幅な増加が予測されるため、ポテンシャルのあるマーケットであることが明らかとなった。</li> </ul>
2	2012	サウジアラビア王国における先進循環器医療製品の普及および医療教育提供プロジェクト	大阪大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウジアラビア王国におけるハイブリッドシステムに関するニーズの確認</li> <li>サウジアラビア王国への訪問医療スタッフの受入準備</li> <li>ハイブリッドORシステム用の血管造影システムの貸</li> <li>予後モニタリング技術の提供等に向けた準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Specialized Medical Center Hospitalや販売代理店を訪問し、ハイブリッドシステムに関する一定の需要を確認した。</li> <li>医師・コメディカルの受け入れ準備を行い、来年度以降の受入体制が整った。</li> <li>予後モニタリング技術等、必要となる周辺システムの提供に向けた準備を行った。</li> </ul>
3	2012	サウジアラビア王国 リヤド市における救急医療実態調査	アイテック	<ul style="list-style-type: none"> <li>3回の現地調査による、サウジアラビア王国およびリヤド市の医療政策動向、医療供給体制、医療需要状況の把握</li> <li>移動無線関連の技術面での検証</li> <li>リヤド市新救急医療体制の在り方の検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本型救急病院建設のニーズを把握できたとともに、救急隊のシステム化や救急救命士の育成の必要性も確認できた。</li> <li>今後は、赤新月社およびNational Guard Hospitalに対し、e-MATCHおよびCEMSの先行導入に向けて、継続的にアプローチする。</li> <li>また、赤新月社から打診のあった、日本における赤新月社の救急救命士の研修事業に対応し、関係強化を図る。</li> </ul>

## サウジアラビア／日本との関わり

# 経済産業省の医療国際化関連事業(2/3)

### 医療国際化事業(つづき)

NO.	実施年	テーマ	代表団体	実施内容	実施結果
4	2013 2014	サウジアラビア 透析センター 設立プロジェクト	松圓会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サウジアラビアでの透析医療施設開設に向けた具体的準備</li> <li>● サウジアラビアでの日本型透析普及啓発活動</li> <li>● フィリピンでのサウジアラビア現地雇用看護師等の育成準備</li> <li>● 中東展開を想定した中東対応日本型透析アンテナショップ構想の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保健省要人(透析施設ガイドラインの監修責任者他)と当該事業パートナー候補を日本に招聘し、実際の日本型透析システムの視察および説明・ディスカッションを実施し、事業遂行に必要な交渉が進んだ</li> <li>● サウジアラビアのダンマンにて、100名ほどの透析医療関係者に対して日本型透析セミナー(日本型透析概要・臨床工学技士の役割等)を実施</li> <li>● MOUを締結している現地教育施設と協働で、JMDN (Japan-Method Dialysis Nursing)トレーニングマニュアルの第一版を完成させた</li> <li>● 当該教育施設の本プロジェクト担当者を日本に招聘し、実際の日本型透析システムを見せながら日本人看護師から研修を行った。またトレーニングプログラムの第三者認証の必要性について検討し、ビジネスモデルの具体化について現地パートナーと協議を開始した</li> </ul>
5	2014	中東地域日本式 心臓カテーテル 治療の 海外展開事業化 実証事業	テルモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市場調査(サウジアラビア、UAE、クウェート)</li> <li>● 現地プログラム化した現地研修(UAE、クウェート)</li> <li>● 受入研修の基本プログラムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UAEおよびクウェートでの現地プログラム化した研修では、日本式医療の高い有効性が立証</li> <li>● UAEおよびクウェートにて現地病院とMOUを締結したことにより、中東への日本式医療普及の足がかりとなる関係を築いた</li> </ul>
6	2017	サウジアラビア女 性健康増進事業 整備促進プロジェ クト	メディヴァ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本の運営方法と医療機器を取り入れた女性向けの健診センターを設立し、運営を支援していくことを最終目的として、医療需給調査、規制・政治環境調査、競合調査、先行事例研究等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健診対象人口は最も少ない試算(リヤド都市部限定、対象40~69歳)で34万人。年間受診者数は、リヤード州全域の健診対象人口の0.9%から2.1%程度</li> <li>● 2018年1月の日サ・ビジネスフォーラムにおいて、サウジアラビアスポーツ庁、富士フィルム、メディヴァの3者間で女性の健康増進、疾患予防、健康教育の3分野で協力していくことの覚書に調印</li> </ul>

## サウジアラビア／日本との関わり

# 経済産業省の医療国際化関連事業(3/3)

### 官民ミッション

NO.	実施年	内容	テーマ	セミナーの主な内容等	特記事項
1	2017	セミナー、 医療機関訪問	日本の医療技術・ サービス	①内視鏡、②循環器、③糖尿病、④救急・災害の4分野に分かれ、日本人医師と サウジアラビアの医師によるプレゼンテーションおよび会場全体でのQ&Aセッションを実施	サウジアラビアのMOH· Alaiban次官が参加

サウジアラビア／日本との関わり

## 外務省の医療国際化関連事業

---

- 外務省による医療関連事業は確認できなかった。

## 厚生労働省とサウジアラビア保健省の協力覚書(MOC)締結状況

- 2017年3月に、厚生労働省とサウジアラビア保健省及び労働・社会発展省との協力に関するMOCを締結した。

### 締結状況

- 2017年3月のサルマン国王の来日の際に、「日・サウジ・ビジョン2030」が公表され、その中の31件の先行プロジェクトの1つとして、厚生労働省とサウジアラビア保健省及び労働・社会発展省との協力に関する覚書が締結された。



## 厚生労働省が関係するその他の協力覚書(MOC)締結状況

- 厚生労働省が関係するその他のMOCは確認できなかった。

## 厚生労働省の主な医療国際化関連事業

---

- 厚生労働省による医療関連事業は確認できなかった。

サウジアラビア／日本との関わり

## 文部科学省の主な医療国際化関連事業

---

- 文部科学省による医療関連事業は確認できなかった。

## JICAの主な医療国際化関連事業

---

- JICAの医療関連事業は実施されていない。

## AMEDの主な関連事業

---

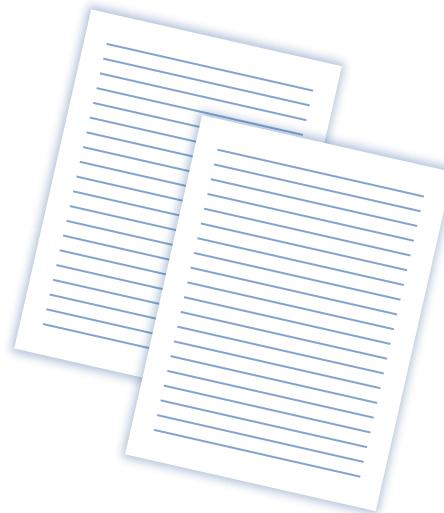
- AMEDによる関連事業は確認できなかった。

## JETROの主な医療国際化関連事業

- 各種レポートの公開を行っている。

### 各種レポートの公開

- 中東・北アフリカにおける医療機器市場に関する調査(2011年)
- 主要国・地域の健康長寿関連市場の動向調査(2016年)
- 中東医療機器市場ディストリビューター調査(2017年)
- サウジアラビアの有望産業(医薬品産業)についての投資環境・市場調査(2019年)



# 出所一覧(1/2)

## データベース

- 國際通貨基金(IMF)「World Economic Outlook Database」
- 國際連合「UN Comtrade Database」から、医療機器に該当するHSコード(6桁)45品目の輸出入データを抽出。
- 國際連合「UN Comtrade Database」から、医薬品に該当するHSコード(4桁)7品目の輸出入データを抽出。
- 國際連合「World Population Prospects」
- 國際連合「World Urbanization Prospects」
- 世界銀行「World Development Indicators」
- 世界保健機関(WHO)「Global Health Expenditure Database」
- 世界保健機関「Global Health Observatory (GHO) data」
- Institute of Health Metrics and Evaluation(IHME)「Global Burden of Disease Study 2015」
- Institute of Health Metrics and Evaluation「Global Burden of Disease Study」(2017)
- ヨーロモニター

## ホームページ

- Helen Ziegler & Associates HP
- JETRO HP
- JICA HP
- Johns Hopkins Medicine HP
- JONESDAY HP
- Marcopolis HP
- Saudi Health Exhibition and Conference HP
- Saudi Vision 2030 HP
- サウジアラビア協同保険評議会HP

- サウジアラビア税関HP
- サウジアラビア中央統計局HP
- サウジアラビア保健省HP
- サムスンソウル病院HP
- みずほ銀行HP
- 外務省HP
- 経済産業省HP
- 厚生労働省HP

## 文献等

- Economic Times(2015年10月12日)
- BMI Research 「Saudi Arabia Pharmaceuticals & Healthcare Report Q1 2018」
- BMI Research 「Saudi Araia Medical Devices Report Q1 2018」
- BMI Research 「World Medical Markets Factbook」(2019)
- BMI Research 「Worldwide Medical Market Forecasts」(2019)
- BMI Research 「Worldwide Pharmaceutical Market Factbook」(2018)
- BMI Research 「Worldwide Pharmaceutical Market Forecasts」(2018)
- Data Bridge Market Research 「Global Elderly Care Market - Industry Trends and Forecast to 2025」(2018)
- Espicom 「World Medical Markets Fact Book 2014」

## 出所一覧(2/2)

- JETRO「サウジアラビアの医療機器市場」(2011)
- JETRO「世界の医療機器市場」(2013)
- JETRO資料「サウダイゼーション・ガイドブック(第5版)」
- JRIレビュー 「「総保健医療支出」におけるLong-term care推計の現状と課題 (2015)」
- Roland Berger「Saudi Arabian pharmaceuticals」(2014)
- アイテックコンソーシアム「サウジアラビア王国 リヤド市における救急医療実態調査」(2013)
- サウジアラビア医療専門委員会「Saudi Medical Licensing Examination」(2015)
- サウジアラビア王国大使館「サウジアラビアの大学を知ろう 大学ガイドブック」(2010)
- サウジアラビア食品医薬品庁「Regulations and Requirements for Conducting Clinical Trials on Drugs(Version 1.1)」(2015)
- サウジアラビア食品医薬品庁「Regulatory Framework for Drug Approvals Ver.5」
- サウジアラビア通貨庁「The Saudi Insurance Market Report 2015」
- サウジアラビア保健省「Guideline of Professional Classification and Registration For health practitioners」
- サウジアラビア保健省「Statistical Book for the Year 1437(2016)」
- サウジアラビア保健省「Statistical Book for the Year 1437(2017)」
- サウジアラビア保健省「Statistical Book for the Year 1437(2016)、1436(2015)、1434(2013)、1432(2011)、1431(2010)、1430(2009)」
- ソウル聯合ニュース(2016年11月29日版)
- テルモコンソーシアム「中東地域日本式心臓カテーテル治療の海外展開事業化実証事業」(2015)
- ベーカー＆マッケンジー法律事務所「中東・アフリカニュースレターvol.4」
- みずほ情報総研「海外における医薬品・医療機器審査制度、審査実態等調査及び分析業務」(2016)
- ワールド・ビジネス・アソシエイツ「海外における医療ニーズ等及び国内企業の海外進出状況等調査及び分析業務報告書」(2015)
- 松圓会コンソーシアム「サウジアラビア透析センター設立プロジェクト」(2014) (King&Spalding Healthcare and Pharmaceutical Industries in Saudi Arabia(2009年11月時点)に基づく。)
- 中央日報日本語版(2013年4月10日、2015年10月27日版)
- 中東協力センター「GCC 主要産油国に於ける雇用創出力のある非製造業に関する調査」(2014)
- 中東協力センター「サウジアラビアへのいざない」
- 東洋経済「海外進出企業総覧」2018年版(2018年4月)
- 日経産業新聞(2012年10月25日)
- 日本国際問題研究所「グローバル戦略課題としての中東 2030年の見通しと対応」(2014)
- 「National Transformation Program 2020」(2016)
- BPグループ「BP世界エネルギー統計2017」
- ARABNEWS(2016年8月30日)